



Faculty of Humanities and Economics

Faculty of Education

Faculty of Science

Medical School

Faculty of Agriculture

Kochi University

知と個性が織りなす潮流

ここには毎年、ありとあらゆる個性が集まってきます。
出身地も言葉も習慣も違えば、考え方や感じ方、
興味の対象や好みも異なる多種多様な個性、個性、個性・・・
それらはここで、自分とは違う多くの個性と出会うことによって、
より豊かでより新たな個性へと成長していきます。
いろいろな人との学問的交流や人間的関わりを通じて
新たな視点や世界観を獲得したり、
実践的行動を起こすことで
さらなる夢や目標を見いだしたり——
それは大洋を流れゆく潮流が、
あらゆる分岐と合流を繰り返しながら
新たな生命を生み出し、
やがて大きなうねりとなっていく様にも
よく似ています。

ようこそ、高知大学に。
ここは知と個性が織りなす潮流のまっただ中。
あなたもこのはかり知れない可能性の大海に、
一緒にのりだしてみませんか？

頭をからっぽにして聞け

その殻を破ってほしい

全部手を出せ

だからまず興味をもってもらおう

殻の中から飛び出せるように

ミクロな目とマクロな目が一体化 継続の力
判断していく

大命題

非常に冷徹に理解して

これは至上の喜び
視点を養う
種火はついている

現場こそが研究の場
寛容性がある場

自分は何者か

自らがアクションを起こしていく

Contents

土佐の風土	3
高知大学の学び	
理念と目標	5
教育課程	6
共通教育	7
教育システム	9
Watching 学生の視点	11
各学部の紹介	
人文学部	15
教育学部	21
理学部	27
医学部	33
農学部	39
大学院	45
国際交流	47
研究プロジェクト	51
教育研究施設	53
学部附属施設	56
キャンパスライフ	59
就職活動支援	67
学長あいさつ	73
入試データ	74
入試課からのお知らせ	77
地図・アクセス	79



高知大学 学章

未来に向かって飛躍する希望に満ちた
高知大学のイニシャル「K」をモチーフに、
太平洋の波濤と黒潮を青色、若者の可
能性と大空を空色でそれぞれイメージ。
躍動感溢れた「高知大学」を表現して
います。

Thinking

Philosophy

Position

対話する姿勢

混沌としている

自分に忠実

現場からの課題

語らしめる

原点になるのは体験

人の話を疑え

自分で門をたたく

自然をどう捉えるか

最初は死伴として

クール

情熱的に

一方でとことん信じて突き進む

自分たちでイメージして

「異文化」

自分がどう動くか

既存の学問範囲から飛び出して

事実はそのに出ている

反省すれば当然進歩がある

それが明証 心を閉ざさない

同じくらいの価値がある

人間をつくる場所

結局は自分を見つめている

その中から自然と自分の道が

何かが生まれる

持続的に

目的意識を明確に

どちらかの結論を得ることができる

SENSE OF PURPOSE

CONTINUOUS



土佐の風土

Geographical features of Tosa

180度の水平線が広がる土佐湾。沖合には遠く東南アジアから流れ来る黒潮の営みがあり、海底には世界でも有数といわれる活断層の分布が見られる。

史・人・言

背後にそびえる険しい山々によって隣国との交流が阻まれてきた土佐では、それゆえに独立心旺盛な自由の精神が育まれてきました。一方で、南には途方もなく広がる太平洋を望み、黒潮によって流れつく様々な異文化の断片は、新しいものへの興味や変化への期待、他者を受け入れる懐の深さという土佐人気質につながったと言われていいます。その気風は、物事の均質化が加速する現代においても、他と違うこと、中庸でないことに価値を見いだす精神風土としてしっかりと根づいています。



野中兼山 (1615~63年)
江戸前期の南学派朱子学者・政治家。谷時中に学び、土佐藩家老を30年間務めた。農桑の奨励、室戸港の開掘、農業用水路の敷設など、数々の殖産事業を手がけた。



ジョン万次郎 [中浜万次郎] (1827~98年)
現在の土佐清水市に貧しい漁民の子として生まれたが、1841年出漁中の遭難で捕鯨船に救出され、アメリカに渡った。同国で教育を受けた後1851年に帰国。その経験と知識を買われ、ペリー来航に際しては幕臣に登用され翻訳、通訳に従事。西洋諸国の先進ぶりを国内に伝え、開国派に大きな影響を与えた。



坂本龍馬 (1835~67年)
幕末の志士。勝海舟に航海術を学び、1864年長崎で日本初の株式会社亀山社中(のちの海援隊)を結成、貿易と海運に従事した。1866年には薩長同盟を実現。海外の事情に通じ、公議政体論を唱え大政奉還を成功させた。いわば明治維新の陰の立役者。死後130年を経た今も、その行動力、獨創性、先見性ゆえに幅広い世代から支持されている。

山・川・海

荒々しくも美しい自然に囲まれた土佐の国。しかし単に自然が豊かというだけでなく、地球的な目線で見て土佐をとりまく自然環境が実におもしろいという研究者が多くなります。自然科学、人文社会科学など様々な視点で研究・教育を行っていく上で、高知県という地域はいくつもの非常に恵まれたフィールドを抱えているのです。



今でも多くの自然が残される土佐の山間。四万十川をはじめ、人と自然が共生する暮らしが最先端のスローライフともてはやされるが、ここではごくあたりまえの姿である。



中岡慎太郎(1838～67年)
幕末の志士。土佐勤王党に名を連ね、江戸で尊攘運動に参加。脱藩後は、高杉晋作や桂小五郎と交友を深め、薩長同盟実現を目指し奔走する。京都にて陸援隊を結成するが、維新を目前にして、坂本龍馬と共に暗殺された。



板垣退助(1837～1919年)
明治時代の政治家。大政奉還に奔走し、明治政府の参与・参議となる。征韓論に敗れ下野し、自由民権運動の中心的人物として活躍。立志社、愛国社設立に尽力し、1881年自由党を結成、総理となった。



牧野富太郎(1862～1957年)
植物学者。子どもの頃からの植物好きが高じ、独学で研究を続ける。著作に「日本植物図鑑」などがあり、日本人として初めてヤマトグサに学名をつけるなど、日本の植物学を世界レベルにし、その基礎を築き上げた。夫の研究を支えた寿衛子夫人に感謝の意を表し、新種の笹にスエコザサと名づけたエピソードからも、彼の温かい人柄が窺われる。1957年文化勲章受章。



寺田寅彦(1878～1935年)
明治～昭和の物理学者・随筆家。東大教授。実験物理学・地球物理学に業績を残した。学問研究のかたわら文学にも傾倒し、夏目漱石に師事。雑誌「ホトギス」に写生文・俳句などを発表。特に科学随筆にユニークな着想と新鮮な機知を示した。



大原富枝(1912年～2000年)
高知を代表する女流作家。1938年に「文芸首都」に寄稿した作品が上半期芥川賞候補となり、上京して文筆活動に入る。1957年、「ストマイつんぼ」で第8回女流文学者会賞、1960年には、「婉という女」で野間文芸賞、毎日出版文化賞を受賞。1970年「於雪―土佐一条家の崩壊―」で第9回女流文学賞を受賞。また、1990年には勲三等瑞宝章を受けた。

高知大学の学び



大学での学びには、まず学生自らが積極的・主体的に取り組んでいくこと——自学自習の姿勢が必要です。そして教員には、学生からのアクションに対しそれ以上の熱意と高度な知識技術・教養をもって応えていくことが求められます。つまり大学とは、学びたいという意欲とそれに応える熱意と学識とが出会う場所。この出会いこそが、すべてのはじまりなのです。

高知大学の理念

高知大学は、教育基本法の精神に則り、国民的合意のもとに、地域社会及び国際社会に貢献しうる人材育成と学問研究の充実・発展を推進します。

高知大学の目標

高知大学は南国土佐の自然と風土に学び、未来を展望した知の創造と学術の継承・発展を通して、人類の持続的発展と地域社会へ貢献することを使命として、以下の目標を掲げます。

人材の育成

21世紀の知識創造社会で活躍できる人材の育成を進めます。そのため学部では総合的学識と深い専門的学識を身につけ、かつ人間性や社会性に富んだ活力ある人材の育成に努めます。大学院では日本や世界が必要とする高度専門職業人の養成をはかるとともに、特定の分野において世界の学術研究をリードできる研究者を養成します。

社会貢献

基礎科学と応用科学の領域横断的研究を通じて社会に貢献します。地域の中核的総合大学として、総合的な学術研究基盤を維持発展させるとともに自然、文化などの地域特性を活かした研究を推進し、「資源探索・開拓」、「先端材料開発」、「人類環境共生科学」、「海洋コア」、「先端医療と高齢者医学」、「黒潮圏科学」及び「フィールドサイエンス」の各研究に特化した先端的で国際的な教育研究拠点を形成します。

地域連携

地域における国立大学として、若い世代や国民のための斬新で魅力的な高等教育機会を提供しつつ、地域社会との産官学連携研究を推進・発展させることにより、持続的な地域社会の発展のための研究成果及び専門性に富む人材の供給基盤としての役割を果たします。

国際貢献

アジア・太平洋地域をはじめ世界の国々、特に発展途上国との教育研究協力活動を推進します。これらの国々の大学との研究交流、学生交流活動を推進する中で、世界の文化の発展に貢献します。

教育課程

本学では、在学する4年間（医学部医学科は6年間）を一貫した学士課程としてとらえ、特に充実した初年次科目を設定し、幅広い教養と深い専門性を身につけ、総合的な判断と柔軟な発想に基づく課題解決能力を修得できる新たな教育課程を編成しています。教育課程は全学共通の4つの教育科目に区分し、学部・学科・課程ごとの系統的なカリキュラムで構成されます。初年次科目、教養科目、共通専門科目を共通教育、専門科目を専門教育として区分します。なお、授業科目の履修年次は概ね右表の通りです。



共通教育

初年次科目

「学びの転換」「基礎的スキルの修得」「学問への動機づけ」「キャリア形成支援」を柱に、入学後すぐに学びの転換をはかり、自分で考え行動できる力、他者とコミュニケーションできる力、表現できる力を修得します。また、早い段階からキャリア形成への動機づけをはかることで、4年間（医学部医学科は6年間）の学士課程における自律的な学修を支えます。

共通教育

教養科目

生活や人生を豊かにする幅広い教養と、それを身につけるための学習力を修得します。学生が自らの興味や関心に基づき、現実世界を理解し自己の世界観や生き方を学ぶために、多様な学術分野に触れるとともに現代的な課題に目を開く機会となることを目指します。

専門教育

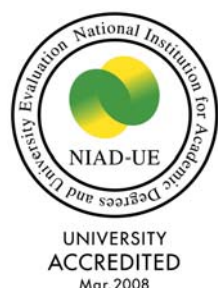
共通専門科目

基礎科目及びキャリア形成支援を目的とした科目を学びます。基礎科目は、各学部の専門的学習に向かうために必要とされる基礎的な授業科目です。キャリア形成支援科目は、就業に必要な諸能力の修得支援や資格取得支援、専門教育と連携した支援に関する授業科目です。

専門教育

専門科目

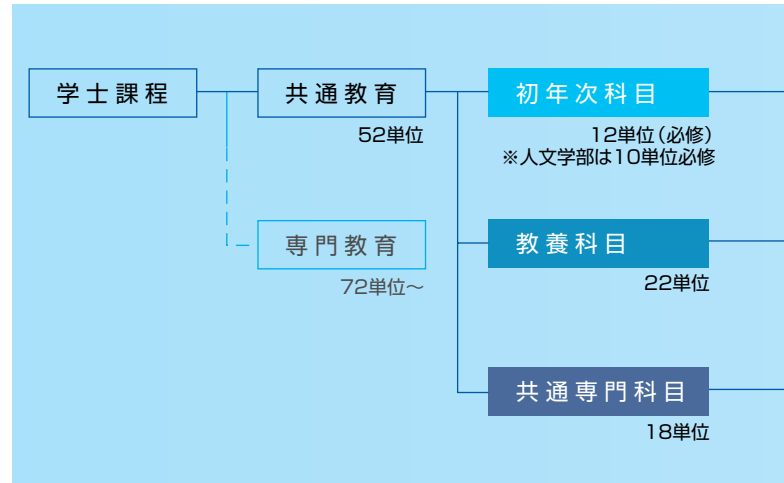
各学部における教育の目的に対応し、高度な専門性を持った授業内容を展開します。専門科目は各学部が責任を持って開講する授業科目ですが、他学部学生の受講もできます。



本学は、平成19年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構が実施した大学機関別認証評価において、大学評価基準を満たしていると認定されました。

共通教育

共通教育は「人間と世界についてしっかりとした考え方をくり上げ人格の完成をはかること」を目的とし、初年次科目、教養科目、共通専門科目の3科目群から構成されています。授業は講義形式から体験型まで多様なテーマが用意されており、学生は実践の中で自分自身の幅を広げながら教育コース決定へのプロセスを踏むことができます。



初年次科目

初年次科目として、次の6つの授業を開設します。

「大学基礎論」と「課題探求実践セミナー」は、少人数演習を中心とする多様な授業形態を取り入れ、学びの転換と能動的・主体的学びの展開をはかることを主体に、キャリア形成や様々な素養の修得を目指します。

「大学英語入門」「英会話」「情報処理」は、習熟度別クラス編成などにより基礎的スキルの修得とそのレベルの向上を目指します。

「学問基礎論」は、専門教育への導入教育として学問への興味関心を高め、学問への動機づけをはかるとともにコミュニケーション能力や表現力、さらに日本語技法の修得を目指します。

大学基礎論

学習支援に加えマインド支援を重視した以下のような授業を展開します。

- (1) 大学で学ぶことの意義や目的の理解を通じて、「教わる」から「学びとる」への学びの姿勢の転換をはかります。初年次の早い段階で、学びのモチベーションの向上を促します。
- (2) 卒業時または卒業後の自分の将来像についての意識づけをはかり、キャリアデザイン、ライフデザインの重要性を学んでいきます。卒業時に自分がどうなっていたいか、どのような能力をつけているべきかを考えます。
- (3) 社会における大学や学問の位置づけ、高知における高知大学の存在意義についての理解を深めます。大学での学問や知識と社会との関連性に気づくことで、高知大学へのアイデンティティを育てていきます。
- (4) グループワーク(演習)を通じて、相手の話をよく聞き理解し、自分の考えをわかりやすく伝えるという基本的双方向コミュニケーション能力の向上をはかります。同時に、議論の基本的な進行方法と合意形成手法を修得します。

課題探求実践セミナー

「大学基礎論」での学びの転換を受けて、それと連動して開講される課題探求型の授業科目です。この授業では、学生の能動的・主体的な学習を促進・展開し、少人数グループでの学習を取り入れて、課題探求能力や社会性、コミュニケーション能力を育成することを目的としています。また、互いの意見の相違や異なるものの見方を理解することを通じて現在の自分を知り、自己の課題を見いだすことも重視します。到達目標としては、各分野における諸課題を理解すること、また少人数グループにおけるコミュニケーションの意義や方法を理解できるようになることが設定されています。



大学英語入門 及び 英会話

入学までに修得した社会文化的知識や基礎的な英語運用能力、異文化に対する知識などを土台に、広い知見、豊かな人間性、自らの社会的・実践的課題を把握できる知力を養いながら、以下の能力を身につけることを目指します。

- (1) 専門教育での学究や国際交流、社会生活で使える4技能(リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング)のバランスが取れた大学生にふさわしい実践的英語力。
- (2) 授業内外において自発的、計画的、持続的に英語学習に取り組むことのできる自律的英語学習能力。
- (3) 英語の学習を通じて自他の生活や文化についての理解をいっそう深めるとともに、言語や文化に対する関心を高め、これらを尊重することのできる国際共生力。



情報処理

パソコン必携のもと、「コンピュータの扱い方」「電子メールとインターネット利用法」「情報化社会の倫理」など、現代の情報化社会における基礎的知識・スキルの修得を目指します。



学問基礎論

各学部がその専門性に対応して必要な科目数を開講します。初年次科目の教育目標を達成するため、以下の実施要領に基づいています。

- (1) 専門教育に向けての導入教育となります。
- (2) 専門教育(学問)に対する学びの展望を持たせ、モチベーションを引き出します。
- (3) 学部・学科へのアイデンティティを確認します。
- (4) 演習でのグループワークを通じて学生のコミュニケーション能力や論理的思考力を培います。
- (5) 演習での振り返り(要約)やプレゼンテーションを通じて日本語技法を修得します。



授業題目等

大学基礎論	大学英語入門	情報処理
課題探求実践セミナー	英会話	学問基礎論
人文分野	生命・医療分野	外国語分野
社会分野	自然分野	3分野以上必修
基礎科目(含む補習科目)	キャリア形成支援科目	選択必修

※履修規則は、各学部ごとに定められています。

教養科目

授業題目は、4分野(人文、社会、生命・医療、自然)と外国語分野(英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語)に区分して開設します。履修については、特定の分野に偏ることのないよう外国語分野を含めた5分野の中から3分野以上を選択履修とします。

■ 外国語分野

英語と初修外国語(ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語)に分けて、それぞれ教育目標を設定しています。

- (1) 英語
共通教育における英語教育のねらいにそって、初年次科目の英語で身につけた知識や能力をさらに伸長することを前提に、主に英語を主専攻としない学生を対象として開講します。
- (2) 初修外国語
国際化のための外国語能力の修得と、外国語学習を通じての異文化理解の促進にねらいを置いています。初修外国語Iでは、基礎的な音声と文法知識の修得を目指し、初修外国語IIでは、初修外国語Iで学んだ知識をさらに確かなものにします。

共通専門科目

基礎科目とキャリア形成支援科目に区分して開設します。

■ 基礎科目

各学部の専門的学習に向かうために必要とされる基礎的な授業科目を開講します。他学部からの履修も上限を設けて認めており、転学部・学科の際の負担を軽減できます。なお、補習教育のための授業は基礎科目の中に含めます。

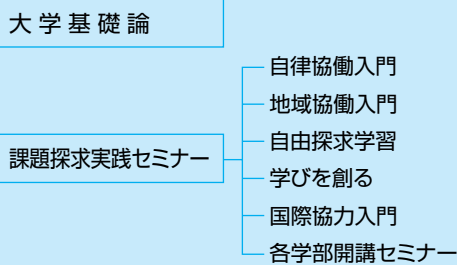
■ キャリア形成支援科目

以下の目標を達成するため、全学開講または学部開講などによる授業群を開講します。

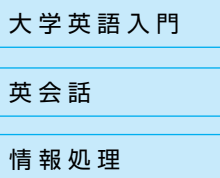
- (1) 就業に必要な諸能力(社会人基礎力、進路決定力、就職活動力など)の修得支援
- (2) 資格取得(教職、学芸員など)支援
- (3) 専門教育と連携したキャリア形成支援

初年次科目

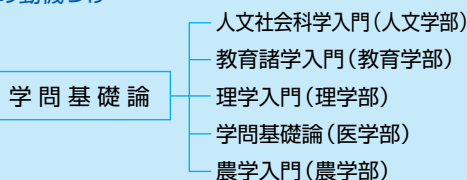
学びの転換・キャリア形成



基礎的スキル



学問への動機づけ



特色ある教育システム

学生支援の多様な取り組み

大学教育は学生の自主性があるはじめて成り立ちます。学生一人ひとりが自主・自律的に充実した学習ができるよう、高知大学では様々な教育システムを導入しています。

また学生の興味にそった多様な授業を用意するため2学期制を実施するなど、積極的にそのシステムの改革をはかっています。

学生アンケート・授業評価

毎年、授業や教育環境についての学生アンケートを行い、結果を公表するとともに、問題点の改善に努めています。

アドバイザー教員制度とオフィス・アワー

一人ひとりの学生に対してきめ細やかな指導ができるよう、アドバイザー教員制度をとっています。1年次から卒業まで学生全員にアドバイザー教員がつきます。アドバイザー教員は、入学から卒業までの学習計画、履修指導、生活や就職まで、多様な相談役を務めます。また、これらの相談のためにオフィスアワー制度があります。学生はオフィスアワーの時間にあらゆる相談や質問ができます。

2学期制とシラバス

学生は1年間同じ授業に縛られることなく、年に2回受講登録ができ、より自由な履修計画を立てることができます。シラバス(授業ガイド)で授業内容をあらかじめ知り、授業計画の目安にすることができます。また、週に複数回授業を行う集中授業方式を外国語教育で採用し、教育効果の向上をはかっています。

高知女子大学・高知工科大学・放送大学・高知高専との単位互換

各々の大学等の授業を受講し、単位を修得した場合、高知大学で修得した授業科目として、認定を受けることができます。

補習教育

高等学校の教育内容の多様化や専門高校からの入学者のために、英語(大学英語入門S)・自然分野(例えば物理学の基礎)など補習教育を実施しています。



情報教育環境の利用

学生は、必携のノートパソコンで、自由に利用できる情報コンセント室(34室等、2105口)から、インターネットへの接続や電子メールの送受信ができます。なお、岡豊地区は無線LAN環境も整っています。

早期卒業

優秀な成績で卒業に必要な授業科目の単位を修得した学生に対しては、その優れた才能の一層の伸長をはかるため、希望により3年で卒業できる「早期卒業」の制度を導入しています。

学生の海外派遣

国際交流の一環として、カリフォルニア州立大学(アメリカ)、クイーンズランド大学(オーストラリア)、中国やタイなどの大学に学生を派遣しています。

留学先の大学で修得した授業の単位は、高知大学で修得した授業科目として認定しています。

ティーチング・アシスタント

共通教育の実験科目や演習科目では、授業時間中、大学院生によるティーチング・アシスタントをおき、学生の理解をサポートしています。

現代的教育のニーズに対応した教育プログラム **高知大学発、日本初！ 自律協働入門授業とCBI授業**

この2つの授業は、高知大学が開発し学外の組織や個人と協働して実施する日本で初の授業です。これまでのいわゆる“知識”だけではなく、“生き方や学ぶ意義”を学べるのがこれらの授業の特長です。

自律協働入門授業は、1年生1学期にしか受講できません。これは入学生の皆さんに、より早い段階で輝く社会人と出会い、その後の大学生活をできるだけ充実したものに

してほしいという思いから。そしてCBI授業では、日本初の長期の協働型インターンシップを授業に組み入れることで、自律協働入門授業で培った“生き方や学ぶ意義”をさらに実践的に高めていくことができます。また、この2つの授業後も、高知大学独自の様々な教育プログラムによって、社会で活躍できる自分になるための手助けがしっかり行われています。

生き方や学ぶ意義を学ぶ！ 自律協働入門授業

Point 1 輝く社会人と出会い、生き方に感動！

授業の講師は、首都圏や県内から招聘した熱い想いを持つ社会人18名の方々。“インタビュー”という方法を通じて、輝く社会人の前向きな心を知ろう！

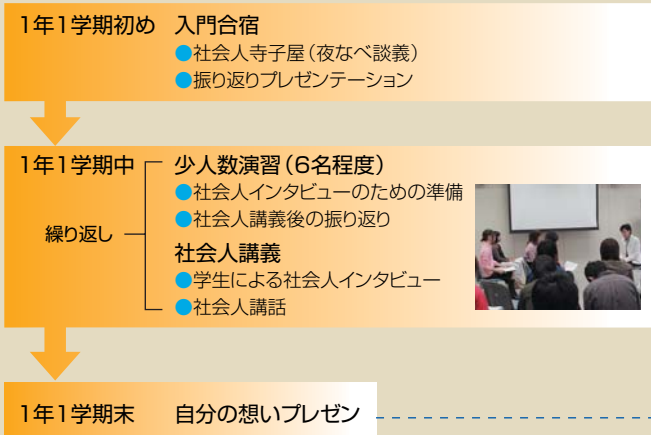
Point 2 自分を直視し、成長を喜び

自分自身と深く向き合うことの繰り返しによって、人間的成長は促されます。授業では、自分の活動を振り返る時間をつくり、成長へとつなげていきます。

Point 3 チームで学び、想いを分かち合う

受講生6名と担当教員1名とでチーム（演習）を組み、半年間（1学期間）活動を共にします。少人数制だからこそチームワークが身につく、教員の丁寧なバックアップを受けることもできるのです。また、学生ファシリテーター（議論の促進役）として上級生もサポートします。

■ 自律協働入門授業の流れ



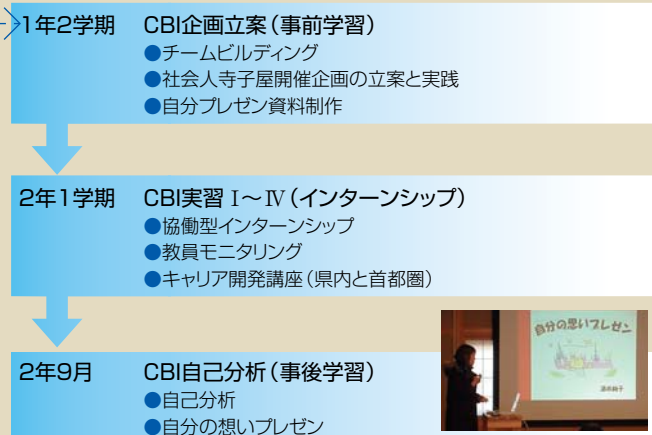
長期インターンシップに挑む！ CBI授業

CBI = Collaboration based Internship

CBI授業とは、首都圏や岐阜などのベンチャー企業及び県内企業・NPO法人などで最長4ヶ月間の長期間、協働型のインターンを組み入れた授業で、最大14単位が修得可能です。授業はCBI企画立案（事前学習）とCBI実習（インターンシップ）、CBI自己分析（事後学習）の大きく3つから構成されています。

CBIの授業は1年生2学期から2年生1学期にかけて行い、21世紀社会で活躍する人に必要とされる“謙虚さ”や“社会性”について学べるのが特長です。また、CBI企画立案（事前学習）のみの受講も可能で、インターンシップ実習を行わないという選択もできるようになっています。それは、この授業が“自分なりのこれから進むべき道を見つけること”に主目的を置いているためであり、多様な学生に対応できる柔軟性を持ったシステムとなっています。

■ CBI授業の流れ



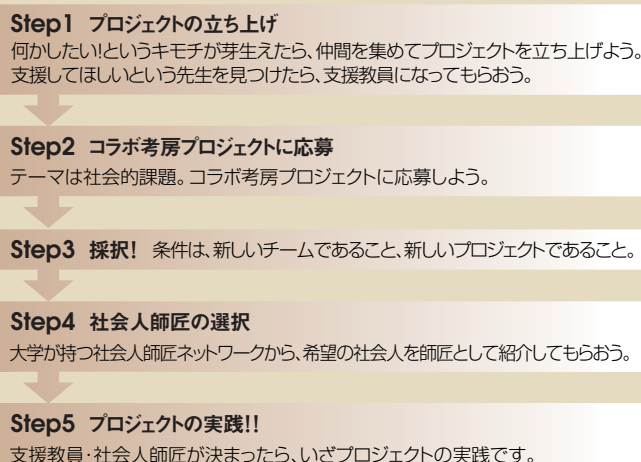
平成19年度「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」採択 **コラボ考房と2つの道場が育む自律型人材**

キモチをカタチに、キモチをチカラに変えるプログラム。

高知大学では、社会が求める「自律型人材（自ら主体的に考え行動する人）」の養成を目指し、新しいカタチの学生支援をはじめます。このプログラムは、正課の授業ではなく、正課外の活動支援プログラムです。高知大学に入学後、様々な授業や課外活動を経験して何かしたいというキモチが皆さんの中に芽生えた時に、そのキモチをカタチにできる場をつくりました。具体的には、グループで社会的課題に取り組む「コラボ考房」や、個人の能力・資質の向上を目指す「ファシリテーション力養成道場」と「企画立案力養成道場」があります。コラボ考房や二つの道場で様々なチカラを身につけることによって、その後の大学生活における正課の授業や正課外の活動に、より意欲的に取り組み充実した学生生活を送ることができるといえます。

■ **コラボ考房** 学生・教員・社会人などがコラボレーション（協働）して、アイデアを生み出し実践する場＝考房です。

Point 人を幸せにしたいという想いを持って活躍している社会人が、皆さんのプロジェクトを師匠としてサポートしてくれます!!



未来へつながる、「今」

高知大学には、自主的に様々な活動に取り組んでいる学生がたくさんいます。

授業や研究、生活のためのアルバイトなどと平行してそういった活動を続けていくことは、決して容易ではないかもしれません。

しかし、長い人生の中でこの4年間ほど熱中して何かに取り組んだり、

心から信頼しあえる仲間を得られたりするチャンスはそうありませんし、そこで得たものは、かけがえのない一生の宝物となるはずです。

自由と創造の場、高知大学で、先輩たちは一体どんな大学生生活を過ごしているのか——。

その様子を少しのぞいてみたくはありませんか？



future

now

学生の視点 ■ 11 Student viewpoints



圧倒的「学生力」～高知大生の活躍～

「子ども」「教育」「村おこし」「環境保護」「情報発信」など、多様なテーマのもと行われている数多くの学生活動——。人の持つ能力や可能性は、学業だけでなく、こういった外部との交流や新たな出会いによっても大きく花開きます。人間的成長につながる学生の意欲的な活動を、教員や大学も大いに応援しサポートしています。

同じ思いを抱く学生同士が集まりスタートさせた活動や、授業で訪ねた地域との交流が発展し生まれたイベントなど学生活動は様々。その取り組みや成果はメディアでもよく取り上げられている。<記事提供:高知新聞社・読真新聞社>

学生向けの情報誌を、自分たちの手で発行

佐藤 舞子

学生誌「Jam」を制作する「チーム☆ぼうしぱん」のメンバー。写真部部长。

教育学部 生涯教育課程 芸術文化コース 3年

みんなを熱くする“きっかけ”になりたい

「Jam」は、高知大生のキャンパスライフをもっと熱く楽しみたいという思いから生まれた情報誌です。食卓に添えられたジャムのように学生生活に小さなうれしさとオインさをプラスしようと、楽しく有益な情報を取材し発信しています。

大学の4年間で自由な反面、意識していないとただダラダラと過ごせたりもするんですね。やろうと思えば何でもできるのに、それに気づいていない人もいます。なので、「Jam」の記事を見て何か気づいたり、刺激を受けてもらえるような、そんな存在になればと思っています。

初めての雑誌づくりに、試行錯誤?!

この情報誌は、企画・編集はもちろん、広告営業やデザインも全て学生の手で行っています。制作に関わるメンバーは現在15人ほどで、主に1、2年生が中心です。私は写真担当ですが、雑誌づくりに初めて。最初の頃はうまくいかないこともたくさんありました。そういう時は仲間同士とことん意見を交わしたり、人文学部の先生や外部の出版社の人からアドバイスをもらったり…。毎回、取材先や協力先のいろいろな人と関わり合いながら雑誌ができていきます。“行動することは、人との関わりを持つこと”。この活動を通してそんなふうになるようになりました。

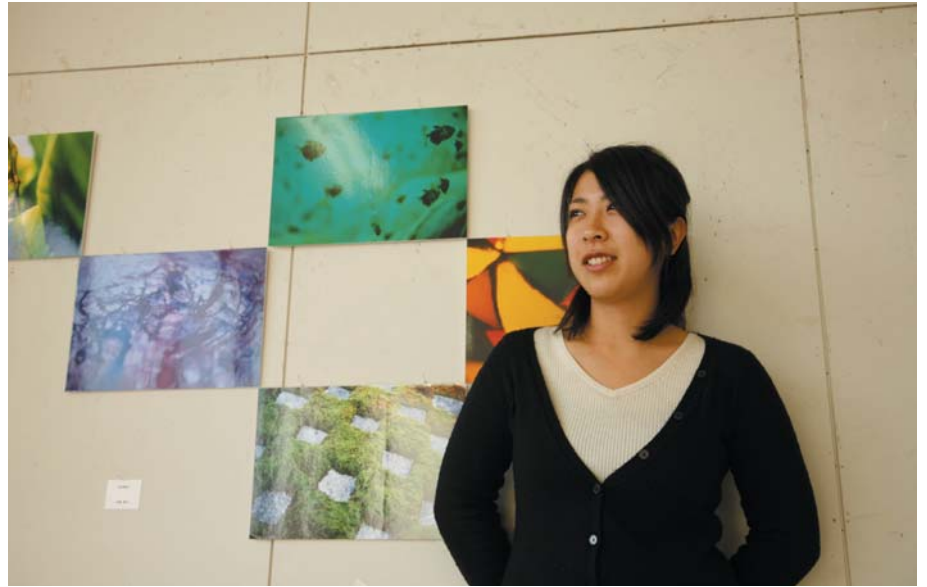
人との出会いで、世界が広がる

実は私、入学前は大学という場にそれほど魅力を感じていなかったんです。でも実際に高知大学に来てみると、これまでの自分の世界がいかに狭かったかを思い知るような出会いがたくさんありました。同じ学部の友人はもとより、他の学部の友人、先輩、先生、学外の社会人の方々…。自分とは全く違った考えや価値観を持つ人たちと出会って、まだまだ知らない世界がいっぱい広がっていると感じました。それを知りたいし、できるだけたくさんのことを吸収したいと思うのです。今は学ぶことの面白さにハマっていますね(笑)。

3年生になってから、私は教員免許取得へ向けて遅いスタートを切りました。それも今までの経験から導き出された自分の可能性のひとつ。将来の道はまだ決めていませんが、自分からやろうと思えば、その先にきっと道は拓けると思っています。



「Jam」はキャンパス内での配布のほか、学生食堂などで入手できます。



[Jam]

高知大生を対象とする無料情報誌。B5判28ページの「Jam」とA6判折りたたまの「mini Jam」があり、交互に年2回発行されている。現在、通算4号目。(当初は「KITSCH」という雑誌名でスタート)



B5判「Jam」最新号は、特集テーマが「縁」。人のつながりに目を向けて、「日本列島☆高知大生マップ」「働く先輩」「学生対談～海外から日本を感じる～」といった特集記事を組んでいる。

あなたも一緒に、雑誌をつくってみませんか?

スタッフも随時募集中!

興味のある人は一度のぞいてみよう!

<http://boshipan.client.jp/jam.htm>

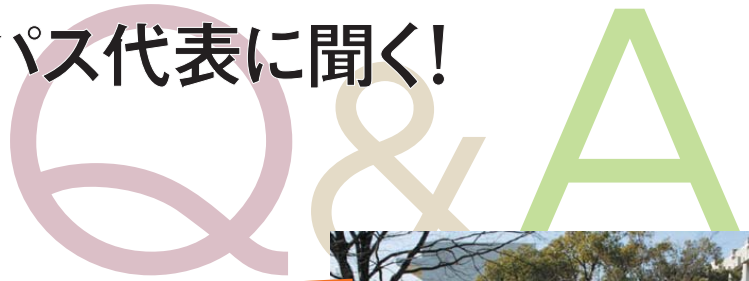
佐藤さんの一日

- 10:30~12:00 授業(共通教育棟にて)
- 12:00~13:00 昼食(学部棟にて)
- 13:10~14:40 授業(教育学部棟にて)
- 14:40~16:30 制作(専攻室にて)
- 17:00~22:00 アルバイト(レストラン)
- 22:00~ 帰宅後、レポートを書いたり専門授業の課題をする

佐藤さんの大学4年間

- 1年 春 写真部に入学
- 2年 夏 チーム☆ぼうしぱんに参加
- 冬 友人と二人で写真展
- 第1号となる「KITSCH」発行
- 3年 春 教員免許取得のための授業を取り始める
- 夏 2号目となる「mini Jam」発行
- 秋 3号目となる「Jam」発行
- 冬 4号目となる「mini Jam」発行

キャンパス代表に聞く!



Academic Calendar

学年暦 (平成20年度)

- 4
 - 4月1日 学年開始
 - 4月3日 入学式
 - 4月10日 1学期授業開始
- 5
- 6
- 7
 - 8月 よさこい祭り
- 8
 - 8月1日~7日 1学期試験期間
 - 8月8日~31日 夏季休業
- 9
 - 南風祭 (みなかぜさい)
 - 黒潮祭 (くろしおさい)
- 10
 - 10月1日 創立記念日
 - 10月2日 2学期授業開始
 - 10月11日~12日 南風祭
- 11
 - 11月1日~3日 黒潮祭
 - 11月上旬 物部キャンパス一日公開
 - 11月下旬~12月上旬 室戸貫歩
- 12
 - 12月 駅伝大会
 - 12月27日~1月5日 冬季休業
- 1
 - 1月上旬 寒中水泳
- 2
 - 2月2日~6日 2学期試験期間
- 3
 - 3月1日~31日 学年末休業
 - 3月23日 卒業式

朝倉キャンパス代表 **赤壁 麻依** 学生自治会総裁
理学部 理学科2年 香川県出身



赤レンガが特徴の学生広場は、学生たちの自己主張の場であり、憩いの場。昼休みになると自然に人が集まってくる。

Q5:キャンパスの自慢は?

ひとつは**新しくできた総合研究棟**。1階が自習室で2階以上がプレゼン教室になっていて、学びの環境としてはすごくいいです。

あとは**学生広場**。ここは高知大生の表現の場で、昼休みはほぼ毎日、**軽音のミニライブ**や**よさこいの練習**などが行われていて賑やかです。

Q6:ほかに何かメッセージは?

高知大学のすごいところとしては、**TOEIC、TOEFLの学内受験ができること**。(→TOEFLについてはP48を参照) あと、入学後、履修について困った時は「**オリター**」と呼ばれる2年生が相談にのってくれますが、そのほか何でも聞きたいことがあれば、この私を見つけて一声掛けてください!

Q1:高校と大学の違いは?

授業時間が長いこと。**1つの講義が90分**です。それから**授業のテーマが豊富で面白い**こと。中には、いろいろな学部の先生が入れ替わり立ち替わりで行われるオムニバス形式の授業もあります!

Q2:大学で影響を受けた人物やできごとは?

友人との関わりです。私はときわ寮の寮生ですが、寮はいつでも誰かがいて**困った時も助け合える**のでおすすめです。また、自炊経験ゼロだったので、みんなでお好み焼きパーティをしたことなど思い出です。

Q3:あなたの選ぶ高知大1おすすめ授業は?

1年生でとる共通教育では、住友先生の「**音楽療法**」です。音楽を使って元気になろうという授業で、合唱や笑い方の練習 (!) なんかをしました。

Q4:キャンパスのイチオシ行事は?

やはり黒潮祭。私は自治会の学部執行委員会で、「高知フレンドパークII」というイベントをやりましたが、学生だけでなく地域の子どもたちやお年寄りにも参加していただき、すごく盛り上がりました。

Q&A番外編

Q7:ずばり、二次試験へのアドバイスは?
キャンパス内は、前日までに下見をするべし! 試験会場がどの建物のどこの教室なのか、事前確認は必須です。それから南国とはいえ二次試験の頃の高知は寒い! 携帯カイロは役に立ちましたね。

Q8:入試昼食おすすめメニューは?
学食メニューならチキン南蛮がおすすめ。キャンパス近くには、安くてボリュームのある学生向け食堂もありますよ。

岡豊キャンパス代表 **山本 稔平** 体育祭実行委員長
医学部 医学科3年 高知県出身



Q1:高校と大学の違いは?
全てにおいて**自律的に行動しないといけない**ところ。高い意識を持つて取り組む必要があります。

Q2:大学で影響を受けた人物やできごとは?

大学病院長の倉本秋先生です。とにかく人柄が誠実で、発想や行動力がすごい。1年生の時、倉本先生の授業で「1週間病院を見て回って改善点をプレゼンせよ」というものがありました。その時出た「階段の手すりか踊り場で途切れる」とか「病院食堂なのにカロリー表示がない」という学生の意見を、本当に予算を組んで取り入れてくれました。その姿勢に感銘を受けました。

Q3:あなたの選ぶ高知大1おすすめ授業は?

八木先生の「**課題探求・解決と論理的思考**」。学生参画型の授業で、問題発見から解決方法を調べてプレゼンし、意見交換をする授業です。

Q4:キャンパスのイチオシ行事は? もちろん体育祭です! 実はこれ、幻の伝統行事と呼ばれ長年途絶えていたのですが、昨年先輩たちの手で復活。今年は僕たちの学年が中心となって盛り上げました。種目は棒倒し、騎馬戦といった伝統のものから、「マーチ押し」という車を押す競争や、最高7秒99を記録した「5人6脚」などユニークな新競技が盛りだくさん。**医学部なのに勉強だけでないところがすごい**んです。

Q5:キャンパスの自慢は?
硬式テニスのコートが充実しています。ナイター完備、人工芝のオムニコートで5面あります。それからキャンパス裏山の上の「**斎藤牧場**」はすごいロケーション! 普通だと牛は草原で飼いますが、ここは崖で飼っています。衝撃の光景です。

Q6:ほかに何かメッセージは?
高知大学では誰もが常に「**本当にいい医師とはどんな医師か?**」という問いを考えながら学んでいます。そこが何よりすばらしい特徴だと思いますね。

Q&A番外編

Q7:ずばり、AO試験へのアドバイスは?

ふだんから勉強だけでなく、仲間の輪や学校行事を大切にすること。また医学はもちろん、それ以外のいろんな**知識や情報にアンテナをはる**ことですね。それから、AO入試の頃はちょうど台風到来の時期。僕の時も交通機関

が一部乱れました。県外から来る人は、前日、前々日など**余裕を持ったスケジュール**で来ることをおすすめします。

Q8:入試昼食おすすめメニューは?
カフェの**かつサンド**(300円)は安くてボリューム満点。試験中には少しヘビーかもしれませんが、味は最高です。

物部キャンパス代表 **中島 泰生** 源樹森盛隊(げんきもりもり隊)隊長
医学部 森林科学コース4年 茨城県出身



Q1:高校と大学の違いは?
授業中のノートの取り方ですね。高校では大事なことは先生が黒板に丁寧に書いてくれますが、大学は違います。板書より話が大事で、その話もいろんな方向に広がっていきます。最初は戸惑いました。

Q2:大学で影響を受けた人物やできごとは?

「**源樹森盛隊**」での活動です。これは精原町にあるFSC森林認証の森の資源活用と森のPRを目的とした学生活動です。今年はこの森の中に、杉や檜の木くずを混ぜた**日干レンガの家「ブリックハット」**を建設しました。プランを練りはじめたのが昨年の12月で、レンガの作成が6~7月。1200個のレンガを積み上げ完成したのは10月と、およそ1年かけて活動を行いました。大切なことをたくさん学ばせてもらいました。

Q3:あなたの選ぶ高知大1おすすめ授業は?

共通教育では、深見先生の**環境関係の授業**。フグ毒の話とかが興味深かったです。

Q4:キャンパスのイチオシ行事は?
全キャンパス合同の行事ですが、「**室戸貫歩**」です。予想以上にハードでしたが大学時代のいい思い出になりました。

Q5:キャンパスの自慢は?
人が少なく**敷地が広いのでゆったり**していること。そこら辺の切り株に座って話をしたり、本を読んだりできます。それから美しい**自然に囲まれている**こと。

中でも**海は大きくてきれい!** キャンパスに近い県東部の日吉海岸や西分漁港近くの海岸は、サンゴも生息していて潜ってもきれいです。

Q6:ほかに何かメッセージは?
入学後の履修登録は**シラバスをよく読んでしっかり組むこと**。そして朝倉キャンパスでの**共通教育科目は絶対落とさないように注意**すること。農学部生は2年生から生活の拠点が物部キャンパスに移ります。落とした授業のために朝倉まで通うハメにだけはならないよう、要注意です。

Q&A番外編

Q7:ずばり、二次試験へのアドバイスは?
僕は二次試験で初めて高知に来ましたが、空港や駅など交通機関の要所で、**高知大生が道案内**をしてくれていました。親切に教えてもらえるので、道に迷う心配はありませんでした。

Q8:試験後に行くおすすめ観光スポットは?
高知城が手軽におすすめ。観光に来る受験生も多いようで、僕が行った時も掃除のおばさんから「試験どうやった?」と声を掛けてもらい、知らない土地で気持ちが和みました。



「ブリックハット」建設を通して地域の方たちと交流したことも温かい思い出に。

人文学部

Faculty of Humanities and Economics

世界最大の謎である
「人間」に挑戦する

学科名

■人間文化学科

- 人間基礎論コース
- 地域変動論コース
- 言語表象論コース

■国際社会コミュニケーション学科

- 国際コミュニケーションコース
- 国際社会交流論コース

■社会経済学科

- 総合地域政策コース
- 経済企業情報コース

取得できる資格

■人間文化学科

- 中学校教諭一種免許状(国語・社会・英語)
- 高等学校教諭一種免許状(国語・地理歴史・公民・英語)
- 認定心理士
- 日本語教員養成副専攻課程の単位修得
- 学芸員

■国際社会コミュニケーション学科

- 中学校教諭一種免許状(社会・英語)
- 高等学校教諭一種免許状(公民・英語)
- 日本語教員養成副専攻課程の単位修得
- 学芸員

■社会経済学科

- 中学校教諭一種免許状(社会)
- 高等学校教諭一種免許状(公民・商業)
- 学芸員

求める学生像 Admission Policy

人文学部は人文科学と社会科学の総合学部です。

「人間」という存在を総合的に把握できる、「国際化」と「情報化」の時代に対応できる、「地域社会」の問題を理解し地域に貢献できる、そんな人材を育てたいと考えています。人間と人間がつくる文化や社会について旺盛な好奇心を持ち、課題に果敢に挑むスピリットにあふれた学生を求めます。

人間文化学科

哲学・心理学・言語学・史学・地理学・文学・語学などの人文諸科学に関心があり、人間それ自体や人間をめぐる歴史的・文化的環境、さらには多様化する現代の文化現象に興味を持ち、批判的な精神と創造的な力を涵養したいと考える学生を求めます。

国際社会コミュニケーション学科

地球市民としての広い視野と柔軟性を持ちたい。様々な国々と人々の相互理解の実現に貢献したい。それに必要な行動力、表現力や情報処理能力を身につけたい。地域の価値を、内側と外側の両方の視点から理解し、それを世界の各地へ向かって伝えたい。国際社会にネットワークを築き、世界の様々な地域の人々と連携したい。世界の人々と連携することで、自立したい。そんな学生を求めます。

社会経済学科

経済学・法学・経営学・会計学・政治学・社会学などの社会諸科学に関心がある学生、地域社会に関心があり、地域の総合的發展に貢献したいと考えている学生、企業とその環境に関心があり、情報収集・分析・処理能力を身につけたいと思っている学生、商業・会計・簿記・情報処理などの実務能力を専門的に身につけたいと思っている学生を求めます。



学部の大きな特徴は、学科間の“垣根”が低いこと。その気になれば、コースの枠を超えて、あらゆる領域を自由に学ぶことができます。

カリキュラム例 Curriculum

人間文化学科

■ 人間基礎論コース

西洋近現代哲学、倫理学、東洋思想、西洋思想史、宗教学、言語学、意味論、文法論、社会心理学、認知心理学、発達心理学、感情心理学

■ 地域変動論コース

日本中世史、日本近世史、日本近代史、考古学、中国古代史、中国近世史、西洋近現代史、人文地理学、自然地理学、方言学

■ 言語表象論コース

平安朝文学、日本中世文学、日本近代文学、日本語学、中国文学・文化、イギリス文学、アメリカ文学、ドイツ文学・文化、フランス文学

国際社会コミュニケーション学科

■ 国際コミュニケーションコース

異文化間コミュニケーション論、比較文化論（日英米独仏中）、文化史、文化論、オーラルコミュニケーション、文章作成研究、第二言語習得論、日本語教育法、実験音声学、英語、フランス語、ドイツ語、中国語、心理言語学

■ 国際社会交流論コース

メディア文化論、社会文化交流論、国際関係論、社会思想史、比較日本文化論、アメリカ文化論、ヨーロッパ文化論、中国社会文化論、大衆文化論、現代演劇論、世界経済論、西洋経済史

社会経済学科

■ 総合地域政策コース

経済政策、財政学、地方財政論、地域経済論、労働経済論、福祉経済論、環境経済学、公益事業論、国際経済論、開発経済論、比較経済社会論、地域社会学、憲法、民法、刑法、自治行政法、経済法、政治学、地域生活と政策、地域ジャーナリズム論

■ 経済企業情報コース

ミクロ経済学、マクロ経済学、資本主義システム論、統計学、計量経済学、金融論、国際金融論、流通経済論、日本経済史、経営学、経営管理論、会計学原理、原価計算論、簿記原理、商法、企業情報システム論

変革の時代に道を切り拓くアクティブな「人間の学」

情報化・国際化の進展に伴い、21世紀の日本は、あらゆる場面で大きな変革を迫られています。

混迷と激動の時代にあって求められるのは、問題に対して既成の準拠枠にとらわれることなく、

柔軟かつ迅速に的確な判断を下しうる能力です。

本学科は、言語・文学・思想・行動や、環境・歴史など、人間に関わる事象万般にわたる複眼的アプローチによって、

人間についての総合的な理解を深める教育を推し進め、そのことを通じて、現代社会の中で生きてくる

様々な課題に対処し、より善い将来を自らの手で築きうる、

活きた知恵と知性とを備えた「人」を育てます。

人間基礎論コース

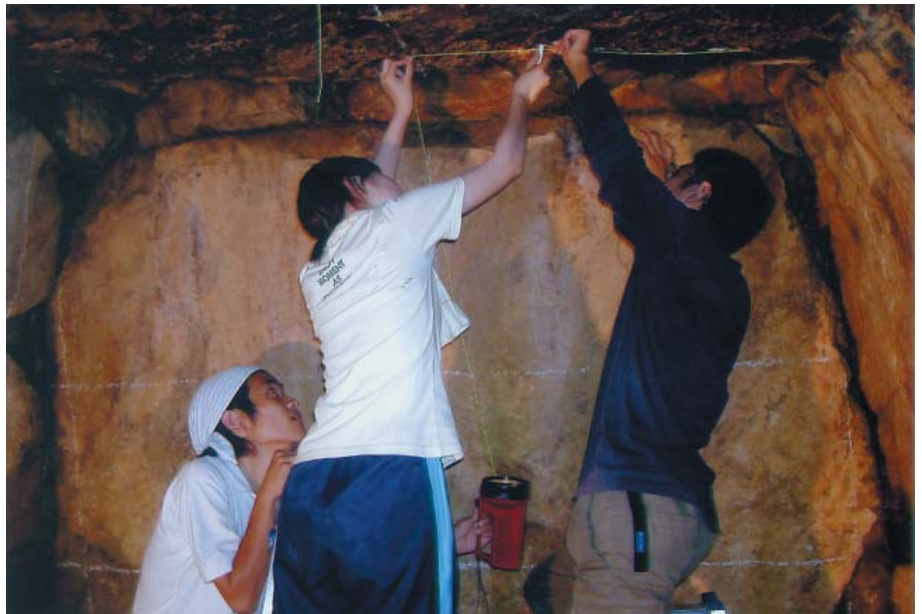
社会生活が複雑さを増すほど、人間の本質への省察もまた必要となります。哲学・倫理学・宗教学・心理学・言語学などの分野を学びながら、人間の精神活動・言語・認知・思想・行動に関する認識を深め、文化をつくると同時に文化によってつくられる人間存在をトータルにとらえる洞察力の育成をはかります。

地域変動論コース

世界の各地域に生成・変動する社会・文化の特質や構造を歴史的な視点から理解するとともに、人間が生活する場としての地域が持つ固有の産業・方言・自然などの文化的環境について学習し、人間の「生」の重層的な把握を目指します。主として、日本史学・考古学・東洋史学・西洋史学・地理学・方言学などの分野を学ぶことができます。

言語表象論コース

文化のエッセンスは言語表象にあらわれます。日本文学・日本語学・中国文学・イギリス文学・アメリカ文学・ドイツ文学・フランス文学など、各地域固有の言語文化を学ぶとともに、それらの比較対照によって文化現象を相対的にとらえる視点の獲得に努め、そのことを通じて、多様な文化現象を総合的に把握できる、創造的な知性と豊かな感性の育成を目指します。



卒業後の進路

教職や公務員をはじめ、大学院進学など、進路は多種多様です。民間への主な就職先としては、流通サービス業、金融・保険機関、旅行代理店、情報処理関連企業のほか、新聞社、テレビ局、広告業などのマスコミ関係があげられます。

さまざまな視点から、「地球社会」にアプローチする

今、国際化・情報化の波は大きく押し寄せています。

この学科は、従来の学問・教育の枠組みを超え、「情報」をベースに多文化的な観点から「国際社会」にアプローチし、コミュニケーション能力と、総合的な思考力・創造力をあわせ持った「国際人」の養成を目指します。

国際化のうねりの中で真に求められているもの、それを学生は主体的に学び取ることになるでしょう。

わたしたちの学科は、多元的な教育システムのもと、優秀なスタッフが学生の主体性に応えていきます。

日本語教員の養成課程も用意されています。

国際コミュニケーションコース

国際化が進行する社会の中で必要とされる、異文化間の相互理解への能力を養っていきます。異文化間のコミュニケーションには、実践的なコミュニケーション能力はもちろん、異文化への理解、さらにインターネットに見られるような情報発信能力が求められます。このコースは、こうした総合的なコミュニケーション能力の養成を目指しています。

国際社会交流論コース

環境問題、民族・宗教紛争、あるいは巨大経済機構の出現。今こそ地球的規模の対応が求められています。このコースは、人文・社会科学の諸領域を自由に行き来し、その中で的確な情報処理能力を基盤に、地球社会というひとつのシステムを担っていくにふさわしい、幅広い視野と思考力を兼ね備えた人材の養成を目指しています。



卒業後の進路

教職や公務員をはじめ、さらに大学院への進学など、進路は多種多様です。民間企業では、商社や流通業界、各製造業界、銀行、証券会社、保険会社、旅行会社のほか、テレビ局や新聞社、広告業界などのマスコミ関係があります。また、国際機関の職員、さらに日本語教師への道もあります。

幅広い教養を身につけた即戦力となる社会人を養成する

世界経済、日本経済、地域経済は21世紀、大きな変動に直面しています。

社会経済学科では新しいこれらの社会的諸問題に対して、その解決策を企画・立案・実行できる専門的職業人を養成することを目指しています。

特に、成熟化・高齢化・少子化社会、高度情報化している状況を踏まえて、日本と地域社会の問題を真正面から学習することを目指しています。

総合地域政策コース

総合地域政策コースでは、地域社会に関する政策立案能力を持った学生を養成します。今日の地域経済は、国内的にも国際的にも直接相互に関連し合う主体性を持った地域に生まれ変わることが求められています。また、21世紀は地方分権の時代とも言われています。このような時代に、経済学、社会学、財政学、法学等の諸科学を総合し、地域の総合的な政策を勉強します。

経済企業情報コース

経済企業情報コースでは、高度情報化社会に対応した企業活動・経済環境に関する教育研究を行います。今日すでに高度情報化社会が到来しており、経済、企業活動に新しいルール、課題が生まれています。そしてこのコースではこうした新しい時代に対応した、企業経営の分析や、経済分析を行う人材を養成します。



卒業後の進路

社会経済学科は幅広い教養を身につけた即戦力となる社会人・企業人を養成します。民間企業をはじめ公務員、教員への就職の道があります。また近年は大学院に進学する人も増えています。



...Have a talk

かけもちOK、誰でも歓迎…ってどんなゼミ?!

高橋 高知大学は、本当に自由な大学なんです。まず学部や学科、研究室の垣根が低い。

前田 コースに分かれるのが2年生からで、どの先生のゼミ(研究室)にするか選ぶのが3年生からですが、3年生の1学期くらいまではゼミを二つ三つかけもちできます。目指すテーマだけでなく、その周辺の分野もたっぷり学べるようになっています。

高橋 実際、私の研究室にもいろんなテーマを持った学生が入りしています。でも基本的に少人数なので、演習の中身は非常に濃いものになります。1対1とか1対2という授業も存在します。こんなこと、他大学では聞いたことがありません(!)。そのぶん教育効果は高いと思いますね。

漢字ひとつからも、イメージは膨らんで

前田 私は高校時代、漢文の授業が好きで、中国文学をやりたいと思って高知大学に来ました。ゼミでは昔の書物を原文で読み、書かれている内容を研究したり、↓

教員+学生 人文学部編

文学の向こうに見える、歴史、文化、人間

高橋 俊准教授 + 前田 智子



ホラー映画で文化比較?!

高橋先生が最近興味を持っているのは「ホラー映画による中・日・米の文化比較」というテーマだそう。実はホラー映画にはその国の死生観がよく表れていて、そこから風土や風習の違い、精神文化の成り立ちといったものが読みとれるのだとか。こういった身近なカルチャーの中にテーマを見いだせるのも、人文学部の面白さ。奥深い人文の世界にあなただ足を踏み入れてみませんか?

研究 Close up

稀少な蔵書に接するチャンスも

歴史の古い高知大学には、重要文化財級の貴重な書物が数多く所蔵されています。18世紀フランスにおける啓蒙思想の集大成・デイドロ・ダンペールの「百科全書」をはじめ、唐時代の「五経正義」の写本、ジョン万次郎が編纂した「英米対話捷徑」の原本など超一級の資料や膨大な量の漢籍などが、総合情報センター(図書館)に収められています。



ジョン万次郎編纂「英米対話捷徑」

人文学部の

ここが
すごい!

最初からこれだと決め込まず、いろんなことに手を出してください。学びたいという想いがあれば自分にあった何かが見つかります。

人文学部を目指す人へのメッセージ

大学では積極性が大切。先生はいつでも受け入れてくれるので、聞きたいことがあれば1年生でも研究室を訪ねてみるといいですよ。

時代背景や文化を読み取ったりしますが、その過程で様々な発見があって本当に飽きることがありません。

高橋 漢字一つとっても、意味をどうとらえるか研究者によって説は様々です。そういう一つひとつを前田さんは丁寧に読み解いていくんです。

前田 例えば「海」という漢字から、中国と日本との海に対するイメージの違いがわかります。「毎」の部分には「くらい」という意味があって、そこから古代中国人が海を怖く暗いものだととらえていたと想像できるんです。日本では海は明るいイメージなので逆ですね。他にも、ひとつの詩の中にもととった故事だとか前の時代の詩だとかが隠れていて、そういうのを調べていく面白さが中国文学の醍醐味ですね。

高橋 私自身の専門は現代の中国で、文学だけでなく映画やポップス、インターネットまで気になることは何でも研究対象にしています。

前田 私も先生の授業を聞いて中国の近代小説をいくつか読みましたが、面白かったですね。

高橋 研究素材というのは実はどこにでも転がっているんです。要は目のつけどころ。自分次第で人と違ったユニークな研究もできます。ぜひ高知大学でそれを見つけてほしいと思いますね。

Profile

人間文化学科 言語表象論コース

高橋 俊准教授

<代表的な研究>

- 中国映画における日本人像
- 中国におけるインターネット言説の分析
- 近代中国における地域アイデンティティ

前田 智子 4年生 長崎県出身

<研究テーマ>

- 宋代、とくに蘇軾の詩

教育学部

Faculty of Education

「人が人らしく生きる」
場面に深く関わり合う

課程名

■学校教育教員養成課程

- 教育科学コース
- 障害児教育コース
- 教育方法コース
- 教育内容コース

■生涯教育課程

- 芸術文化コース
- スポーツ科学コース
- 生活環境コース(生活系、環境情報系)

取得できる資格

■学校教育教員養成課程

- 小学校教諭一種免許状
- 中学校教諭一種免許状
(教科)国語・社会・数学・理科・音楽・美術
保健体育・技術・家庭・英語
- 高等学校教諭一種免許状
(教科)国語・地理歴史・公民・数学・理科
音楽・美術・書道・保健体育・家庭
英語
- 特別支援学校教諭一種免許状
- 幼稚園教諭一種免許状
- 学芸員

■生涯教育課程

- 芸術文化コース
 - 中学校教諭一種免許状(音楽・美術)
 - 高等学校教諭一種免許状(音楽・美術
工芸)
 - 学芸員
- スポーツ科学コース
 - 中学校教諭一種免許状(保健体育)
 - 高等学校教諭一種免許状(保健体育)
 - 学芸員
- 生活環境コース
 - 中学校教諭一種免許状(家庭・理科)
 - 高等学校教諭一種免許状(家庭・理科)
 - 学芸員

求める学生像 Admission Policy

教育学部は、地域社会との連携を通じた自由で創造的な研究・教育を基本とし、
学部の特性として子どもと触れ合い、子どもの心がわかる教員の養成を目指しています。
また、日本有数の高齢化県である高知県に立地する学部の特性として、
これからの長寿社会における豊かな生活環境の創造のために貢献できる
人材の育成を目指します。

学校教育教員養成課程

豊かな生活や遊びに関する体験を持ち、積極的に地域や子どもと触れ合い、仲間づくりを通してコミュニケーションを高めることができる学生を求めます。また、教員希望の学生として、幅広く、そして深い知識・技能を身につけるために適切な努力ができ、進んで教育の真の意義を見いだせる力を持った人を求めます。

生涯教育課程

これからの社会にふさわしい高度の専門性を身につけて、文化や芸術・スポーツの創造発展を目指し、社会環境や人間生活の向上に寄与しようとする意欲のある学生を求めます。

●芸術文化コース

自由な発想や新鮮なアイデアによる音楽や美術に関わる表現活動や文化の創造発展を目指し、芸術・文化環境の向上のために努力できる学生を求めます。

●スポーツ科学コース

これからの長寿社会の中で、スポーツの創造発展や、スポーツを通じて健康で充実した人間生活の実現に寄与できる学生を求めます。

●生活環境コース

変化する生活環境や発達した情報化社会にふさわしい専門性を通して、社会環境や人間生活の向上に寄与できる学生を求めます。



自由でのびやかな雰囲気と徹底した少人数制のもと、
学校教育はもちろんのこと、生涯教育の分野まで幅広いコースが用意されています。

カリキュラム例 Curriculum

学校教育教員養成課程

■ 教職に関する科目

教職入門、同和教育論、道徳教育、特別活動指導法、教育の方法・技術、生徒指導、教育相談、各教科初等指導法、各教科中等指導法、教育実習(小・中・高・幼)

■ 小学校教科に関する科目

小学国語、初等社会科、初等数学、初等理科、こどもの生活と環境、初等音楽、初等図工、家庭科概論、小学校体育

■ 中学校教科に関する科目

国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語(英語)の各教科に関する科目

■ 特殊教育に関する科目

特別支援教育学概論、知的障害心理学、知的障害生理・病理学、肢体不自由等心理・生理・病理、病弱等心理・生理・病理、知的障害教育課程論、知的障害教育の理論と実際、肢体不自由教育指導法、病弱教育指導法、障害児教育基礎演習、障害児教育特講、障害児教育実習

■ 課程共通科目

情報教育I、人権教育、障害児者問題入門、高知県の教育、児童英語、教育哲学、日本教育史、西洋教育史、教育行政学、教育社会学、教育評価、パーソナリティ論、学校カウンセリング、認知心理学、生涯学習概論、社会教育計画、応用実習、インターンシップ、実践論(フレンドシップ)

生涯教育課程

■ 芸術文化コース

サウンドクラフト、デッサン、グラフィックス、造形、音楽基礎論、ソルフェージュ、音楽実技、地域芸能・文化、中国芸術・文化、書道、西洋画、日本画、デザイン、木材工芸、金属工芸、美術理論、民族音楽・文化、日本音楽・文化、声楽、器楽、合奏、合唱

■ スポーツ科学コース

生涯スポーツ論、スポーツ運動学、スポーツ生理学、スポーツ栄養学、スポーツ指導論、スポーツ健康論、スポーツマネジメント論、スポーツ社会史、スポーツ心理学、スポーツ社会学、身体表現論、トレーニング論、救急処置法、健康生活論、身体発達論、スポーツ実技(個人・対人・集団)、キャンプ実習、海浜スポーツ実習、スキー実習

■ 生活環境コース

被服管理学、住環境学、食生活論、生活環境教育論、地域社会学概論、社会調査法、環境技術概論、環境情報、生物環境学、計算機言語、被服学概論、被服心理学、住生活学、住環境計画論、食物学概論、調理実習、生活機器論、家庭経営学、都市地理学、政治学、社会学、経済学、物理学概論、化学概論、生物学概論、動物学概論、地学概論、地球電磁気学、栽培、数値計算法、応用数値計算、計算機実験学、画像情報処理

学校教育教員養成課程 Teacher Training Course for Schools

こどもたちに豊かな人間教育を

小学校及び中学校(あるいは特別支援学校)の教員養成を一体的に行うことを特色としています。

4年間一貫した実習系授業を履修する中で子どもたちや教職員・地域の方々と関わりながら、

教育に必要なコミュニケーション能力や実践的指導力を身につけることができます。

そして、幅広い教養科目と教育学や心理学などの教職の基本に関する科目、

各教科に関連する科目を学習することで、それらの力を高めることができます。

2年次より、4つのコースに分かれて学習と研究を深めます。

本課程では、小学校一種免許に加えて、中学校二種または特別支援学校一種免許の取得が必要です。

教育科学コース

本コースは、小学校・中学校教員となるために必要な教員免許取得のほかに、教育学や心理学に関する専門的な学習と研究を深め、理論と実践の両面を視野に入れた教員養成を目指します。2年生から、教育学あるいは心理学担当教員の指導のもとに、演習や卒業論文作成などを通して学習と研究を深めます。

障害児教育コース

本コースは、主に知的障害の子ども、肢体不自由の子ども、病弱の子どもを教育する教員の育成を目的としています。また視覚障害や聴覚障害、重度・重複障害、軽度発達障害についても学びます。学校は大きく変わり、盲・聾・養護学校が特別支援学校に移行するなど「特別支援教育」が導入されました。通常学級においても特定の学習だけが著しく遅れていたり、授業が始まって10分もしないうちに席を離れてしまったり、こだわりがあったり等の理由で、一斉指導では教えることが難しい児童生徒に、その子にあった適切な指導をする「個別の教育支援」ができる仕組みが整えられ、全教員が関わることとなります。これらの動向を踏まえて本コースでは、学習や生活上の困難を正確に理解するための理論や、児童生徒に応じた適切な指導法を学びます。



4年間一貫した実習系授業

1年次 フレンドシップ

2年次 介護等体験、観察実習

3年次 教育実習、障害児教育実習(障害児教育コース)

4年次 教育実習(障害児教育コース)、インターンシップ、応用実習、幼稚園実習



教育方法コース

本コースは、小学校・中学校教員となるために必要な教員免許取得のほかに、各教科の目標、新しい教材づくり、授業設計・構築及び学習指導法などについての専門的な理論と実践を学び、教科指導にすぐれた実践力を持った学校教員の養成を目指します。教科教育学は、各教科のどのような教材をどのようにすれば児童・生徒にわかりやすく、興味を持って、確かに学ばせることができるかを研究する学問です。2年生から、各教科の教科教育学の教員のもとで、そのような理論と実践の研究を深め、確かな実践力を養成します。

教育内容コース

本コースは、小学校・中学校教員となるために必要な教員免許取得のほかに、幅広い視野に立って、個別教科(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語)の内容を深く掘り下げ、生涯学習社会に対応できる新しいタイプの教員養成を目指します。2年生からそれぞれの教科の専門の教員のもとで学習と研究を深めます。



免許状について

- 卒業要件に含まれる免許状
 - 小学校教諭一種免許状
 - 中学校教諭二種免許状または特別支援学校教諭一種免許状
- 履修の仕方によって取得可能な免許状
 - 幼稚園教諭一種免許状
 - 中学校教諭一種免許状
 - 高等学校教諭一種免許状
 - 特別支援学校教諭一種免許状

卒業後の進路

小学校・中学校、特別支援学校・高等学校の教員となる場合がほとんどですが、最近では公務員、あるいは教育関連産業をはじめ、一般企業への就職者が増えています。また、学部 の課程で興味を抱いた専門領域をさらに深く学習・研究するために大学院総合人間自然科学研究科教育学専攻(修士課程)へ進学することも可能です。

幅広い教養と総合的な知識を育み、社会のニーズに応える

生涯学習社会、情報化社会を迎えて多くの課題があります。

また、芸術・スポーツ活動による健康で文化的な生活の確立、地球環境、生活環境をめぐる

いろいろな問題にも直面しています。

豊かな感性と人間的交流と諸科学の学習をもとにした幅広い教養と柔軟な思考力と

高度な技術力を身につけた人材が求められています。

本課程では、このような社会的な要請に応えるために3つのコースを設けました。

教員の養成を目的とするものではありませんが、履修の仕方によっては、教員免許状を取得することができます。

芸術文化コース

本コースは、美術工芸と音楽を中心とした芸術表現に関わる領域を幅広く学んだ上で、主として芸術家と芸術文化に関する社会教育の指導者などを養成するコースです。1・2年生ではコース共通の基礎や専門の授業科目が用意されていますので、総合的に芸術全般にわたっての知識や技術を身につけることができます。

スポーツ科学コース

本コースは、競技力を支えるコーチ、トレーナー、そしてマネージメントに関わる指導者と生涯・健康スポーツの指導者を養成します。まず基本的な実技と自然科学や社会科学に基づくスポーツ諸科学を学び、学年の進捗とともに少人数体制のもとで各人の関心や興味を深め、スポーツの専門家としての教育・研究能力を高めます。

生活環境コース

本コースでは、生活環境問題を多角的に学び、新たな時代にふさわしい生活環境の創造に必要な知識・技術を学びます。2年次より「生活系」と「環境情報系」に分かれます。「生活系」では現代の生活環境問題を、生活科学及び社会科学の視点から分析的・総合的に学びます。「環境情報系」では環境を科学・技術的側面からとらえ、私たちがとりまく自然界に目を向け、さらに私たちの生活を便利・安全にするための工夫について学びます。



免許状について

●履修の仕方によって取得可能な免許状

中学校教諭一種免許状

(音楽・美術・保健体育・家庭・理科)

高等学校教諭一種免許状

(音楽・美術・工芸・保健体育・家庭・理科)

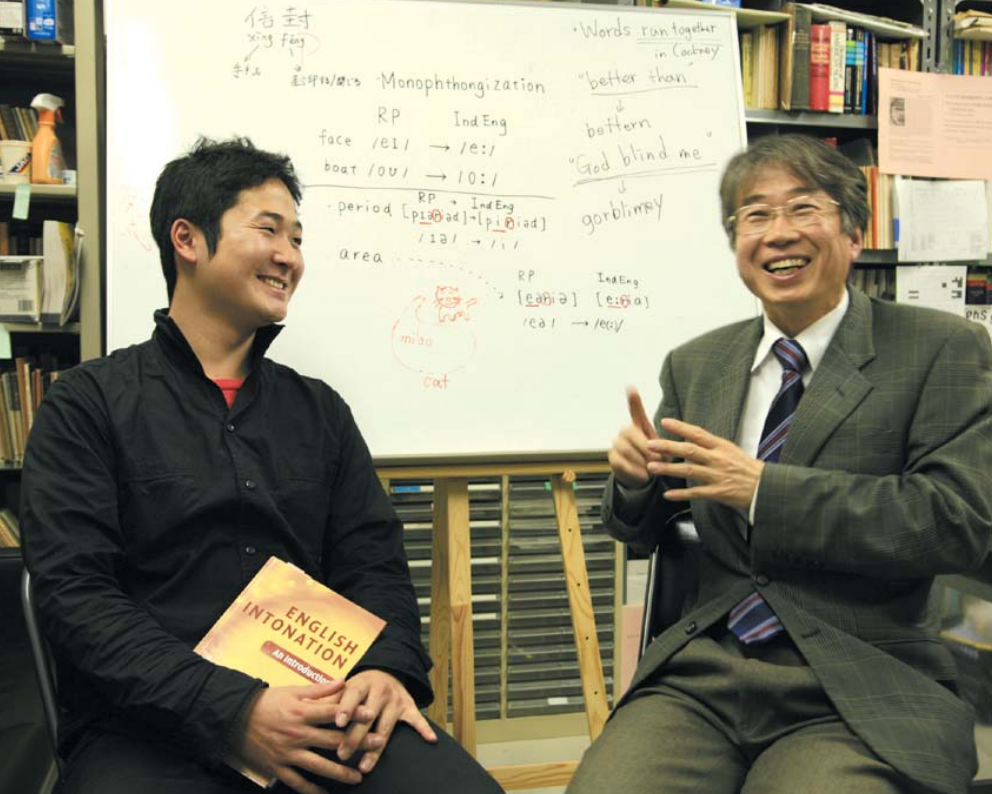
卒業後の進路

芸術文化コースでは、各種デザイン、印刷関連、企画会社等の一般企業や美術館学芸員、文化施設・公民館職員などがあります。

また、スポーツ科学コースでは、公共スポーツ施設や福祉厚生施設、及び商業スポーツ施設の指導員などがあり、生活環境コースでは、衣食住関連企業もしくは情報関連企業、環境・地域計画コンサルタント、消費生活・ファッションアドバイザーなどがあります。

そして、各コース共通の進路として、教員や公務員があげられます。また、学部の課程で興味を抱いた専門領域をさらに深く学習、研究したい場合には大学院総合人間自然科学研究科教育学専攻(修士課程)へ進学することも可能です。





...Have a talk

英語を教えることは、その文化を教えること

谷口 教育内容コースでは専門とする学問の中身を深く掘り下げて学んでいきます。英語なら文法、音声、意味など英語そのものを扱います。

中須加 英語を教えるということは、英語の背景にある文化にも触れさせるといことです。それを僕は先生の研究室で学びました。そのひとつに、文化によって単語の数が違うということがあります。

谷口 その文化にとって重要であればあるほど単語数は増えるのです。例えば日本では稲、米、ごはんを使い分けませんが、英語ではriceだけ。区別するには何かを付け足さねばなりません。逆に欧米では家畜に関する単語が多く、牛でも親、子、雄、雌で呼び名が違います。

中須加 少し視点を変えたり、少し深く知ることによって、興味の持ち方ががらりと変わるのです。そういう学びを提供できる教育者になりたいと思っています。

英語音声学との出会い

中須加 僕は今、英語音声学の中の「サウンドシンボリズム(音象徴)」という分野に取り組んでいます。

谷口 擬音語や擬態語がそのわかりやすい例ですが、彼の場合は「音によって人間はどう感じるのか」また「人間は感じたことをどう音に表すのか」というテーマで双方向から研究をしています。

中須加 例を挙げると、「FL」。この音は「ふらふらする」状態を象徴しています。これは「FL」を含む単語、「FLAP(羽ばたかせる)」「FLY(飛ぶ)」「FLAG(旗)」などから推察できます。面白いのは日本語でも、「八行」と「ラ行」の組み合わせは「はらはら」「ひらひら」「ふらふら」というように同じ音感を持つことです。

谷口 音象徴には世界共通の感性があるのではないかと考えられますね。

中須加 僕は谷口先生からこの音声学を学んで、目からウロコの思いがしました。こういうことを少しでも高校生の時から知ることができれば、勉強の動機づけにもなるし、何より英語が面白くなると思うのです。

谷口 専門性を深めれば深めるほど、効果的な教え方も見えてきます。英語が使える日本人育成を実現するために、彼のような視点、志を持った教育者が増えていくことを願っています。

Profile

学校教育教員養成課程 教育内容コース

谷口 雅基教授

<代表的な研究>

- 英語音声学
- 日本人のための英語音声教育
- スピーチコミュニケーション

中須加 大作 3年生 岡山県出身

<研究テーマ>

擬音語、擬態語などの音象徴

教員+学生 教育学部編

興味の扉を開く教育者に

谷口 雅基教授 + 中須加 大作



教育学部の

ここが
1
すごい!

地域と一緒に学んで学べる

高知大学教育学部では、地域とのつながりを大切に育て、それをどう教育に活かしていくか、また地域にどう還元していくかを常に考え実践しています。例えば2年生の1年間を通して行われる環境教育では、田植え、草引き、稲刈りといったお米作りのプロセスを、地域の方や地域の子もたちと一緒にいきます。こういった学び合いは、学生の活力と地域の受け皿があってこそ実現するもの。他大学にはない大きな特色です。

教育学部の

ここが
2
すごい!

広がる、教育実践の場

学部主催のイベントとして行っている取り組みもたくさんあります。地元の中・高校生と一緒に大学のキャンパスに泊まりこんで英語を学ぶスプリングキャンプとサマーキャンプもそのひとつ。食育を兼ねて英語でクッキングするなど、工夫を凝らした英語教育の実践の場となっています。また、教育学部附属小学校とベトナムの小中学校が姉妹校提携する話も進んでいます。海外での教育の実践も夢ではないかも?!



自分から行動していけば成長できるチャンスはたくさんあります。それを大切にして未来につなげていってほしいですね。

教育学部を目指す人へのメッセージ

教育はすばらしいけれど大変な道。ただ好きというだけでなく、献身的な姿勢も大切です。大学で、一生自分で学んでいくための土台をつくってください。



理学部

Faculty of Science

壮大なスケールの世界を
基礎から応用まで解き明かす

学科名

理学科

- 数学コース
- 物理科学コース
- 化学コース
- 生物科学コース
- 地球科学コース

応用理学科

- 情報科学コース
- 応用化学コース
- 海洋生命・分子工学コース
- 災害科学コース

取得できる資格

数学・情報系

- 中学校教諭一種免許状(数学)
- 高等学校教諭一種免許状(数学)
- 高等学校教諭一種免許状(情報)
- 情報処理技術者[要試験]

物理系

- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(理科)

化学系

- 毒物劇物取扱責任者[資格審査有]
- 危険物取扱者(甲種または乙種)[要試験]
- 環境計量士[要試験]
- 有機溶剤作業主任者[要試験]
- 特定化学物質取扱責任者[要試験]
- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(理科)

生物系

- 学芸員
- 生物分類技能検定[試験有]
- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(理科)

海洋生命・分子工学系

- 毒物劇物取扱責任者[資格審査有]
- 危険物取扱者(甲種または乙種)[要試験]
- 中級バイオ技術者[要試験]
- 上級バイオ技術者[要試験]
- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(理科)

地学・防災科学系

- 学芸員
- 測量士補[要試験]
- 技術士補[要試験]
- 防災士[要試験]
- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(理科)

求める学生像 Admission Policy

理学部は数学的思考力・英語力・情報処理能力を土台にして、
情報・材料・生命・環境・海洋・資源等の広範な分野で専門教育を実施し、
地域国際社会に通用する専門職業人を養成します。
数学と理科学科が好きで、自然に対する好奇心と探究心を持つ学生を求めます。



国際的に高く評価される研究成果が数多く発表されるなど、研究活動も活発。

理 学 科

理学科は、正しい自然観や倫理観を学びたい学生を受け入れます。自然現象や生命活動の探求を通して知的文化の創造に寄与し、バランスの取れた自然観に基づいて、適切な課題設定と課題解決ができる理学士を養成します。

●数学コース

数学に興味を持ち、数学を一生の仕事あるいは友としたい学生、数学の基本的な思考法と技術を身につけて他分野へ進みたい学生、教員になって中学・高校で数学を教えたいと考えている学生を求めます。

●物理学コース

自然現象の本質的法則に興味を持ち、その理解に意欲的な学生、物理や化学の実験が好きで、データ解析やものづくりに熱中することのできる学生、また、物理や化学の基礎を学び、将来、物質開発研究、教員などの職業に活かしたいと考えている学生を求めます。

●化学コース

物質の反応メカニズム、無機・有機化合物の合成や物理化学的性質、さらに分析化学的手法などについて興味があり、化学物質の本質的理解と応用価値についての専門性を高めたいと考えている学生、また、グローバルな視野に立って将来の化学及び化学技術の発展に貢献したいと考えている学生を求めます。

●生物科学コース

生物の多様な存在様式や活動及びそれらを支えている生命機構に関して、分子・細胞レベルから個体や集団レベルに至る総合的学習を目指す学生、環境と生物の関わり合いに興味を持ち、さらなる専門性を身につけたいと考えている学生を求めます。

●地球科学コース

地球科学分野に向学心を持ち、地球史46億年をひも解く知的好奇心を持つ学生、自然と人間の関わり合い(地球環境)を理解しようという意欲を持つ学生を求めます。

応 用 理 学 科

応用理学科は、応用的な知的活動を通して社会に寄与し、国際的視野・豊かな創造力・積極的な行動力を身につけた、応用力に秀でた理学士の養成を目指しています。情報・材料工学・生命・防災などを学びたい意欲のある学生を受け入れます。

●情報科学コース

情報通信技術(IT)に興味を持ち、コンピュータに関する基礎的理解から柔軟な応用力を会得したい学生、情報科学という広範な学問分野のさらなる開拓と新しい応用分野の創造に参加したい学生を求めます。

●応用化学コース

分子レベルでの物質の構造・性質、合成及び反応性に興味を持ち、人々の生活に深く関わる機能性材料、医薬材料などを系統的に理解したい学生、資源・生命・地球環境問題の解決などに興味があり、国際的な研究者・技術者を目指す学生を求めます。

●海洋生命・分子工学コース

生命現象を分子レベルで解き明かそうとする強い熱意を持った学生、生物学と化学に強い関心を持つ学生、“どうしてだろう・・・”“何故だろう・・・”と探求心が旺盛な学生、実験が好きな学生、チャレンジ精神の旺盛な学生を求めます。

●災害科学コース

地球諸科学に底流する理学的思考と方法を基礎に、各地域の特性を熟知した上で防災という工学的課題の解決にチャレンジしたい学生、また、大気現象に関心があり、未知への探究・解明に取り組める学生を求めます。

カリキュラム例 Curriculum

理 学 科

■ 数学コース

数学概論、線形代数学、解析学、幾何学、代数学、統計学

■ 物理学コース

力学、電磁気学、熱力学、物理化学、統計力学、量子力学

■ 化学コース

有機化学、無機化学、分析化学、物理化学

■ 生物科学コース

動物生理学、細胞生物学、植物分類学、動物分類学、生態学

■ 地球科学コース

地球史環境科学、造岩鉱物学、資源地学、海洋地質学、古生物学

応 用 理 学 科

■ 情報科学コース

計算機システム学、プログラム言語論、オペレーティングシステム論、情報ネットワーク論、人工知能論

■ 応用化学コース

有機化学、無機化学、分析化学、機能材料化学、量子化学

■ 海洋生命・分子工学コース

生化学、発生生物学、有機化学、分子生物学、進化生物工学

■ 災害科学コース

地球惑星科学、防災科学、地球観測学、連続体力学、地震物質学

知的文化の創造と人類進歩を目指して

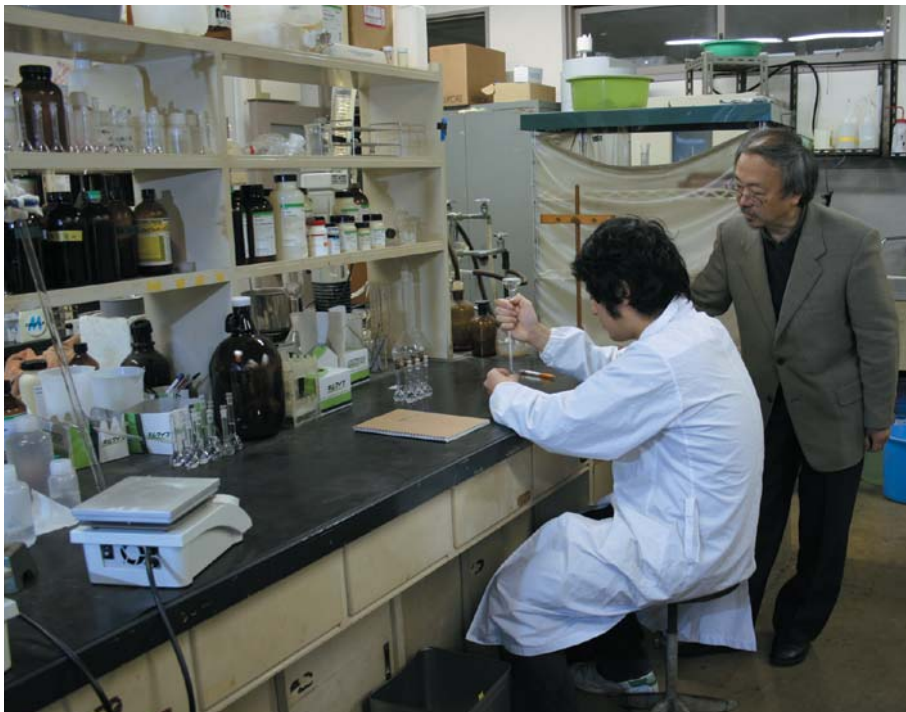
理学科は、自然現象や生命活動の探求という純粋理学的な営みについて、

数学的思考を基礎にとらえ、物理・化学・生物科学・地球科学の諸分野の英知を結集してその教育と研究に挑みます。

知的文化の創造と人類の調和ある進歩に供することを理念として掲げ、

そのことを通して正しい自然観と生命観を備え、

そして、課題設定及び課題解決ができる職業人の養成を目指します。



数学コース

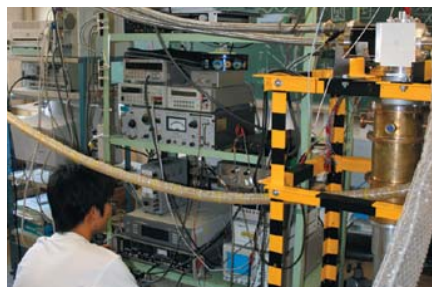
数学的である、あるいは論理的であることは全ての科学に携わる人々に必然的に求められています。しかし、数学を的確に活用するためには、正確な数学的知識の習得と十分な数学的・論理的訓練とが必要です。数学コースでは、それらを可能にする環境を提供します。高校で学んだ基礎の上に、解析学、幾何学、代数学、統計数学などの基礎的な概念をまずは学習・獲得し、広範な応用を視野に入れたさらに深い内容へと進み、総仕上げとしての卒業研究に至るまでの数学教育を行います。

物理科学コース

素粒子から原子核、原子、分子及びその集合体まで、物質がその階層に応じて示す基本法則、現象、性質などを取り扱います。これには、従来の理論物理、量子物理、物性物理、物理化学などの分野が含まれています。具体的には、素粒子やハドロン・原子核の基礎理論、素粒子間の相互作用や電磁的非線形現象、固体の電気・磁気・光・熱的諸性質、物質の持つ物理化学的諸性質（物質合成法、構造解析法、結晶構造と物性との相関など）などの理論を学び、実験によって確実な知識を習得できる教育を行います。

化学コース

化学は、100種あまりの元素の組み合わせからなる物質の性質ならびに物質間の相互作用と変化を探求する学問分野です。本コースでは、これら様々な物質の反応メカニズム、無機・有機化合物の合成や物理化学的性質、さらには分析化学的手法などについて、原子・分子という基本的要素から複雑な先端化学物質までを対象として体系的に教育し、研究を行います。このことにより、化学物質の本質的理解と応用価値についての専門性を高めるとともに、グローバルな視野に立って将来の化学及び化学技術の発展に貢献できる人材の育成を目指します。



生物科学コース

原生動物や藻類の細胞生物学及び分子生理学、昆虫や魚類の行動生理学、魚類や無脊椎動物を対象にした分類学と生態学、こけ類と地衣類を対象とした分類学、河川、草原、里山などの植物生態学、堆積花粉の分析による古生態学、有用海藻類を対象とした海洋植物学などの教育と研究を行います。さらに、他コース生物系講義題目も加え、分子レベルから集団レベルに至る幅広い領域をカバーできるような充実した講義メニューを提供し、豊かな科学的素養と独創的の専門性を備えた人材の育成を目指します。

地球科学コース

地球科学コースでは、地球表層システム、とりわけ岩石圏、水圏の相互関係の理解を進めています。固体地球の分野では、火成岩や変成岩の成因論や、地殻・マントルの形成及び発達過程の解明を目指しており、また、地球環境の分野では、堆積相や化石の解析から過去の地球の様子を、海洋底堆積物の解析から海洋環境変遷などを研究し、教育しています。幅広い地球科学現象の学習を通して、地球環境の諸問題を地球科学の視点から理解する力を備えた学生の養成を目指します。



卒業後の進路

国家・地方公務員、中学・高等学校教員、情報・通信サービス業、金融機関、コンピュータ関連企業、製造業、流通・販売業、サービス業、環境アセスメント関連企業、環境・地質コンサルタント関連企業、高知大学ならびに他大学大学院

グローバルな視点と豊かな発想での挑戦

本学科は、情報、材料化学、生命、防災にそれぞれ対応した、他に類を見ないユニークな4コースで構成されています。各教育コースは、従来の学問分野にとらわれない応用面を強調した新しい融合型の教育と研究を行うばかりではなく、コース間で相互に連携を保ちつつ有機的な教育・研究を実践することも目標としています。これらにより、21世紀に活躍しうるグローバルな視点・豊かな創造力・積極的な行動力を身につけた人材の育成を目指します。

情報科学コース

本コースは、コンピュータに基づくソフトウェアやアルゴリズムの基礎から応用までの習得にとどまらず、コンピュータは何ができるのか、どのようにして動くのか、どうすればより良い計算システムが構築できるかを講義を通して指導し、学生はコンピュータサイエンスの基礎と応用を学びます。情報科学の研究成果は多くの研究分野で活用されており、また、新しい学問の創出にも貢献しています。情報科学コースは、コンピュータの理論から広範な応用までを担うものとして、高度情報化社会の確かな担い手となる人材の育成を目指します。

応用化学コース

応用化学コースでは、分子レベルで物質の構造・性質及び反応性を明らかにするとともに、新しい物質の創造や機能材料の開発を目指した教育と研究を行うことで、食料、衣料、医薬品から家電製品に至る広い範囲にわたって人々の生活に深く関わる化学物質を系統的に理解し、さらに資源・生命・地球環境問題の解決などに向けた産業創出に関する先導的学問領域の構築を目指します。このことにより、幅広い専門知識や高度な技術力に加え、豊かな人間性や崇高な倫理観をあわせ持った国際的な研究者・技術者の育成を目指します。

海洋生命・分子工学コース

海洋生命・分子工学コースは、理学部の生命・海洋・物質の分野で中心的な役割を果たし、個性豊かな科学的教養を体得した専門職業人の養成を目指します。本コースは海洋生物などを対象とした遺伝子工学、発生工学、タンパク質・酵素工学、分子工学などの領域で教育と研究を行い、21世紀に活躍する人材の育成を目指します。本コースには、分子生物学、生化学、天然物化学、有機合成化学などの分野が含まれています。



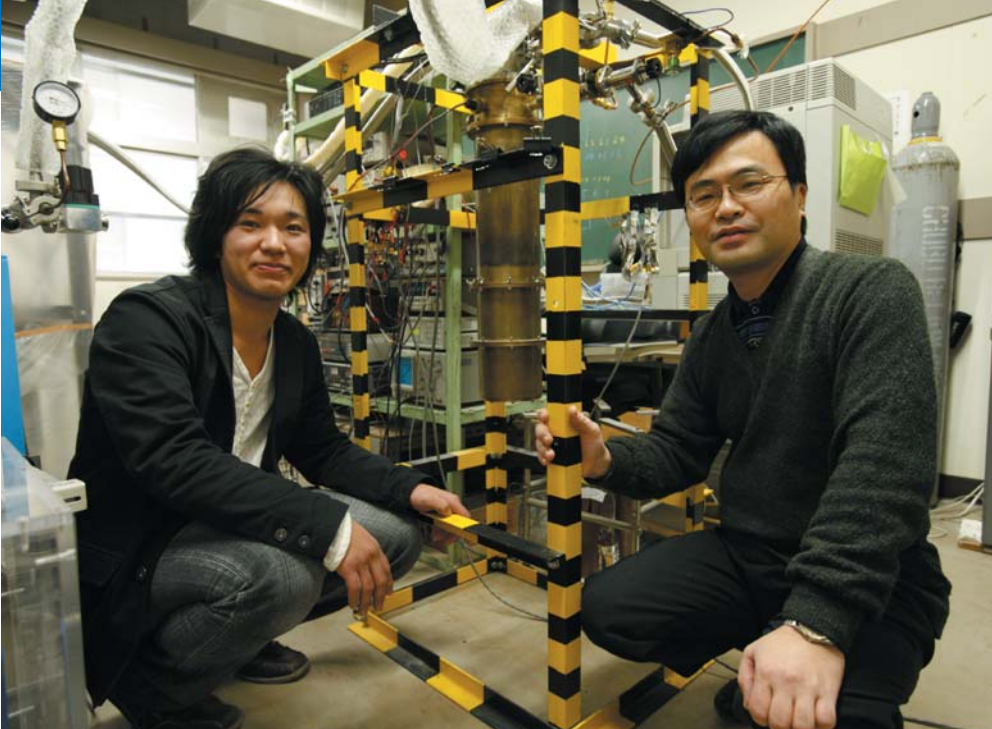
災害科学コース

人間生活に多大な被害をもたらす自然災害に対し、効果的な防災対策を立案し災害の軽減をはかるには、自然現象の発生メカニズムを正しく理解し、次に人間生活を考慮した将来の予測を立てることが重要です。災害科学コースでは、地盤災害・気象災害・地震災害を主な対象とし、大気科学、地球物理学、地盤科学、地震地質学などの講義・実験・野外調査を通じて、地球の営みとそれを解明するための調査手法を研究し、教育します。これにより、問題解決の能力を持ち、自然災害に対する実務や啓発活動の主体となる人材の育成を目指します。



卒業後の進路

国家・地方公務員、中学・高等学校教員、情報・通信サービス業、コンピュータ関連企業、化学・機械・電気・鉄鋼・建設・食品・薬品・遺伝子関連企業、製造業、環境・地質コンサルタント関連企業、高知大学ならびに他大学大学院



...Have a talk

書き替わる物理の歴史

西岡 物理の歴史はこれまで幾度となく修正を受けてきました。19世紀末にはニュートンの力学が完全だと思われていましたが、後にアインシュタインがそれを根本から覆しました。現在も新たな発見は続いています。そのひとつが、磁性と超伝導の関係です。理論的に完全に解明され「終わった学問」と思われていた超伝導に、それを書き替えるような現象が見つかったのです。

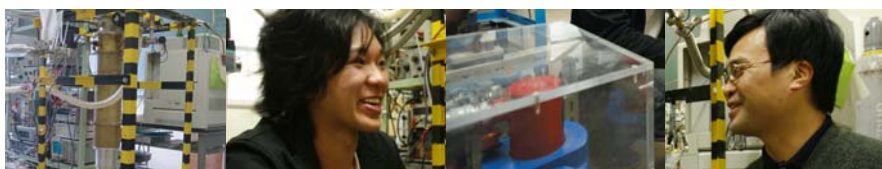
世界が待ち望んだ、冷凍機開発

西岡 これまで磁性と超伝導は完全に別のものだと定義されてきました。しかしある条件下では、お互いに絡み合っていることがわかったのです。それが絶対零度付近(マイナス273度=0K※)の環境です。しかし絶対零度付近の環境をつくるには高価な液体ヘリウムが必要で、液体ヘリウムを製造する装置のコストは数億円にも上るため、これまでは東大、京大など限られた大学でしか研究が進んでいませんでした。そこで私たちは、絶対零度をつくる装置を自分たちの手で開発してやろうと考えたのです。

教員+学生 理学部編

物理の未来へ「革命」を起こした研究室

西岡 孝教授 + 竹坂 智明



竹坂 僕は3年の仮配属の時にその話を聞いてぜひこの研究を一緒にやりたいと思い、先生の研究室にきました。開発した装置は市販の4K冷凍機を活用し、そこからさらに温度を下げて絶対零度に限りなく近い環境を実現します。僕が入った当時は1Kでしたが、現在は0.4Kまで下げることができました。

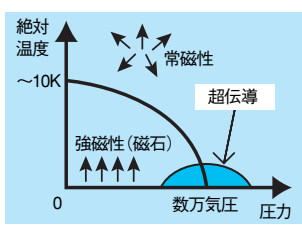
西岡 この冷凍機の完成は、竹坂くんたち学生の情熱にかかっていたと言っても過言ではありません。私たちの方法を用いれば、これまで数億円以上かかっていた研究が数百万円の初期投資と電気代程度で誰でもできるようになります。この領域の研究も広がるでしょう。既に特許も出願し、世界的なメーカーからの申し出を受けて今年中に製品化される見込みです。

理学部 ■ 32 Faculty of Science

重い電子系の磁性と超伝導の相関

「重い電子系」とは電子の有効質量の重い物質群のこと。例えばセリウム(Ce)系などの場合、通常10K程度で常磁性から強磁性に相転移しますが、そこに数万気圧の圧力を加えるとその性質は消失し1K以下に超伝導が出現します。これまで水と油のような関係と思われていた磁性と超伝導が、実は共存するという不思議な現象。この解明を目指しています。

研究 Close up



この成果は一生の誇り

西岡 竹坂くんには北海道大学で行われた学会で、冷凍機デビューのポスター発表もしてもらいました。

竹坂 すごい人だかりの山ができて、2時間発表の予定が4時間になって大変でした(笑)。でも開発も学会発表も、尊敬する先生と一緒に世界に誇れる結果を出せたことに大きな自信と喜びを感じています。

西岡 冷凍機が完成し、これでやっと磁性と超伝導の関係を研究する準備が整いました。竹坂くんは大学院に進学が決まっているので、これからも研究に邁進して、物理の歴史を担ってほしいと思います。

※ K(ケルビン):熱力学温度を表す単位

Profile

理学科 物理科学コース
西岡 孝教授
<代表的な研究>
重い電子系における磁性と超伝導の相関の実験的研究。そのための世界最高純度の純良試料、多重極限(極低温、高圧、今日磁場)環境下の物性測定。
竹坂 智明 4年生 広島県出身
<研究テーマ>
GM冷凍機の改造により1K以下を実現し、重い電子系の物性測定が行えるシステムの開発を行う。

理学部の
ここが
すごい!

研究室への配属が早い!

高知大学理学部は研究室への配属が3年生の2学期と、他大学よりも早め。4年生になる頃には他大学の大学院レベルの実験もできるようになっています。また、ひとつの研究室の学生数が少ないので、学生が早い段階で研究の中心に入っていけること、教員が学生の個性や適性をよく見ながら指導が行えることも大きな特長です。



ひとつは「よく学び、よく遊べ」。学問以外から学べることもたくさんあります。そして「努力すれば報われる」。頑張れば必ず結果はついて来ます。

理学部を目指す人へのメッセージ

とにかく一生懸命やること、諦めないことが大切です。諦めればそれは失敗ですが、諦めなければ失敗から学んで成功できます!



医学部

Medical School

人間とその病態の中に
真理を見いだす

学科名

- 医学科
- 看護学科

取得できる資格

- 医学科
 - 医師国家試験受験資格
- 看護学科
 - 看護師及び保健師の国家試験受験資格
※助産師の国家試験受験資格は得られません。
 - 高等学校教諭一種免許状（看護）
 - 養護教諭一種免許状
※ただし、高等学校教諭一種免許状（看護）と養護教諭一種免許状は、在学中に必要な単位を修得した者に限り取得できます。また、保健師免許取得後は、本人の申請により養護教諭二種免許状、及び第一種衛生管理者免許状が取得できます。

求める学生像 Admission Policy

近年におけるサイエンスとしての医療の飛躍的な進展は、国際社会に様々な衝撃を与え続けており、

こうした社会情勢における多様な価値観の変動に的確に対処するためには、

各医療人が自ら自分自身の「倫理体系」を構築することが求められます。

高知大学医学部では、倫理体系構築の基盤となる資質としての、

「強靱な論理的思考能力」「バランス感覚に支えられた多面的な考察力」「共感的能力」

および「問題解決能力」を有する人材を求めます。

医学科

医師には、患者さんとの良好な関係を築く技能、多岐にわたる医療スタッフとの円滑なコミュニケーション技法、情報収集能力、総合判断力などが強く求められます。

医学科では、種々の学際的領域における幅広い知識・学力に加えて、医学・医療に対する強い意欲、高い倫理観、使命感、および思考の柔軟性を有し、自らの力で問題を見つけ解決する能力を中心とした医療人に不可欠な諸能力、態度・適性、communication能力ならびにcollaboration資質を具備した、活みなぎる人材を求めます。

看護学科

看護学科では、人間に興味があり、命と生活を支援する「ライフサポーター」を目指す、「人間力」溢れる人材を求めます。

看護学科が考える「人間力」とは、次のような能力です。

- 豊かな倫理的感性を持つ
- 生命の尊厳を理解し、人権を尊重する
- 問題解決に向かって積極的に取り組む
- チームワーク達成に尽力できる
- 基本的生活習慣を身につけ、自己管理できる



医学部では、「敬天愛人」「真理の探求」という医学部の前身旧高知医科大学建学の精神のもと、「人間味豊かな良き医療人づくり」と「地域医療に密着した学風づくり」を創設の理念として掲げ、実践しています。

カリキュラム例 Curriculum

医学科

- 6年一貫の医学教育を目指して高知大学医学部独自のKMSコアカリキュラムを実施している。
- KMSコアカリキュラムは次の10項目に分類される。
 - A 医療と医学の基本理念(1~4年)
 - B 医学・医療と社会(1、2、4、6年)
 - C 個体のライフサイクル(1~6年)
 - D 全身におよぶ病態と診療(2年)
 - E 診療の基本とその科学的根拠(1~6年)
 - F 医科学(1~4年)
 - G 医科学実習(1~4年)
 - H 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療(1~4年)
 - I 臨床クラークシップ(5、6年)
 - J 履修した医学・医療の統合と将来の医学への展望(6年)

看護学科

- 看護学科のカリキュラムは、共通教育科目と専門教育科目の2つの領域を基に構成されている。
 - 1) 共通教育
大学基礎論、学問基礎論、課題探求セミナー、生命倫理学、大学英語入門、看護情報論など、ひととして・大学生として・看護専門職として必要な基礎的・基本的人間力の育成
 - 2) 専門教育
 - [1] 専門基礎: 身体のしくみ、身体の動き、栄養と代謝、薬の効用と看護
 - [2] 看護学: 基礎看護学、臨床看護学、地域看護学、総合看護学の4領域(36教科目)をとおして、看護専門職として必要な知識・技術・態度を修得

新しき医学の真理ひたに極めん

医学部医学科は、その前身の旧高知医科大学の建学の精神である「敬天愛人」と「真理の探究」即ち「自然の摂理を敬い、常に謙虚であり、何よりも個々の人間を大切にする大学人を目指しつつ、人間とその病態の中に真理を見いだす」人材を育成することを教育理念として掲げています。



教育目的

- (1) 豊かな人間性と裾野の広い価値観を有し、自己の人間形成を目指す医師及び医学研究者を育成します。
- (2) 医師としての使命に徹し、生命の尊厳と医の倫理をわきまえた医師を育成します。
- (3) 国際的視野に立った上で、地域住民の健康と福祉に十分貢献しうる意欲と能力を有する医師を育成します。
- (4) プライマリ・ケアを身につけ、患者第一に徹する医師を育成します。
- (5) 高度の知識・技能を身につけ、高度専門医療の発展及び医学・医療の推進に十分寄与しうる医師及び医学研究者を育成します。
- (6) 社会の変化と時代の要請に対応可能な高度な情報収集・分析能力及び自己課題設定・自己問題解決能力を有する医師、医学研究者及び医学教育者を育成します。
- (7) 医療現場での問題を真理解明の糸口とし、生命科学の発展及び医学・医療の推進に十分寄与しうる医師及び医学研究者を育成します。
- (8) 上記の目的達成のために、学生が勉学や人間形成活動に励める環境を整備します。

教育目標

医学部医学科の教育目標は、上記の目的達成のために総合的な医学を徹底的に身につけさせることにあります。即ち、人間の生命をあずかる医師の養成を柱とし、医の倫理を身につけた人間性豊かで、高度の知識技能を身につけた臨床医ならびに医学研究者として、時代の要請に応じうる「心を診る医師」を養成することを目指しています。

医学部医学科の講座は、以下の3系、各講座より編成されています。

- 基礎医学系
解剖学、病理学、生理学、生化学、遺伝子機能解析学、生体分子構造学、薬理学、微生物学、寄生虫学、免疫学
- 社会医学系
法医学、医療学(人間医療学分野、予防医学・地域医療学分野、医療管理学分野)
- 臨床医学系
消化器内科学、内分泌代謝・腎臓内科学、血液・呼吸器内科学、老年病・循環器・神経内科学、皮膚科学、小児思春期医学、産科婦人科学、神経精神科学、外科学(外科1)(外科2)、整形外科学、泌尿器科学、眼科学、耳鼻咽喉科学、脳神経外科学、放射線医学、麻酔科学、歯科口腔外科学、病態情報診断学、家庭医療学、附属病院・病院診断部と薬剤部



医師国家試験に合格し、卒業後2年間の臨床研修医となる場合と大学院に進学する場合があります。

新しい時代をリードする、グローバルな視点を持った看護専門職者の育成をめざす

21世紀に入り、急速な国際化や少子高齢社会を迎え、

保健・医療・看護に対する社会的ニーズは、増大の一途をたどっています。

このような刻々と変化する社会の中で、医療、ことに看護専門職者の必要性はますます高まっています。

本学科では、このような社会の変化に柔軟に対応し、

国際社会・地域社会に貢献でき、情報技術が駆使できる、看護専門職者の育成を目指しています。

豊かな人間性を持った看護師になるためには、のびのびとしたキャンパスライフが

必要であると考えています。そのために、自然に囲まれたキャンパスと、

充実した学生生活をサポートする熱意ある教授陣があなたをお待ちしています。

さらに、看護をより専門的に深めていきたいと考える方のために、大学院教育も準備しております。

基礎看護学講座

基礎看護学講座は、基礎看護学、生活援助技術論、治療援助技術論、看護教育・管理学領域から成り立っている講座です。主に、看護の基礎となる教育を担当しています。看護学は対象が人間であることから、(1)人間・社会集団と健康 (2)人間関係の形成 (3)人間の心と体の健康 (4)看護の本質、等を理解する能力を育成します。

臨床看護学講座

臨床看護学講座は、成人看護学、母性看護学、小児看護学、精神看護学の4領域からなる講座です。臨床看護学では人間の発達と健康障害、生活習慣と健康障害を判断し、実践できる能力を形成します。

地域看護学講座

地域看護学講座は、地域看護学、在宅看護学、老年看護学の3領域からなる講座です。地域の特徴に応じた援助ができるよう、地域看護活動の対象・場と特性を理解し、実践できる能力を育成します。



卒業後の進路

看護師及び保健師の国家試験に合格した後、本学医学部附属病院を含む医療機関や保健所、保健福祉センター、官公庁、福祉施設、訪問看護ステーション、一般企業などに勤務することができます。さらに、大学院に進学して、教員や研究者、看護管理者として進むこともできます。

また、高等学校教諭(看護)、看護教諭として小・中・高等学校に勤務することもできます。





.....Have a talk

患者さんの存在がモチベーション

藤田 看護師は人を相手にする仕事です。中でも病院では患者さんがいちばん病んでいる状態をお話させていただきますから、看護師自身が人としてのマナーや基本的な生活習慣をしっかりと身に付けていることが前提条件となります。そこをまず教育の基本にしていますね。

落合 私は人の役に立ちたいと思って看護学科に進学しましたが、正直1、2年生の時は授業を休んだりしたこともありました。

藤田 でもみんな変わるんですね。3年生になるとマナーはもちろん、1週間も徹夜で勉強したり、朝6時くらいから大学に来るようになります。

落合 3年生からは附属病院での実習が始まります。患者さんのことを考えると自然に意欲が湧いてくるんです。みんな睡眠時間を削って勉強しています。

在宅でのセルフケアを高めたい

落合 実習に行き始めて、目指す看護師像も見えてきたような気がします。病気がスムーズに回復過程をたどるお手伝いする急性期(※1)の看護も大切ですが、私は患者さんがご自宅に帰られてもちゃんとセルフケアできるようサポートする糖尿病などの看護が気になります。

藤田 落合さんの考え方はとてもすばらしいと思いますね。今、日本の医療は大きく変化しています。病院での高度医療は医療費もかかるため入院はできるだけ短期間におさえ、患者様にはご自宅で、家族の中、住み慣れた地域の中で療養生活を送っていただく方向に変わってきています。

落合 日常生活の中で病気とどう向き合っていく、その方らしく生活していけるようサポートする看護が、これからは大切だと感じています。

藤田 そうですね。例えば胃がんなどでも最近は早期発見から社会復帰まで見据えたアプローチが必要です。医学の発展とともに看護学も進化しているのです。

看護もスペシャリストの時代に

藤田 10年前の看護師はジェネラリストと言って全体的な能力がまず求められましたが、今はスペシャリストの時代。何かのスペシャリストになることで、基本的なこと、全体的なこともできるようになるという考え方が増えてきています。がん看護専門看護師など専門看護師の認定もこの10年で定着してきました。

落合 附属病院では様々な専門的看護に触れる機会もあります。大変ですが、得られるものも大きいと思います。

藤田 切磋琢磨できる環境が整っていると思いますね。

※1 病気の発症直後や、病状が急に変化する時期

Profile

看護学科

藤田 倫子看護学科長

<代表的な研究>

胃がん手術体験者の職場復帰に伴うストレスとコーピング

落合 希美 4年生 広島県出身

<研究テーマ>

外来化学療法を受ける乳がん手術後患者の苦痛に対するニーズ

教員+学生 医学部編

患者さんの生活に寄り添う看護を

藤田 倫子看護学科長 + 落合 希美



医学部の

ここが
1
すばい!

附属病院があるというメリット

1年生の時から、解剖学人体実習の見学や実際に手術室に入り手術中の医療従事者の見学をするなど、早い段階で医療の現場に接する機会を積極的に取り入れています。また、学内であるにも関わらず通常では特別講演でしか聴けないような専門領域の講師による授業など、学生の意欲とスキルを高める先進的な学びが可能です。これらは附属病院があるからこそ実現できるカリキュラムです。

医学部の

ここが
2
すばい!

QOLを高めたい。「スターバックス」のある病院

高知大学医学部が大切にしているのは、患者さんのQOL(※2)。院内にはコーヒー専門店スターバックス コーヒーがあり、たとえ病気があっても人間らしい豊かな暮らしを送っていただけよう配慮しています。受診の合間のひと時をゆったりとした気持ちで過ごせると患者さんからも好評です。学生ももちろん利用できるので、ぜひ足を運んでみてください。



※2 quality of lifeの略。「生活の質」「人生の質」

人の一生は自分探しの旅。皆さんぜひ自分に興味を持ってください。自分に興味・関心を持つ人は、人にも興味・関心を持つ人。医療従事者には大切な資質だと思いますね。

医学部を目指す人へのメッセージ

1、2年生の講義は、どこかくっきり勉強しておいた方がいい! 実習に入るとその重要性をひしひしと感じます。

農学部

Faculty of Agriculture

人と自然が共存していく
道を探求する

学科名

■農学科

- 暖地農学コース
- 海洋生物生産学コース
- 食料科学コース
- 生命化学コース
- 自然環境学コース
- 流域環境工学コース
- 森林科学コース
- 国際支援学コース

取得できる資格

■農学科

- 樹木医補
- 森林情報士2級
- 測量士補
- 測量士[受験資格]
- 気象予報士[受験資格]
- JABEE認定修習技術者
(技術士補相当)
- 技術士[受験資格]
- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(農業)
- 高等学校教諭一種免許状(水産)
- 食品衛生監視員
- 食品衛生管理者
- 学芸員
- 土木施工管理技士[受験資格]
- 中級バイオ技術認定
- 上級バイオ技術認定
- 家畜人工受精師[受験資格]
- 林業改良普及員[受験資格]
- 水産業改良普及員[受験資格]
- 二級・木造建築士[受験資格]

21世紀における農学の使命は、安全な食料の確保、環境の保全、生物資源の有効利用などを通して、地域社会の健全な振興に貢献することと考えます。

高知大学農学部は、農学の使命を理解し、自由闊達な創造力と行動力を持って実践しうる人材を育成したいと願っています。

農学の使命に対する強い志を、進路設計の中にしっかりと位置づけ、

高知の豊かな自然と伸びやかな風土をフィールドにして、自ら積極的に学ぶ学生を求めます。

農学科

● 暖地農学コース

- 西南暖地における農業生産の発展に貢献できる技術者・農業者
- 食と農の発展を志す積極性のある学生
- 環境との調和のもと、食料生産、施設園芸技術の研究に興味を持ち、意欲的に取り組む学生
- バイオサイエンスやバイオテクノロジーに関心の高い学生

● 海洋生物生産学コース

- 魚介類をはじめとした生物資源を、美しい海や川を保ちながら持続的に生産・利用するためにどうすればよいかについて学び研究しませんか？ 海洋生物生産学コースでは、以下のような元気で熱意のある学生を求めます。
- 海洋生物の多様性を維持しながら、その資源を人間がどのように有効利用できるか考えたい学生
 - 海洋生物が棲みよい環境をどのように保つか考えたい学生
 - 海洋生物資源の持続的な生産・利用するためにはどうすればよいかを考え、日本や世界が抱える食料問題の解決に貢献したいと考える学生

● 食料科学コース

- 安心、安全な「食」の実現と「生活の質」の向上につながる付加価値の高い食品の開発を目指しています。そのために以下のような学生を求めます。
- 食料生産に関わる自然環境の理解と保全修復に取り組みたい学生
 - 食品及び食品成分が生体に与える機能を食品化学的ならびに生化学的に解明したい学生
 - 機能性の高い食品やバイオテクノロジーを応用して食に関連する機能材料を生み出したい学生

● 生命化学コース

- 動植物、微生物の生命活動の基礎を学び、生理現象のメカニズムを化学的に解き明かすとともに、われわれの生活に役立つ実用技術に結びつけることを目指しています。そのために以下のような学生を求めます。
- 動植物、微生物の生命現象を遺伝子、タンパク質、生理活性物質など目に見えない分子レベルで解明したい学生
 - 生態系に興味を持ち、土壌や動植物が果たす役割について理解したい学生
 - 生物資源や農産物の新たな利用に取り組みたい学生

● 自然環境学コース

活力に満ちあふれ、動植物とのふれあいに喜びを見いだし、また日々の小さな取り組みにも前向きにとらえられる資質を持っている学生を求めます。そしてその中でも、「自然環境」や「自然環境の保全」に興味があって、自然環境を地球規模からマイクロレベルまでの様々なスケールで総合的に理解したい学生、またそれに立脚して生態系と気圏・地圏・水圏より構成される自然環境と人間との共生に関する知識・技術を身につけたい学生を求めます。

● 流域環境工学コース

河川そして水によってつながる森林・農地・市街地から沿岸域までをひとつの「流域」と呼ぶことにしましょう。当コースでは、「流域」の中に存在する自然と人間の共存のあり方について深い知識を求める学生、探究心が旺盛で、行動力やチャレンジ精神に富み、仲間とともに勉強に取り組みたいと前向きに考える資質を持つ学生、そして、これらの資質を身につけた上で、日本に留まらず世界的な視点から自然や環境と人間をつなぐ技術者として社会に貢献したいと考える学生を求めます。

● 森林科学コース

森林が環境保全に果たす役割を重視する視点に立ち、森林資源の育成・管理とその高度利用を目指します。そのため、基礎学力を備え、真摯に取り組む姿勢を持ち、自然環境に関心のある人、自然と調和した森林の利用を考えたい人、森林の育成・管理に携わる後継者あるいは指導者として地域社会及び国際社会の発展に貢献しようとする人を求めています。

● 国際支援学コース

21世紀は食料、人口、環境、資源の世紀といわれ、世界的に増加し続ける人類に必要な食料を、環境や資源との調和を保ちながら生産していく必要があります。このような問題は先進国に比べて熱帯・亜熱帯域の発展途上国で深刻であり、問題の解決に向けた先進国の支援に期待が寄せられています。国際支援学コースでは熱帯・亜熱帯域の食料、人口、環境、資源の諸問題を解決できる人材の育成を目指しており、熱意と元気のある以下のような学生を求めています。

- 東南アジア、東アジアを中心とした熱帯・亜熱帯域の農林水産業を支援することを志し、そのために必要な技術や知識を習得したいと考えている学生
- 今後ますます重要となるであろう、食料、人口、環境、資源の問題に関心を持ち、その解決に実践的に取り組みたいと考えている学生
- 海外の大学との国際交流活動を通じて歴史や文化の違いを体感し、幅広い視野と国際感覚豊かな人間性を身につけたいと考えている学生

カリキュラム例 Curriculum

農学科

■ 暖地農学コース

栽培学、植物生理学、農業気象学、農場実習I、II、食用作物学、植物育種学、家畜管理学、蔬菜園芸学、園芸管理学、花卉園芸学、果樹園芸学、熱帯園芸学、農業経営学、食品流通論、施設生産学、植物・環境計測学、作物学実験、植物育種学実験、蔬菜花卉園芸学実験、果樹園芸学実験、農業経営学演習、施設生産学実験

■ 海洋生物生産学コース

水族遺伝・育種学、魚類生態学、海洋基礎生態学、水族環境学、水質学、魚病学、魚類防疫学、魚類栄養飼料学、魚類生理学、水産物利用学、水産物品質管理学など

■ 食料科学コース

無機化学、土壌環境科学、生物化学、食品製造学、食品化学、食品衛生学、栄養化学、酵素化学などの科目を受講します。また、食料科学実験、生命化学実験を通じて、本コースで学ぶための実験基礎を修得します。4年生の卒業論文では、土壌環境学、植物栄養学、生物資源利用化学、応用生物化学、生物工学、応用微生物学などの分野の研究に取り組みます。

■ 生命化学コース

植物生育環境学、応用微生物学、生理活性物質化学、生物有機化学、動物生理学、動物生産・繁殖学、植物感染病学、細菌学などの科目を受講します。また、生命化学実験、食料科学実験を通じて、化学実験、生物学実験の基礎を修得します。4年生の卒業論文では、植物生育環境学、生理活性物質化学、応用微生物学、植物工学、動物生殖工学などの分野の研究に取り組みます。

■ 自然環境学コース

昆虫学概論、生物環境システム学、山地環境学、自然エネルギー利用学、遺伝子多様性管理学、農業気象学、海洋基礎生態学、人間・環境相互影響論、水科学、魚類生態学、生物多様性管理学、動物生態学などの講義。実験・実習として自然環境学実習I～IV、自然環境学実験I・II、昆虫学実験があります。

■ 流域環境工学コース

水資源学、流域計画学、施設工学、景観デザイン、流域水環境保全学、農地環境工学、環境評価学、環境管理計画学、科学・技術の倫理、流域環境学、環境情報学、土壌環境物理学、環境水質学、フィールドでの実験・実習、卒業論文など

■ 森林科学コース

森林育成学、森林生産機械学、森林測定学、森林経済学、木材物理学、木質成分化学、森林科学実習、森林統計学、測量学、測量学実習、森林環境政策学、山地測量設計実習、森林生産技術実習、森林科学専門実習、樹病学、樹病学実験、バイオマスエネルギー利用学、木質資源材料学など

■ 国際支援学コース

熱帯農業論、熱帯林業論、熱帯水産業論、熱帯環境論、海外フィールドサイエンス実習、海外課題研究、実用英会話、実用英文文、沿岸環境学、栽培学、測量学、沿岸環境学、国際農林水産業開発協力論、国際農林水産物市場論、樹木学実習、森林生産技術実習、養魚実習、農場実習など

「循環」「持続」「調和」をキーワードに、未来への課題を解決する

食料問題、資源問題及び環境問題は、ますます複雑に絡み合い現代社会の大きな課題となっています。

農学は、これらの問題を調和的に解決し、人類の未来を切り開く総合科学。

海・山・川・農地が近接する恵まれたフィールドを活かし、徹底した現場主義のもと

地域社会、国際社会に貢献できる新たな価値創造と先端技術に関する研究教育を行っています。

暖地農学コース

資源の少ない国といわれる日本。でもここ高知には360度広がる大きな空があり、豊富な光、暖かい気候があります。これら西南暖地の貴重な資源を最大限に活用し、循環型農業を実現するため、様々な農産物の生産管理や高度な環境調節、遺伝的改良など最先端の研究が行われています。

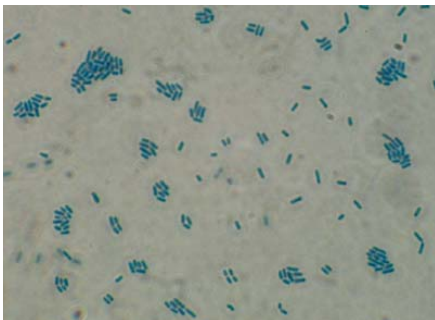
海洋生物生産学コース

海に取り囲まれた日本では、食料自給率を上げるためにも、海洋生物資源（魚介類）の生産と利用が今後ますます重要になります。本コースでは、海洋生物資源ならびにそれを育む海洋環境の重要性を認識し、その持続的生産・環境保全・有効利用に関して広く基礎知識を習得します。講義とともに、豊富な実験・実習を通じて応用力を身につけることにより、未来につながる海洋生物資源の保全と利用に関する思考力を備えた人材育成に努めています。

食料科学コース

未来志向の豊かな「食」づくり!

食料生産に関わる自然環境の理解と保全修復、食品及び食品成分が生体に与える機能を食品化学的・生化学的解明、機能性の高い食品やバイオテクノロジーを応用した機能材料の開発など、食の科学に立脚した教育・研究を行うとともに、安心、安全な「食」の実現と「生活の質」の向上につながる食品の開発に貢献できる人材の養成を目指しています。



生命化学コース

化学で生命を探る

私たちの生きるこの世界は、つきつめればすべて元素記号の組み合わせ＝化学物質で成り立っています。生物もその例外ではなく、植物は根から様々な化学物質を吸収し自分の体を作りあげます。また、昆虫は化学物質を使って仲間を認識し、植物も体内で作りあげた化学物質で病原菌や害虫を牽制します。それら動植物・微生物の生命現象を個体レベルから分子レベルまで解析し、実用化への道を探る先端研究を行います。

自然環境学コース

自然界における化学、物理学、生物学、地学の諸法則を基礎とした自然環境の総合的な理解に立脚した、人間活動と自然環境との相互の影響と依存性を認識した人材や、それに立脚して持続可能な人間活動のための自然環境の制御と保全、及び環境との共生のために責任感を持って具体的に行動できる知識と能力を持った人材を育成します。

流域環境工学コース

流域環境工学コースは川でつながる森林・農地・市街地そして沿岸域までをフィールドとします。山地・里山の保全、水環境の保全、水の利用、水災害の防止、農村・都市での生活環境の改善などに関する教育・研究を通じて、流域に暮らす人間が水とうまく付き合い自然と共存するための理論と技術を学びます。当コースでは日本技術者教育認定機構（JABEE）の認定をうけた教育プログラムを展開しています。そのため、卒業生全員が技術士補相当の資格を取得でき、技術者にとって最も重要な資格である「技術士」の一次試験が免除されます。



森林科学コース

森林は環境を保全するとともに、様々な恵みを与えてくれます。地球環境に果たす森林の役割が理解されるようになってきましたが、自然環境の保全と循環型の資源利用システムの構築が重要な課題となってきました。森林の公益的機能と生態系を理解し、健全な森林の育成・管理、森林資源の高度利用を目指します。亜熱帯から亜寒帯までの多様な森林植生を抱える恵まれた高知県のフィールドで、現場主義に基づいた実践的な教育研究を行います。森林と環境及び人間との関わりを総合的に研究するのが森林科学コースです。

国際支援学コース

熱帯・亜熱帯諸国を中心に、地域の環境保全を意識した持続的農林水産業の生産性の向上とそれに関わる資源管理についての問題の発掘、それらの解決に向けての技術開発ならびに技術移転を実践的に担う人材の育成を行います。そのために、本県の立地条件を活かして熱帯・亜熱帯の環境を再現した条件下での実習・実験に重きを置いた教育を実施するとともに、海外の大学間・学部間協定校との交流を促進し、現地での実習や卒業論文研究などを実施します。また国際舞台で活躍するための英語教育を行います。



卒業後の進路

国家公務員、地方公務員、試験研究機関、大学院、各種団体（農業関係団体、森林・林業関係団体、水産業関係団体）、民間企業（農業機械・施設関連、食品関連業界、木材産業、木材流通、建設コンサルタン卜業界、環境アセスメント企業、測量・設計関連、土木・建設関連、情報関連業界、バイオ技術関連企業、食品・医療業界、魚介類養殖業界）



.....Have a talk

フィールドを活かし「環境」へアプローチ

松本 私たちは、もともと一次産業の基盤整備を目的とした教育研究を進めていました。しかし今やその視点は人々の暮らし全体へと広がり、循環型・環境調和型の社会を実現する先端分野へと進化しています。

藤原 僕は高校生の時から環境問題に興味を持っていました。高知大学を選んだ理由は、環境について他大学よりも力を入れていると感じたからです。

松本 自然環境を総合的に考える上で基本単位となるのが、河川を軸とした山から海までの水のつながり——「流域」です。私たちのキャンパスは、山は1時間も行けば川の源流に、海は5分で太平洋という恵まれた立地にあり、その特長を活かして研究に取り組むことができますのです。

「地球にやさしい」×「コンクリート」?!

藤原 今進めている研究は、稲藁を焼いた灰をセメント代替材として利用しようというものです。コンクリートは廉価で成型が容易なため世界中で使われていますが、その材料である石灰岩は枯渇化に向かっています。そこで、稲藁灰を混ぜこみ石灰を節約しようと考えたのです。

松本 代替材料として廃棄物や副産物が使えれば廃棄物処理にもなり、一石二鳥なんです。その点、農業副産物である稲藁は毎年大量に安定的に出てきます。

藤原 稲藁灰を混ぜたコンクリートは強度面では少し落ちますが、軽いというメリットもあります。どの程度の強度、磨り減りなら使用可能なのか、今実験を重ねているところです。強度試験の方はJIS規格があるため市販の装置を使って実験しますが、磨り減りにはそういった基準がなく実験装置からオリジナルで制作しています。正直しんどいと思うことも多いけれど、その分喜びも大きいですね。

松本 実はこの技術、日本よりも東南アジアやアフリカなどの海外にこそ必要な研究だと言えるのです。日本では他にもセメント代替材料として実用化しているものがありますが、そういった材料や技術を持たない国も多い。このように、世界に発信していける価値ある研究が、高知大学では他にもたくさん行われているんですよ。

Profile

農学科 流域環境工学コース

松本 伸介教授

<代表的な研究>

- 環境負荷軽減を目指した新しい建設材料の開発
- 農業水利施設の構造設計理論
- 音環境に配慮した地域づくり

藤原 公太 4年生 京都府出身

<研究テーマ>

稲藁灰のセメント代替材としての利用可能性に関する実験的研究

教員+学生 農学部編

未来を救う、代替材料を開発!

松本 伸介教授 + 藤原 公太



稲藁灰の様々な配合をテスト

使用する稲藁は、隣接する暖地フィールドサイエンス教育研究センターの農場から出た副産物を活用。数十種類もの配合サンプルを用意し、実際にコンクリートを作ってテストを行います。稲藁灰の配合率が高いほどできあがったコンクリートの色も黒っぽく着色されるのだそう。その特性を活かして稲藁灰コンクリートが実用化される日も、もうすぐそこ?!



研究 Close up

農学部の

**ここが
すごい!**

環境技術者としての道

環境工学の分野では人と環境とが関わる現象を把握するだけでなく、それを保全・改善・修復していくための技術の修得まで踏み込みます。特に本コースのカリキュラムは、国際的水準と同等であることを保証するJABEE認定(*)を受けており、修了と同時に科学技術に関する国家資格「技術士」の一次試験が免除されるというメリットがあります。

* JABEE認定：日本技術者教育認定機構が行っている専門認定

農学部を目指す人へのメッセージ

生物、地学、物理、化学、数学といった科目は便宜上の区分け。自然界での現象というのはいろんな分野が関連しあっているのです。全てに興味を向けてください。

1年生から山、川、海など大自然のフィールドの中で専門授業を体験します。他大学にはない実学の面白さを実感できると思います。



大学院 (総合人間自然科学研究科)

Graduate School of Integrated Arts and Sciences

国立大学法人では日本初! 一元化された文理統合型の大学院

高知大学では、平成20年度から日本の国立大学法人では初となる

一元化された文理統合型の大学院「総合人間自然科学研究科」を開設しました。本研究科の修士課程では、人文社会科学、教育学、理学、医学、看護学、農学という6つの学問領域を包括しており、新しい履修システムや教育プログラムによって領域横断型の学びを効果的に実現します。

博士課程では、応用自然科学、医学、黒潮圏総合科学の各専攻の専門性を保ちつつこれまででは他研究科の科目であった近接分野の科目を履修することができます。これにより、本研究科に進学した学生はそれぞれの基礎的学問分野の専門性を深めると同時に、幅広い素養や研究視点を修得することができます。

履修の特徴

修士課程

目的・目標に応じて、異分野科目も無理なく履修

所属する専攻の専門科目を学ぶ「主専攻履修」と、専門科目に異分野科目を取り入れた「準専攻履修」の2つの履修システムから履修方法を選択できます。

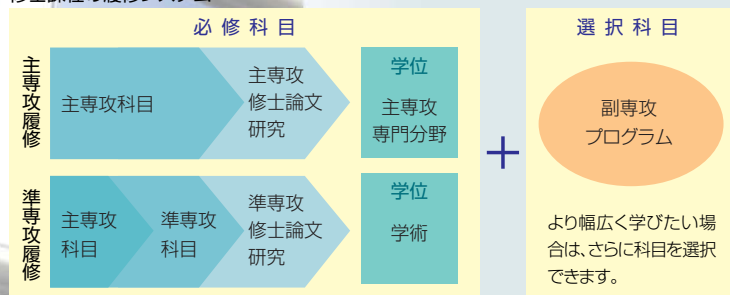
また、高知大学のフィールド特性を活かした横断的科目群「副専攻プログラム」を、目的に応じて履修できます。

博士課程

他分野・近接分野を学び、より高度な専門性を獲得

各専攻における専門性を深める一方で、他分野知識の修得を目的とする共通科目の導入や、近接分野の履修を可能にします。

修士課程の履修システム



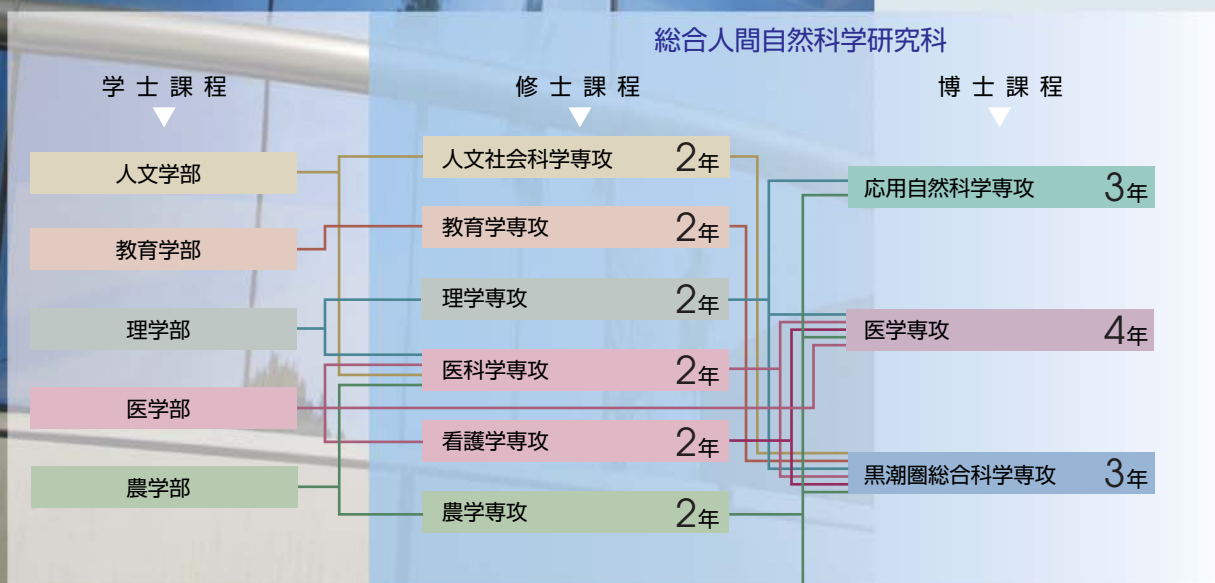
<副専攻プログラムについて>

特定のねらいのもとに用意されたレディーメイド副専攻プログラムと、個々の目的に応じて構成し認定を受けるオーダーメイド副専攻プログラムがあります。

■レディーメイド副専攻プログラム例

「環境科学」「医療福祉学」「高(知・智・地)の科学(ISK)」「現代教育学」

進学イメージ図



修士課程

人文社会科学専攻

グローバル化の進展とそれに伴って進行する日本社会の構造転換を背景として、経済・社会・文化・生活のすべての領域において、地域社会の主体的発展を保障する高度な専門知識と柔軟な判断力を持った人材が必要とされています。本専攻は、地域社会の要請に応え、人文科学・社会科学諸分野の学際的結合を基盤に、多彩で柔軟な教育プログラムを創出し、変貌する地域社会の発展に貢献しうる人材を養成します。

- 地域・日本研究コース
 - 国際交流研究コース
 - 人間学研究コース
- } 定員10名

教育学専攻

社会構造の急激な変化は学校教育現場に様々な深刻な問題を引き起こしており、教員にはそれらの複雑な問題に対応するための資質がより深く求められています。本専攻では、学校教育現場の抱える課題を正確に判断し、それに適切に対応できる実践力のある教員、また人間発達や教科内容に関わる深い学問的で実践的な知識を有しながら、それを教育現場において応用し展開できる創造的な資質を持った教員の養成を目指します。

- 学校教育コース
 - 特別支援教育コース
 - 授業実践コース
- } 定員30名

理学専攻

学術研究の高度化、多様化、情報化、グローバル化やIT革命に代表される社会の急激な変化に柔軟に対応できる大学院教育を目指します。理学コースは、数学、物理科学、生物科学、地球科学の諸分野、さらに学内・外の研究施設や機関と連携し、多様で創造的な教育・研究を推進し、新しい先端的な基礎理学をつくり出すことを目標とします。応用理学コースは、情報科学、応用化学、海洋生命・分子工学、災害科学の諸分野を含み、科学・技術における国際的な激しい競争の中で基礎研究から応用研究までを見据え、高度な課題探求能力を発揮することのできる人材を育成します。

- 理学コース
 - 応用理学コース
- } 定員75名

医科学専攻

遺伝子療法・再生医療・生殖医療などの先端医療が形成される一方で、医学・医療を取り巻く社会環境は大きく変革しています。そうした状況に的確に対応するためには、自然科学のみならず人間主体の人文科学と医学の調和を目指した医科学の発展・充実が望まれます。そこで本専攻では、自然科学系学部(理学・農学・薬学・工学など)や人文科学系学部(心理学・社会学・経済学・教育学など)を含む幅広い学部修了者を医科学へと導き、高度に専門化した知識と技術を身につけた医科学分野の研究者、さらには社会的諸問題を医科学を基礎として包括的にとらえる人材を育成します。

- 医科学コース 定員15名

看護学専攻

健康で文化的な生活を送るという国民の権利を支援することが医療者には求められています。看護学専攻においては、高知大学の教育理念に鑑み「現場主義」を重視し、社会の一員として求められるソーシャルスキルを基盤とした、課題解決能力を身につけた人間力豊かな人材を育成します。さらに、医療の場を含む日常生活の場で人間にとって最も重要な健康の増進を目指しつつ、生活者の視点で包括的な支援を行う高度に専門的な知識・技能を身につけた論理的・創造的な看護の実践者・看護学教育者・看護管理者の育成を目指します。看護学専攻は、看護教育・管理学、母子看護学、成人・老人看護学の3分野(選択)で構成されています。

- 看護学コース 定員12名

農学専攻

地域社会及び国際社会の健全な発展に貢献するために「安全・安心な食料の確保」「生物資源の高次有効利用」「地域・地球環境の保全と修復」に関する教育・研究を展開することは、農・林・水産学分野の使命です。本専攻では、多様化した社会の要請や研究分野へ柔軟に対応できる教育システムにより、個々の学生の資質や進路に応じた個別の履修計画に基づく教育を行って、高度な知識と技術をあわせ持つ人材を養成します。

- 農学コース 定員59名

博士課程

応用自然科学専攻

海洋高知の持つ自然環境の特性を活かして、自然科学の諸分野を海洋・資源・環境に特化した「海洋自然科学」と物質・情報・量子に特化した「物質機能科学」のもとに結集し、基礎理学を包含した応用自然科学の幅広い分野で、高度な専門性を養います。また、文理統合の教育理念に基づいた大学院教育を行うことで、健全な自然観、地球観、人間観を備え、自ら課題を探求し解決できる高度専門職業人を養成します。

- 海洋科学コース
 - 物質機能科学コース
- } 定員6名

医学専攻

医学専攻では、高い倫理観と豊かな人間性の涵養ならびに高度な医学的知識と技能の習得を教育理念とし、黒潮圏総合科学専攻、応用自然科学専攻との緊密な連携のもとに、両専攻における自然科学と人間科学のパラダイムをも取り入れた教育研究体制を構築することにより、高知県の地域特性に根差した医学・医療の推進に寄与できる人材、国際的に通用する優れた医学研究者、リサーチマインドを持つ優れた臨床専門医(良医)を養成し、多様な社会的ニーズに対する柔軟な対応が可能で、底辺が広くレベルの高い医学研究及び医療の達成を目指します。

- 生命科学コース
 - 医療学コース
- } 定員30名

黒潮圏総合科学専攻

人口問題、食料問題、資源の枯渇や環境変化など人類が直面している諸問題の多くは我々にとって未曾有の経験であり、その解決には従来型の学問だけでなく、分野を横断して物事を把握するなど新しいアプローチが必要であることが世界的に認識されています。そこで、文理融合の新しい視点でこうした問題の解決に取り組み、それを通して資源の持続的有効活用と循環型社会の発展による自然と人間の共存・共生系の確立を強く意識した人材を養成します。

- 人間科学コース
 - 共生科学コース
- } 定員6名

愛媛大学大学院連合農学研究科 博士課程(後期3年)

連合農学研究科は、愛媛大学、香川大学及び高知大学によって構成され、各大学の連携により、個々の大学では期待し難い広い分野にわたり、水準の高い教育研究を行うことを目的として設置された博士課程大学院(3年)です。生物資源の生産と利用に関する諸科学について高度の専門的能力と豊かな学識、広い視野を持った研究者を養成しており、国内の大学院修士課程修了者はいまもなく、外国人にも門戸を開いています。

国際交流

International Exchange

外国の大学に留学し学ぶことは、学位や単位の取得だけでなく日々の生活体験を通じて異文化に触れ、同時に日本文化を伝える上で大きな意義を持ちます。

また学内においても、外国人留学生との交流をはかることで、国際的な視野を広げることができます。

高知大学は、大学独自の奨学金制度を設け、海外への留学・外国人留学生を支援しています。

国際交流協定校（大学間協定）2008.3.31現在

現在高知大学では、アメリカや中国など16の国と地域38大学などと学生交流協定を結んでいます。



留学室

外国人留学生に対する修学及び生活上の指導助言を行うとともに、海外留学を希望する学生に対して交流協定校の情報提供や、留学先の修学及び生活上の指導助言を行っています。個人相談も受けることができるので、留学に興味のある方は気軽に訪ねてください。

▶ 留学室からアドバイス

大切なのは、何のために留学するのか、どういうことを学びたいのかという目的意識です。それさえしっかり持っていればあとはスタッフが精一杯サポートします。まずは気軽に相談しに来てください。

留学生の派遣実績

<6カ月以上の派遣>

	2005年度	2006年度	2007年度
公費留学	1名	1名	1名
私費留学	5名	2名	3名

<6カ月未満の派遣（研修を含む）>

	2005年度	2006年度
派遣数	101名	118名

派遣国 オーストラリア、中国、アメリカ、カナダ、タイ、韓国、インド、インドネシア、フィリピン、スウェーデンなど

外国人留学生の受入状況（2008.3.31現在）

受入学生数: 151名



外国人留学生と日本人学生との交流は、学内外で盛んに行われています。来日後間もない外国人留学生に、上級生が1対1で学習指導や日常生活のアドバイスをするチューター制度や、パートナー（友人）となってアドバイスをするパートナーシップなどがあります。

国際交流会館

外国人留学生・研究者の専用住居施設として平成5年度末に国際交流会館が岡豊キャンパス（医学部）及び物部キャンパス（農学部）に設置されました。

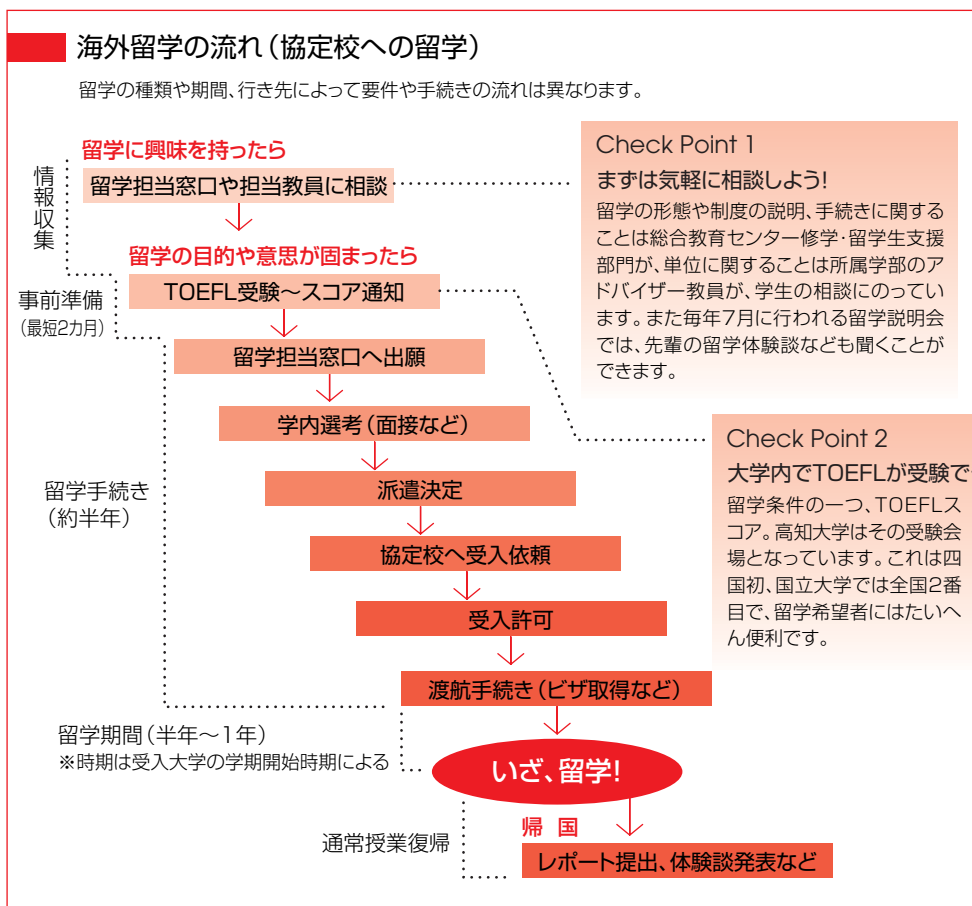
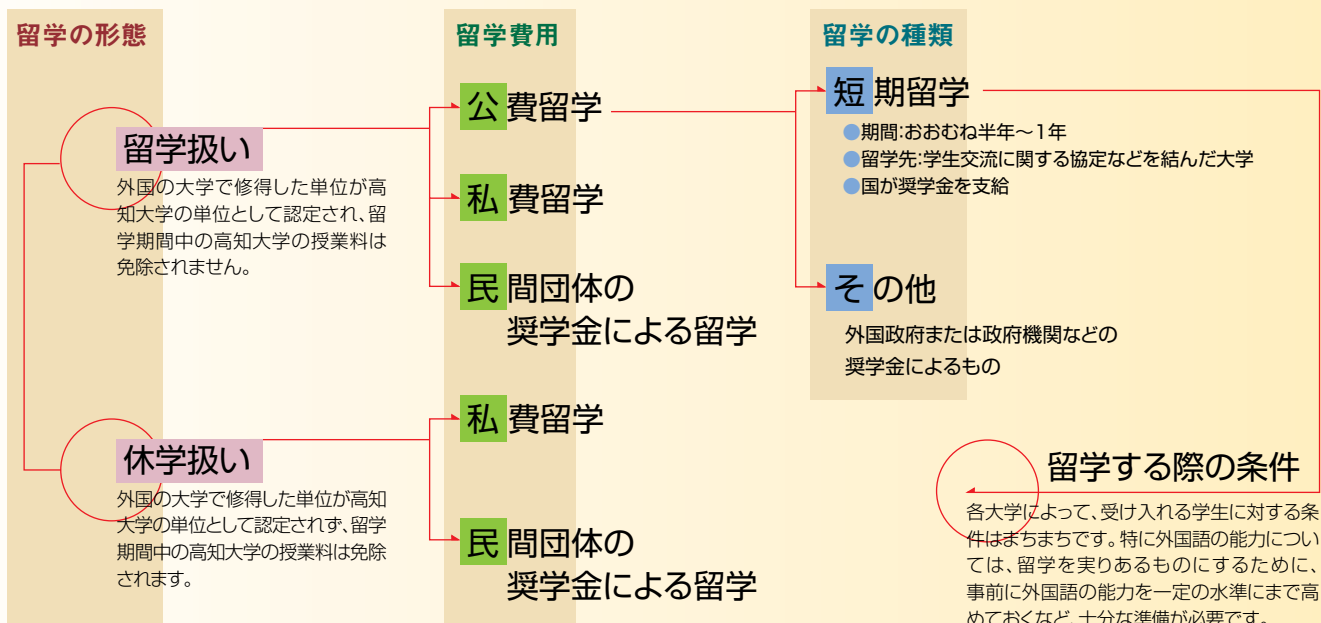


岡豊キャンパス



物部キャンパス

海外留学について



TOEFL

留学生のための英語能力をはかるテストです。現在、世界各国の多くの大学がこの試験を受けることを義務づけています。インターネット版TOEFLテスト (iBT) は、高知大学で受験可能です。受験日については、ETS (Educational Testing Service) または、CIEE (国際教育交換協議会) のホームページで確認してください。

留学における学び

異文化の中に身を置き学ぶことは、人生においてかけがえのない経験となります。ここでは、海外留学を体験した学生の留学レポートを紹介します。



黄山(安徽省にある世界遺産の山)の山頂にて、コンゴ人留学生とともに



安徽大学北門、朝の風景

安徽大学 Anhui University

長江と淮河の間に位置する安徽省合肥市(あんきしょうごうひし・hefei-shi)にある安徽大学は、1928年に設立された総合大学です。約2万人の学生が学んでおり、数学・コンピュータサイエンス学部、物理学・物質科学部、化学工学部、生命科学部、電気科学テクノロジー学部、コンピュータサイエンステクノロジー学部、経済学部、ビジネス経営学部、経営学部、法学部、外国語学部、人文学部、ジャーナリズム&コミュニケーション学部、芸術学部などがあります。



自分にとっての真実を得た貴重な日々

人文学部
国際社会コミュニケーション学科4年生
高山 真理

大学3年次の1年間、私は中国安徽省にある安徽大学に交換留学しました。中国古文字(甲骨文字など)に興味があり、漢字発祥の地で学んでみたいと留学を決意しましたが、はじめは簡単なあいさつ程度の中国語しかできなかったのが本当にやっていけるのか不安でした。しかし、留学生や中国人学生、現地の人々に助けられたり励まされたりして、本当に充実した留学生活を送ることができました。

最初の3カ月は留学生向けのクラスや中国人学生に家庭教師をもらうことで中国語の習得に力を注ぎ、次の学期では中国語と「中国古文字学」や「書法芸術」(書道)を中心とした本科の講義に参加しました。今でも忘れられないのは、授業の予習や課題に膨大な時間と体力を費やしたことです。教科書を繰り返し読んで授業に臨んでも、先生が話すスピードはテレビのニュースキャスターよりも速く、ほとんど何も聞き取れないこともありました。そんな時は、授業後にノートを書かせてくれたり、再度解説してくれたりする友人に助けられました。授業についていけなくても、そのような心の温かい人々に囲まれて毎日を過ごせることに幸せを感じました。

また、留学中にあった人との交流は、コミュニケーションをはかる意義について考えるきっかけになりました。同年代の学生と話せば、国は違っても将来についての不安など抱えている悩みは同じだと思いました。ワールドカップを観戦すれば、国を超えた連帯感が生まれ、世界全体に平和が訪れる日がいつか絶対に来ると強く感じました。また、買い物などの日常生活の中で、現地の人たちの話し方を観察して教科書とは違う自然な言い回しを学ぶなど、いろんな表現の中から最もその状況に適した用法を実体験の中で学ぶことができました。それまでは報道や書籍から得る情報に頼っていましたが、実際に自分が見聞きすることで、自分にとっての真実を得ることができた

と思います。

大学も留学も、自分が主体となって学ぶ場です。自分の興味があること、やってみたいことに挑戦することで、将来が見えてくると思います。失敗を恐れずに、人は助け合っで成長できるということ、優しさの温かさを実感できたことは本当に幸せです。帰国して振り返るとあつという間の1年間でしたが、最も充実したかけがえのない日々です。

高山さんの留学スケジュール



これから留学を希望する人へ・・・先輩からのメッセージ

失敗を恐れずに行動すること、語学力向上以外の目的を持つことが、充実した留学生活を送るポイントです。時間と健康と、人との出逢いを大切にしたいと思います。

海外実習での学び

留学以外にも、世界の実状に触れる機会はたくさんあります。
授業として行われている海外実習の一部を紹介します。

グローバル社会における問題を体感 ～スタディツアー～

担当教員:岩佐 和幸 教授
人文学部国際社会コミュニケーション学科

異文化フィールドワーク実習

人文学部 国際社会コミュニケーション学科・専門科目

授業テーマは、タイを舞台に、社会経済情勢の理解や異文化交流を目的とするスタディツアーです。学生による自主的な企画・実践が大きな特徴で、約2週間かけて、ホームステイやNGO訪問、工場・コミュニティ見学など、都市・農村の各地を歩き回ります。こうした体験を通じて、アジアの実情や日本とのつながりを五感で感じ取れるようになることを目指します。帰国後は、多くの人に伝えるために報告会や支援活動を行うなど、グローバル社会の中での主体的な意識や行動が芽生えてくるようになります。



農村ホームステイ



コンケン大学交流会



NGO訪問

Voice 板夏美 国際社会コミュニケーション学科2年

スタディツアーに向け、夏休み返上で準備にあたってきました。しかし実際タイへ行ってみると、日本語だらけの看板や日本人向けの歓楽街など、学んできた以上にタイの問題に大きく日本が関わっていると感じました。農村ホームステイでは、元気いっぱいの子どもたちと外で遊び、家族の温かさ、村の人たちの優しさに感動しました。またNGO訪問では、現地で活動している人たちの話に大変刺激を受けました。この10日間の日々によって、私は様々な問題意識を持つようになり、今後の自分に向けて本当に良い体験ができたと思います。

上岡 理沙 国際社会コミュニケーション学科2年

「スタディツアーに参加して得たことは、次に進む小さなきっかけだ」と、タイから帰ってきて4カ月経った今、思います。参加した理由は漠然としたもので、「夏休みに何かしたい」「アジアの国を知りたい」というものでした。しかし、実際に自分の目でタイという国を見て回り、五感でタイを感じる中で、自分にたくさん問題提起をすることができました。これも一緒に参加したメンバー、先生、タイでお世話してくださった皆様のおかげです。感謝の気持ちを忘れずに、この経験を無駄にしない大学生活を送りたいです。

熱帯・亜熱帯の農、林、水産の現場を巡る ～海外FS実習～

担当教員:市栄 智明 准教授
農学部農学科 国際支援学コース

海外フィールドサイエンス実習

農学部農学科 国際支援学コース・専門科目

この実習では、高知大学と協定関係にあるアジアの大学を中心に海外の大学を訪問し、農林水産業に関する実習を行ないながら、その国の環境や文化についての知見を深めます。コースとしての正規の実習は平成20年度からですが、その準備として三年前から実習を行っており、昨年はタイとベトナムで実習を行いました。



クックブノ国立公園
(ベトナム)



マングローブの植林を体験
(ベトナム)



カオヤイ国立公園
(タイ)

Voice 斉藤 亮平 農学科森林科学コース2年

私がタイとベトナムの実習を通して一番感じたことは、現地の大学生の英語の上手さです。空港まで迎えに来てくれていた大学生にいきなり英語で淡々と話しかけられた時は、もうたじたじでした。しかし、日を重ねていくごとに耳は慣れ、自身も片言ではありますが、自分の考えを何とか伝えようとしているうちに双方の意思疎通がはかれるようになりました。今回の実習で、私は英語はさることながら、たとえ言語が異なっても自分の思いを伝えようとする姿勢が大事なのだということを学びました。

岡澤 智絵 農学科森林科学コース3年

この実習では、多くの面で日本との差を感じることができました。特にベトナムでは国立公園の広さと植物の大きさを体感し、タイでは自然保護を通じて民族や文化の違いも守っていることを学びました。また観光旅行では宿泊しないような施設に泊まり、その土地の人が普段食べているであろう物を食べることで、「ああ自分は今、海外の別の国の文化に触れているのだな」と実感することができました。この実習を通して、異文化の中で学ぶことの難しさと刺激の強さを感じ、これからも多くの事を学んでいきたいという気持ちが一層強くなりました。

高知発 人と地球の未来行き

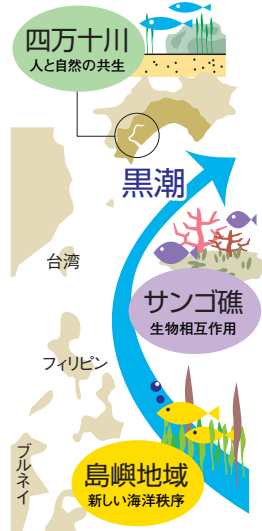
高知大学には学部横断的かつ重点的に進められている研究プロジェクトがあります。
高知県というフィールドの中でその特性を活かしてどのような研究が行われているのか——
ここで、興味のかげらを手にとってみませんか？

現在進行中… 4つの研究プロジェクト

海洋生態系の解明とその資源の持続的有効利用

海洋生物研究プロジェクトチーム

高知県の気候・風土・生物相は黒潮から大きな影響と恵みを受けている。
現代文明と産業の発展は地下資源の大量消費に支えられているが、一方では、環境破壊や地球温暖化などの大きな問題をもたらした。
本プロジェクトは、黒潮の持つ持続性と潜在力に注目して「海洋生態系を解明し、その資源を持続的に有効利用する方法と方策」を研究し、その研究成果を自然の持続的な循環システムを基盤とする21世紀型社会への転換・確立に結びつけるものである。黒潮流域圏に、四万十川(人と自然の共生)、サンゴ礁(生物相互作用)、島嶼地域(新しい海洋秩序)という3つのフィールドとテーマを設定している。



バイオ・ファンクショナルマテリアルを基盤にした環境・先端医療分野への研究展開

バイオ・先端医療プロジェクトチーム

人類と環境との共生に対し、物質科学の視点から取り組もうとする先導的研究。
物質科学と機能材料工学、生命科学と生命工学、癌・感染症と再生医療の3つで構成され、三者が重なり合う部分はグリーンサイエンス&テクノロジーとして共有される。以下の4つの課題を重点的に進めている。

- 課題1** 本学が顕著な業績を上げている水熱化学、合成化学、天然物化学、材料科学などを基盤に、環境調和型の物質変換科学の確立を目指す。
- 課題2** 生命基本素子の構造と機能、細胞内外のシグナル(環境)に対する細胞応答を研究する。また生体分子の機能開拓を重点的に行う。
- 課題3** 悪性腫瘍の発生・転移抑制・浸潤制御、更に診断・治療に関連した研究が進行中で、PETの活用、ペプチド療法や遺伝子治療の開発が進展中である。また、悪性腫瘍との関連において細菌、真菌などの感染制御も重要な問題である。
- 課題4** 特に匂いの記憶・学習における分子生物学的研究や神経系発達と特定の遺伝子との関連性のほか、パーキンソン病などの脳脊髄疾患に対する神経細胞移植、血管新生に関する細胞の再生についての臨床応用を目指した研究が進行中である。

地球掘削コアを用いた地球環境・地球ダイナミクス・地下圏微生物の総合的研究

コア研究プロジェクトチーム

地球深部の物理・化学的性質や未知の地殻内微生物圏を探るための貴重な研究試料である掘削コアを用いて、地球科学・化学・生物学などの専門基礎研究や関連分野での応用研究を行う。掘削コアの国際的研究拠点として設置された海洋コア総合研究センターを中心に、3つの課題研究が行われている。

- 課題1** 地域の特性を活かした「人と自然の共生」のために、黒潮圏の自然史(地盤や自然環境、生命の成り立ちや維持のしくみ)を解明する。
- 課題2** グローバルからローカル、数十年から数十年と様々な時空スケールで密接に絡みあう地球環境変化を、海洋掘削コアから解き明かす。
- 課題3** 深海底などに生息する生物の生命戦略を解明し、それらの遺伝情報や遺伝子資源を様々な分野で有効利用するための研究を行う。

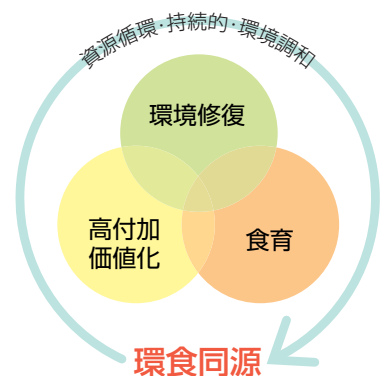
環食同源

～環境保全型食糧生産システムの構築～

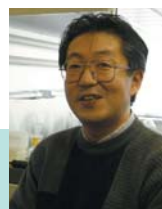


環食同源(フィールドサイエンス)プロジェクトチーム

安全な食料を生産することで同時に健全な環境をつくり、地球環境を修復・維持していこうというのが目標。そのために地産地消(※)をベースに、循環型の食料生産と食料の高付加価値化を両立させ、それを持続させるため食育を推進している。



※ 地産地消:ある限られた地域で生産した食物を、その地域で消費すること



藤原 滋樹教授

バイオ・先端医療プロジェクトチーム
理学部応用理学科海洋生命・分子工学コース
主な研究テーマは、動物の胚発生、再生、そして無性生殖の研究です。動物の体を形づくる遺伝子の働きを研究しています。
興味のある人はぜひHPを訪ねてください。
<http://www.cc.kochi-u.ac.jp/~tatataa/>

Project Interview プロジェクト・インタビュー

医と理の連携で、人と環境に貢献 — バイオ・先端医療プロジェクトチームの取り組み —

生命活動を支える物質がキーワード

バイオ・ファンクショナルマテリアルとは「身体の中で生命活動を支える物質」のこと。それを中心にして様々な研究、様々な人が集まったのがこのプロジェクトです。化学系の課題1では、医薬品や農薬などに役に立つ機能物質を人工合成し、その過程で廃棄物をできるだけ出さない方法を研究しています。

生物系の課題2では、そういった分子の働き自体を解明する——つまり、どんな機能を持っているのか、それが細胞にどう働いているのかといったことを研究しています。

医学系の課題3と課題4では、それらがどういふふうに関病気の治療に役立つかを研究しています。

分野を超えた連携 —— その先に広がる世界

このように異分野同士が混じり合うことには大きな意義があります。知識や技術の交流によってこれまで手が出せなかった研究が可能になったり、互いの考え方をすることで全く新しいテーマが生まれたりします。交流は盛んであればあるほど受ける刺激も大

きいし、いろんな世界、いろんな人に出会い成長できるのです。

このプロジェクトをきっかけに、学部を超えた共同研究も以前より盛んになりました。理学部から医学部の大学院に進む学生も少なくありません。分野に境

界はなく、可能性は大きく広がっています。これから大学生になる皆さんも、ぜひ幅広い好奇心を持って入学してください。そういう感性が、あなたをより大きな世界に導いてくれるはずですよ。



無菌状態のクリーンベンチでの細胞培養実験



特定の遺伝子を増幅する作業 (PCR) を行う装置

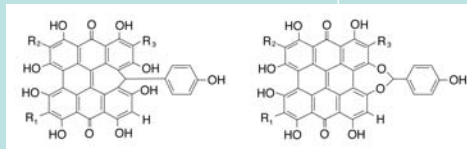


プロジェクト研究例

効率的で環境にやさしい化学合成

化学反応を用いて何か新しい化合物を作り出す時、通常は溶媒と呼ばれる液体を使用します。化学合成によく使われる有機溶媒は、合成過程が終わると廃棄物となってしまいます。そこで、溶媒を使わずに化学反応を進める有機合成について、課題1のチームが研究を進めています。目的のものを効率よく作ると同時に、安全で環境にやさしい方法を探る研究です。

下写真2枚：松岡達臣教授提供



プレファリスミン(左)とその酸化型(右)の分子構造。
抗原虫活性と光センサー機能を兼ね備えている。



共同研究例 1

ゾウリムシの機能物質を発見 → 人工合成

“赤いゾウリムシ”と呼ばれるプレファリスマは、光を当てるとそれを避けて動く性質を持っています。理学科生物科学コースのチームは、そこに光を感知する化学物質があることを突き止めました。それがプレファリスミン色素です。非常に複雑な構造を持つこの分子を、今度は応用理学部応用化学コースのチームが人工合成しようと研究を始めています。自然界に存在する便利な化学物質を発見し、それを人工合成することは、医薬品などへの応用・普及につながる大きな可能性を秘めています。



原生動物プレファリスマ。
体長は 300~500 μm。



共同研究例 2

ホヤの抗菌物質で、感染症予防へ

海洋生物のホヤは、背骨は持ちませんが私たち脊椎動物に非常に近い身体の構造をしています。このホヤの研究をしていた応用理学部海洋生命・分子工学コースで不思議な現象が起こりました。ホヤの細胞を培養すると、なぜか雑菌があまり生えないのです。教員や学生の間でも「何か抗菌物質が作られているのではないか?」と意見が出ました。これが医学部の感染症を研究するチームの耳に入り、抗菌活性を生物学的に測定する共同研究がスタート。学部を超えた交流から生まれた新しいテーマです。



ホヤの培養細胞
写真：川村和夫理学部長提供

教育研究施設

Educational Research Facilities

総合教育センター

総合教育センターでは、高知大学における全学生共通に必要なとされる人間的資質及び能力養成のための教育プログラムなどの研究・開発・試行を行います。そして、学部・大学院、その他関連組織などととも、21世紀の知識基盤社会において才能ある人材を育成するための効果的で新しい仕組みを総合的につくり出していくことを目的としています。

大学教育創造部門

共通教育と専門教育とを体系化した新しい大学教育プログラムの研究・開発・試行や、教育システムの開発などを行っています。また、自己点検及びFDの企画や実施に関すること、学習支援のあり方に関することなどについて取り組んでいます。



キャリア形成支援部門

首都圏や関西圏の大学、また学外の諸団体と協働し、キャリア形成に関わる教育などの企画・実施を行ったり、県外での就職活動支援企画を立案・試行しています。



入試部門

入試部門では、入学後の入学後における動向を長期間にわたって追跡的に調査・解析することにより、アドミッションポリシーに基づく入学選抜方法の妥当性について検証するとともに、選抜方法の妥当性を高めるための方策に関する検討を精力的に推進しています。こうした種々の研究成果はその都度、学術論文として広く社会に公表することにより、入学選抜方法に関する社会的説明責任を果たす努力を積み重ねています。



修学・留学生支援部門

学生生活（修学支援、健康管理及び正課外教育など）に関わる諸課題の調査研究及び企画立案を行っています。また、留学生の受け入れから帰国までの支援（日本語教育、生活支援など）ならびに海外に留学を希望する日本人学生の支援などを行っています。



修学・留学生支援部門（1階）

総合研究センター

総合研究センターは、人的資源、知的財産、設備・施設を最大限活用して、全学的な重点研究プロジェクトなどへの支援強化をはかるとともに、本学の研究・教育の進展に寄与することにより、個性豊かな地域の大学をつくり出すことに貢献します。

本センターは、海洋部門、生命・機能物質部門、防災部門からなり、

- 1) 海洋に関わる研究の遂行とその支援、教育及び地域連携
 - 2) 生命・機能物質に関わる研究の遂行とその支援、教育及び地域連携
 - 3) 自然災害発生と防災に対する研究、教育及び地域連携
- の3つの機能を持っています。

海洋部門

■ 海洋生物研究教育施設

海洋生物学、水産学及びそれらの学際領域に関する広い分野の研究を行っています。研究・実習用施設、設備、機器類のほか海洋調査実習船「豊旗丸」（19t）、「ねぶちゅーん」（5t）を所有し、フィールド調査や飼育実験、臨海実習の基地として、学内だけでなく学外さらには海外からの研究者も利用しています。主に黒潮に関する共同研究の場となっています。



生命・機能物質部門

■ 遺伝子実験施設

遺伝子実験施設は、遺伝子に関する基礎的・応用的研究の助長・促進と、遺伝子実験技術の教育・訓練を行うことを目的とした施設です。組換えDNA実験指針に準拠したP-1、P-2、P-3の設備を持ち、放射性同位元素も使用できる実験室と、組換えDNA実験に必要な機器を揃えており、高知大学のみならず、四国地域における遺伝子関連の実践的研究推進のためのセンターとして重要な役割が期待されています。

■ 実験実習機器施設

生命科学の教育、研究に必要な設備、機器を整備し、共同研究の効率化をはかり、本学における教育及び研究の向上、発展に貢献しています。施設には、生化学系、形態系、生理系、免疫系、バイオハザード系の5つの系があり、それぞれの研究に必要な大型機器が完備されており、大学内の研究者がいつでも利用できます。配属職員は、機器の維持管理のほか若手研究者、大学院生向けの技術研修会の開催、地域貢献の一環として毎年高校生を対象にしたサイエンス体験学習教室を開催しています。塩基配列測定などは、学内から送られて来たサンプルを測定し、データをWeb配信するサービスも行っています。

■ RI実験施設

放射性同位元素を用いた実験に関する研究、教育、安全管理を行い、医学・生命科学の研究の発展に貢献しています。

■ 動物実験施設

生命科学分野の研究は、医学や医療の発展、遺伝子治療や医薬品の開発、環境破壊や環境汚染への対応、遺伝子組換え食品の開発や食料増産など幅広い分野と関係しており、これらの教育と研究を推進する上では動物を用いた教育実習や実験は必須です。実験動物の尊い命の犠牲の上に成り立っているという事実を踏まえ、学生・院生に対しては動物と接する際に必要な実験動物に関する基礎知識、人獣共通感染症、動物福祉と生命倫理を中心に教育を行い、今世紀の生命科学分野を担う人材の養成に貢献します。



防災部門（南海地震防災支援センター）

南海地震をはじめとする自然災害に関する研究を行うとともに、その研究成果を活用して地域の関係機関と連携をはかり、防災の問題解決及び支援を行い、地域に貢献することを目的として活動しています。

総合情報センター



メディアの森



図書部門



情報部門

総合情報センターには図書部門と情報部門が設けられ、図書と情報を融合させることによって学内の大学情報基盤を一元的に管理運用し、大学における情報活動を高度に支援しようとしています。さらに、学習・教育・研究活動の活性化と大学運営業務の効率化を促進し、地域社会に対する情報化の支援とデータウェアハウスとして学術情報などの提供及び公開などを通じて地域に貢献していくことを目的としています。

図書部門

図書部門は、朝倉キャンパスの中央館、岡豊キャンパスの医学部分館、物部キャンパスの農学部分館に分かれています。蔵書数約75万冊、学術雑誌18,000種を備え、資料は全て手にとって見ることできる全面開架方式を採用しています。所蔵図書はオンライン検索ができます。

情報部門

大容量・高速演算処理、インターネットの利用、情報教育の支援、電子図書館の機能の支援など、情報処理のための機器を配備し、大学のあらゆる情報活動を高度に支援します。特に情報教育関連の授業で使用されており、さらに、e-Learningによる自主学习や、グラフィック処理ソフトの利用、各周辺機器の利用など、授業外での自習でも利用できます。

国際・地域連携センター

“敬地愛人”—— 地域を敬い、人を愛する

国際・地域連携センターは、高知大学における教育研究の進展に寄与するとともに、高知大学の有する人的資源、知的財産、施設を活用して、地域社会との緊密な連携を推進することにより、地域社会における人材の育成、科学の発展、技術開発及び産業の活性化に貢献するとともに、生涯学習、地域文化交流、健康福祉の向上及び地域課題の解決支援に資することを使命とします。また、その地域社会との連携で培ったノウハウを、アジア・太平洋地域を中心とした国々との連携に活用し、併せて国際社会に貢献していくことを目指します。



生涯学習部門

地域社会における高等教育の享受のための機会拡大と、生涯学習に資する場や学術情報の提供を行うとともに、地域社会の文化的交流のための取り組みを推進します。

知的財産部門

高知大学の創出した知的財産を、自らの責任のもとに保護、管理、活用し、本学、教職員等、学生、地域社会が受ける利益の最大化を目指します。

産学官民連携部門

教育研究、共同研究、受託研究及び生涯学習研究を通じた教育研究成果を地域社会に還元し、地域の活性化を支援します。

国際交流部門

教育研究などの国際的な連携及び国際的な大学間交流を推進し、地域の国際化にも寄与します。

全国共同利用施設

■ 海洋コア総合研究センター

海洋コア総合研究センターは、海洋コアの総合的な解析を通して地球環境変動要因の解明や海洋底資源の基礎研究を行うことを目的として、海洋研究開発機構（JAMSTEC）との共同運用体制のもと設立されました。本センターは、海洋コアの冷蔵・冷凍保管をはじめとし、コア試料を用いた基礎解析から応用研究までを一貫して行うことが可能な研究設備を備える、国内唯一の研究機関です。この卓越した研究環境を全国の大学・研究機関の研究者や学生に公開し、地球掘削科学を中心とした様々な共同研究を行っています。2007年からは、国際協力プロジェクトである統合国際深海掘削計画（IODP）における世界3拠点の1つとして、本格的な活動を開始しました。



保健管理センター



保健管理センターは、学生が心身ともにより良い健康状態で学生生活を送ることができるように様々な支援業務を行っています。毎年春に健康診断を実施し、病気の早期発見や予防、自主管理のための指導を行い学生の健康保持と増進に努めています。また、専任の医師及び看護師などが、授業中や課外活動中の不慮のケガや、病気に対する応急手当て、様々な悩み事の相談にも応じています。課外活動などの行事には、事前の申し込みがあれば救急カバンの貸し出しも行っています。なお、メンタル面の相談にも応じています。どんな些細な心配事や悩み事でもかまいません。相談内容などの秘密は厳守としますので、安心して気軽に相談に来てください。

総合研究棟



総合研究棟は、本学の教育研究活動の進展に寄与し、学部・研究科などの枠を超えた施設共有の新しい構想により、学生の学びの環境整備・充実及び創造的・先駆的なプロジェクト研究拠点の設置などを目的として整備され、学生及び教職員に利用されています。

1階の学生ゾーンは、学部学生及び大学院生が学部などを超えて集い、相互交流・寛ぎの場として利用できる“学生ラウンジ”、各机に情報コンセントを設備し、自学のためにいつでも自由に利用できる“自学自習室”及び少人数での学習・演習・会合などに利用できる“グループ演習室”があります。

2階の多目的スペースゾーンは、教職員が全学共通で利用する“会議室”、“プレゼンテーション室”などがあり、3階のプロジェクト共同研究室ゾーンは、共同研究プロジェクトで利用する大小の研究室があります。

学部附属施設

Special Facilities Affiliated with Faculties

教育学部附属教育実践総合センター

教育実践の理論的研究と実践的指導を推進する研究機関であり、地域との教育研究の交流の場として、大きな役割を果たしています。当センターでは、専任教員に学部内外の研究スタッフが加わって、教育実践、教育臨床、教育情報の3つの分野で様々な活動を行っており、同時に教育学部学生の教職実践力向上や、県内の現職教員の研究・研修の場としても役立てられています。具体的な活動内容は、各種の研究会・研修会、公開講座やシンポジウムなどの開催、教育に関する講習会の実施、研究紀要や定期刊行物の発行による学部内外の研究交流促進などです。



教育学部附属小学校/附属中学校 附属特別支援学校/附属幼稚園

附属学校園は、教育研究と教育実習指導を主な使命としています。現在の4校園は、各校園種の教員免許状を取得する教育学部学生にとっては適切な実習校であり、大学院生にとっては学習教育、教科教育実践研究のフィールドとしての役割も果たしています。今や教育学部にとっては、一層不可欠な教育と研究のパートナーです。



附属小学校



附属中学校



附属特別支援学校



附属幼稚園

理学部附属水熱化学実験所

高温高压下の水が関与する水熱反応について専門的に研究を行うために設立された、全国唯一の研究機関です。水熱反応は物理・化学・地学の分野にまたがり、理学的な基礎の上に立った応用範囲の広い研究分野です。国内外の大学や公立研究機関、民間企業と共同で研究を行い、機能性セラミックス粉末や薄膜合成、光学材料用単結晶育成、フロンなどの環境汚染物質の分解、産業廃棄物の処理処分と有効利用など、様々な分野で多くの研究成果をあげてきました。研究分野が広がってだけでなく、理学部の4年生や博士前期・後期課程の学生のほかに、外国人博士研究員や民間企業の研究者も実験所で一緒に研究を行うため、学生諸君は幅広い学力や国際性を身につけることができます。



理学部附属高知地震観測所



四国地方の地震現象を解明するため、本所を含めて四国内に8か所の常時観測点を有し、隣接する大学の地震観測所との間で、通信回線を利用した波形データの交換を行っています。観測の対象となる地震は、四国付近のほか、地球の中心を伝播してくる南米の大地震まで、多種多様です。過去に繰り返し発生している南海地震と関連する四国付近の微小地震の時空間分布、地震発生メカニズム、最上部マントルまでの詳しい速度構造などを研究テーマとしており、これらは主に防災科学コース卒論の研究課題にもなっています。

医学部附属病院

附属病院には1,000名を超える職員が働いています。患者さんの生命をお預かりするとともに、明日の医療を担う医師、看護師、薬剤師、技師などのスタッフを養成する役割を担っています。新しい研究テーマも生まれ、その果実がまた患者さんのQOLを高めるために活かされていきます。医療、教育、研究の質とともに、経営の質も考慮に入れた新しい病院として機能していきます。2006年4月には高知県で初めてPET-CTを導入し、8月には都道府県がん診療連携拠点病院に指定されるなど、県民の期待に応える取り組みをしています。また、患者さんたちは、学生による病院のボランティア活動にも期待しています。



医学部附属医学情報センター

医学情報センターは、昭和56年の附属病院開院時に自主開発による我が国初の総合医療情報システム (IMIS: Integrated Medical Information System) を稼働させて以来、附属病院業務の改善に大きく貢献してきました。IMISはその後の我が国におけるモデルケースとなり、他大学や病院における医療情報システムの広範な普及の発端となりました。



この功績により日本科学技術連盟による昭和58年度の“石川賞”を受賞し、昭和60年には文部省令による医学部附属医学情報センターとなり今日に至っています。

このIMISは平成14年に全面更新され、我が国の医学界をリードする新IMISとして電子カルテシステムや医療工程管理システムとなりました。IMISには、開院以来日々の診療に伴って発生する様々なデータが全て蓄積され、この世界的にも例を見ない25年以上にわたる貴重なデータは様々な研究に活用されています。

また、医学情報センターは情報教育に積極的に取り組み続けており、現在では情報科学体験学習、情報科学、医学統計学、医療情報を担当しています。



農学部附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター

フィールドサイエンスに関する教育研究の推進と共同研究などによる地域及び国際社会への貢献を目的に、旧農学部附属農場と同演習林を統合して平成15年4月に設置されました。

交流企画推進部門

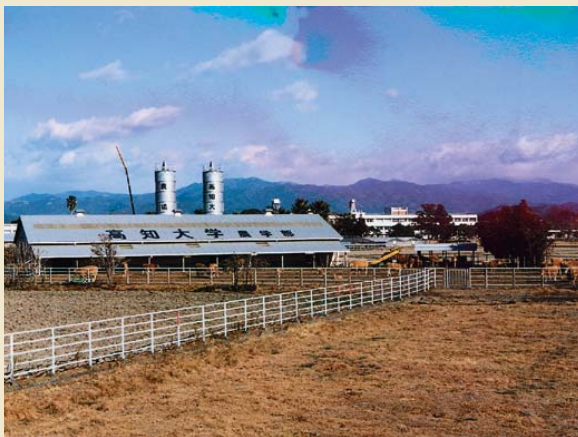
フィールドサイエンスに関する教育プログラムの開発、教育・研究指導や国内及び国際研究機関との共同研究・プロジェクト研究の企画調整を行います。

循環型暖地農業生産部門

物部キャンパス内にある南国フィールド(農場、総面積約18ha)には、稲、野菜、花、果樹、飼料作物、褐毛和種牛などが栽培・飼育されており、環境保全を考慮した循環型農業生産に関する実習教育・研究、技術開発、技術支援を行います。

森林生産環境部門

四国山地の南側に位置する嶺北フィールド(演習林)は、約127haを有し、スギやヒノキの植林地とモミや広葉樹の天然林が広がり、多様な森林を形成しています。森林環境や循環型生産に関する実習教育・研究、技術開発、技術支援を行います。



課外活動施設

体育施設が朝倉キャンパス・岡豊キャンパス及び物部キャンパスの3か所にあり、体育系の課外活動などに利用されています。その概要は下記の通りです。朝倉キャンパス・岡豊キャンパスには、課外活動共同施設もあり、サークルの部室などに使用されています。また文化系の課外活動には、朝倉キャンパス内の学生会館を利用することができます。大小の集会室や談話室、和室などがあります。

朝倉キャンパス



運動場(サッカー・野球)=10,506m²
 陸上競技場=18,723m²
 弓道場=90m²
 柔・剣道場=400m²
 北体育館=1,649m²
 (バレーボール・バスケットボール・バドミントン・ダンス・体操)
 プール=1,540m²
 テニスコート=7面
 南体育館=1,094m²

岡豊キャンパス



陸上競技場(サッカー)=14,440m²
 野球場=12,286m²
 体育館=1,092m²
 武道場=363m²
 弓道場=129m²
 テニスコート=5面
 プール50m 7コース



運動場(サッカー・ラグビー・野球)=15,892m²
 テニスコート=3面
 体育館=1,077m²



物部キャンパス

キャンパスライフ

Campus Life

キャンパスライフは皆さんが、良き社会人、地球人として自立する知識、技術を学び、体験し、体得するためにあるもの。そういう意味で本業の学業はもちろん、様々なサークル活動、そして学外での生活も含め、全てが同じように大切だと考えます。本学に在籍する数年間が、皆さんにとって豊かな、輝かしい人生の数年間であってほしい…。本学ではそのキャンパスライフをできる限り支援する体制を整えています。

学内厚生施設 Public welfare facilities



喫茶(朝倉キャンパス)



大学生協購買部(朝倉キャンパス)



購買部PC修理コーナー(朝倉キャンパス)



書籍部(朝倉キャンパス)

食堂・喫茶

朝倉キャンパスには学生会館に食堂と喫茶が、岡豊キャンパス(医学部)には医学部会館に食堂と喫茶が、また、物部キャンパス(農学部)には日章会館に食堂がそれぞれあります。朝倉キャンパスと物部キャンパスは高知大学生生活協同組合(生協)の運営で、組合員は安い価格で利用できるようになっています。また、岡豊キャンパスには附属病院内に病院食堂もあります。

購買部・書籍部

全てのキャンパス内に、学生や教職員が必要となる商品を品揃えした書店と売店があります。書店では教科書、参考書、専門書、一般書、辞典、雑誌などを、売店では文房具、日用品、食料品など各種商品を取り扱っています。朝倉キャンパスの売店には、パソコンなどの電化製品や航空券、JR切符、電話取り付け、自動車教習所、引越サービス、各種チケットなどを取り扱うコーナーがあり、運営は生協が行っています。

また、朝倉キャンパスには正門付近に郵便局・銀行のキャッシュコーナーや理容サービスが、岡豊キャンパスには附属病院内に売店、薬店、簡易郵便局、さらに郵便局・銀行のキャッシュコーナーや理・美容室もあります。

Voice

森 敏寛さん
大学生協食堂部



大学生協はキャンパスライフの様々な場面に関わっています。食堂、書籍部、購買部があり、共済や下宿紹介、パソコンの販売・修理、インターネット回線の接続などもやっています。食堂で好評なのは「ミールカード」。これは1年間使える学食カードで、1日1,000円まで食べ放題。16万円(2007年度)で販売していますが、年間営業日数が約270日なので全営業日使えばなんと24万円※分ほど食べられお得です! 栄養価を考えた豊富なメニューは、地域の「食育」拠点高知大学ならではの。食事歴のレポートを1カ月ごとにお送りしているので、食べたメニューやカロリーもわかり親御さんも安心ですよ。また、カフェ横の学生広場では昼休みにブレイクダンスのパフォーマンスがあったりよさこい踊りの練習をしていたりと、大学生協付近は楽しいことがいっぱい。上手に利用して下さい!

※夏期・春期休暇中は、1日利用上限600円です。



学生さんに聞くと、「ミールカードでいかに食べ尽くすかに執念を燃やしている学生も多い」のだそう。

Topics.....

高知大学せんべい、デビュー!



購買部で今一番人気の高知大グッズと言えば、この「大学せんべい」。何でも、春に日本水産学会が高知大学で開かれた時、何かおみやげになる食べ物は何と聞かれたのがきっかけだとか。やってみよう! と思い立ったらすぐに実行するのが土佐人気質。生協職員、大学広報室、学生と一緒に、素材の検討から試食アンケートまで一気に進み、9月には商品化したというからスゴイ。さらに第二弾として、農学部の教授陣が参画して「環境と健康にいいせんべい」づくりが進行中とのこと。あなたも、高知大学に来たらこの大学せんべいをぜひお試しあれ!

※パッケージは、人文社会科学研究科2007年度卒の藤浦五月さんのデザインです。

学生寮 Accommodation

4つの学生寮がありますが、入寮希望者は定められた手続きによって入寮し、入寮後は管理運営規則に従うことになります。各寮の概要は以下の通りです。

かつら寮



Voice

おじま
小島 佳代さん
南溟寮 寮母



学生寮には寮母、会計、栄養士、調理師などがおり、寮生活のお手伝いをしています。一番気を遣っているのは健康面で、病気が流行しないよう衛生面や体調管理のサポートをしたり、食事もおいしくて栄養もボリュームもたっぷりのものを用意しています。

学生さんたちはふだんからよく規律を守って生活していて、廊下では必ず大きな声で挨拶を交わしていますね。お互いに尊重しあい、何かあってもよく話し合いをしながら自分たち自身で解決しているようです。そういう過程も大切。学問と同じくらい価値があると思っています。突拍子もない出来事?そりゃあ数え切れません!(笑)でも学生らしくていい。どこの寮も活気があって、きっと楽しい学生生活が送れると思いますよ。



寮名	性別(定員)	月額寮費	部屋・その他	大学までの通学時間
南溟寮	男子 (242人)	約20,000円	2人部屋(洋室) 3食 食事付 (土・日・祝、長期休暇中はなし)	朝倉キャンパス正門 から徒歩約5分
かつら寮	女子 (60人)	約20,000円	2人部屋(和室) 3食 食事付 (土・日・祝、長期休暇中はなし)	朝倉キャンパス正門 から徒歩約10分
ときわ寮	女子 (80人)	約7,500円 別途電気代(自室分)	個室(洋室) 食事なし(自炊設備あり)	朝倉キャンパス正門 から自転車で約10分
日章寮	男子 (60人)	約9,000円 別途電気代(自室分)	個室(洋室) 食事なし(自炊設備あり)	物部(農学部)キャン パスに隣接

■ 学生寮に関するお問い合わせ先:学務部学生支援課 TEL 088-844-8565



ときわ寮



南溟寮



日章寮



サークルライフ Circle Life

高知大学のサークル活動は文化系・体育系ともに活発です。朝倉キャンパスには約60、岡豊キャンパス(医学部)には約40の大学公認サークルがあり、学生の半数近くがそのいずれかに所属しています。活動は主にキャンパス内を中心に行われますが、他大学との交流や地域への貢献などというかたちで学外へと活動の幅を広げているサークルも多くあります。あなたもスポーツや文化活動など様々な分野で自己を磨き、生涯にわたる友情と思い出をたくさん作ってください。

文化系サークル

■ 朝倉キャンパス

- 交響楽団
- 吹奏楽団
- 合唱団
- マンドリンクラブ
- 邦楽部
- フォークソング部
- フォークフォーク
- 軽音楽部 BLUE SKY
- SEA BREEZE
- 美術部
- 裏千家茶道部
- 表千家不白流茶道部
- 華道部
- 囲碁部
- 映画文化研究会
- 演劇研究会
- 星の会
- 野生生物研究会
- 学術探検部
- ユースホステル部
- E.S.S
- 写真部
- 児童文化研究会
- 子ども倶楽部
- 児童文化研究会
- 総合映像研究会
- 放送研究会
- 園芸部
- 奇術部
- ニューシネマ☆パラダイス
- 書道部
- Hand to hand

■ 岡豊キャンパス

- 医学部ESS
- 医学部囲碁・将棋部
- 医学部映画研究会
- 医学部合唱団
- ACT-K
- ACLS南国
- 医学部管弦楽団
- 医学部軽音楽部
- 医学部JAZZ研究会
- 小原流華道部
- 医学部裏千家茶道部
- 医学部写真部
- 医学部天文部
- 医学部美術部
- アウトドア・HAM・サークル
- パソコンサークル DOS/V
- 医学部アジア僻地医療を支援する会
- 医学部漢方研究会(うどん部)
- フィールド医学研究会
- 医学部ボランティア部
- Peer部
- 高知大学 Mental Health Care Club
- 医学部ダンス部

体育系サークル

■ 朝倉キャンパス

- 陸上競技部
- 水泳部
- ヨット部
- サイクリング部
- Free Climbing Club
- サッカー部
- ワンダーフォーゲル部
- モダンダンス部
- 硬式庭球部
- ソフトテニス部
- ラグビー部
- 硬式野球部
- バレーボール部
- ハンドボール部
- バスケットボール部
- バドミントン部
- 体操競技部
- ソフトボール部
- アメリカンフットボール部
- ライフル射撃部
- 柔道部
- 剣道部
- 合気道部
- 空手道部
- 少林寺拳法部
- 弓道部
- 洋弓部
- 卓球部
- 軟式野球部
- 芦原空手道部
- フットサル部

■ 岡豊キャンパス

- 医学部合気道部
- 医学部空手道部
- 医学部弓道部
- 医学部剣道部
- 医学部柔道部
- 医学部硬式庭球部
- 医学部ゴルフ部
- 医学部サッカー部
- 医学部準硬式野球部
- 医学部水上運動部
- 医学部ダイビング部
- 医学部卓球部
- 医学部バスケットボール部
- 医学部バドミントン部
- 医学部バレーボール部
- 医学部ヨット部
- 医学部ラグビー部
- 医学部ワンダーフォーゲル部
- 医学部蹴球部
- 水泳部(朝倉キャンパスと合同)
- 陸上競技部(朝倉キャンパスと合同)



記事提供:朝日新聞社・高知新聞社



学内外へと広がる活動の場

サッカーを通じての豊かな人間教育

サッカー部

Data

大学選手権(14年連続23回出場)や天皇杯(5年連続12回出場)で常に優秀な成績を収める強豪チーム。

部員数は毎年約80名前後。

練習日は月曜以外の毎日、学業との両立も重要視している。

プロとしてJリーグなどでのプレーを目指す学生も多い。

2007年度も躍進!



平成19年度全日本大学サッカー選手権大会では、栄誉ある8強入りを果たした。



野地 照樹准教授

サッカー部 監督

教育学部 保健体育 運動学

JFA(日本サッカー協会)公認A級コーチ

全日本大学選抜、ユニバーシアードのコーチ、

監督を歴任

全国大会の常連、強豪チームといわれますが、転機となったのは91、92年あたりです。ヤンマー(セレッソの前身)相手に勝ったり引き分けたり、大学選手権も3位まで勝ち上がりました。以来一定のレベルをキープしています。指導にあたっては、JOCや国の在外派遣などで世界を回った経験から、効果的・効率的な練習と選手一人ひとりの自立の精神を大切にしています。学生とはお互いコミュニケーションをとりながら相手の意見や人間性を尊重していますね。

もちろん学生ですから学業との両立がまず第一です。そして大学の一員として地域貢献も大切。毎週2回の少年少女サッカー教室や、夏には強化練習とサッカー教室を兼ねた宿毛キャンプなども行っています。サッカー文化を育み、サッカーを通じての豊かな人間形成を目指しています。



チームの主力として活躍したMF菅和範選手が、FC岐阜(J2)に入団。本学からは4人目のJリーガー誕生となった。



各自が高い意識を持って取り組む日々の練習のほか、週2回は地域の小学生を対象としたサッカー教室を開催するなど社会貢献にも力を入れる。

ヨット部

海を介して広がる、人と地域との交流

Data

全日本学生ヨット選手権大会には個人、団体共にほぼ毎年出場。

土・日・祝日は香南市ヤ・シバパークにあるハーバーで練習を行っている。

経験者はもちろん、初心者も参加OK。

NPO法人YASU海の駅クラブに加盟し、海と浜辺の環境保全や情報発信にも力を入れている。



ヨットの醍醐味は何といっても走っている時の爽快感。特に雄大な太平洋は、セーラーたち憧れの海なのだそう。シーカヤックやサーフィンなどほかのマリンスポーツを並行して楽しむ部員も多く、地域住民と一緒に海の清掃や小学生のヨット教室を行うなど活動は幅広い。

国立で神宮を狙える、数少ない大学チーム

野球部

Data

私学が圧倒的に優勢の大学野球界で、国立大学の主力チームとして異色の輝きを放つ。率いるのは就任から30年以上となる小松清祥監督。戦績としては、2006年秋季四国六大学野球リーグで優勝、今年度も優勝を目指して選手たちは、週6日の練習やリーグ戦に打ち込んでいる。



神宮には過去3回出場しているがまだ勝ち星がないため、チームの合い言葉は“神宮での1勝”。目標に向かう姿勢や、人に対する礼儀・態度など、野球以外のことも大切にするのがモットー。

2006年には、ベースボールマガジンで大学野球の強豪チームの一つとして、特集も組まれた。国立大学の野球部としては異例のこと。



書道部

書から篆刻、立体象書※まで



Data

顧問の北川修久先生（教育学部）の指導のもと、火・金の週2回、書の世界に浸る。活動内容は、基本練習から作品の制作、篆刻と幅広く、北川先生考案の「立体象書」に触れて奥深い書の精神を学ぶこともできる。

◀ 机上に置いてあるものが、青色線練で造形した立体象書の「海」です。

※「立体象書」とは

平面である書を立体として自立させ、時間と空間とを表現しようとする全く新しい書の象（かたち）。正面から見ると始筆から筆順を追って書のかたちが浮かび上がる。方向によって見え方も変わるが、どの角度にも完成された美しさを持つ。（商標登録済み）

子どもたちの笑顔が一番の喜び

子ども倶楽部

Data

ふだんの活動は毎週土曜日、地域で3つの子ども会を運営する。

イベントは年2回。春は教育学部主催の「子どもまつり」で巨大迷路を、秋は子ども倶楽部主催で午前中は工作とゲーム、午後は運動会というメニューの「子ども広場」を開催している。



部室の中は、活動に必要な大工道具や調理器具、作ったおもちゃやイベント飾りなどで埋まっている。メンバーは教育学部を中心に人文、理、農学部など様々だが、子どもが好きで日常的に子どもたちと関わり合うことを大切にしているという姿勢を共有している。



格闘技のような印象も受けるが、実はアメフトは綿密な戦術に基づいて行われる“頭のスポーツ”。ポジションごとに役割が違うので体型や特技を活かして誰にでもできる。また99人までベンチに入れて交代も自由なので、レギュラー争いではなく全員で高め合えることも特徴。

Data

中四国リーグ(一部)に所属。
チーム名はMARINE CORPS(海兵隊)、チームカラーは緑とオレンジ。
練習は月・金以外の週5回で、毎年夏に徳島大学と合同合宿を行い、シーズン入りする9月から11月をリーグで戦う。



アメフト部のもうひとつの活動、合格発表当日の胴上げ情報はこちら→P78

音楽に垣根はない! 女子大と一緒に活動

吹奏楽団

個性的なメンバーが多く、楽器の音色に負けないうらい笑い声も絶えない雰囲気だが、定期演奏会には地元の固定ファンもつくほどの実力派。



Data

定期演奏会やコンテスト出場といった演奏活動のかたわら、地元小学生への指導や人数の足りない高校ブラスバンド部への助っ人など、垣根のない音楽活動を展開。吹奏楽部のない高知女子大学の学生も受け入れ、一緒に吹奏楽を楽しんでいる。

同好会 ポストン

高知大一、ビッグな同好会

Data

「初心者でも女性でも、誰でもみんな一緒になって楽しめるバスケットボールを」という目的でスタートした同好会。
現在部員は120名を超え、学生だけでなく大学職員も参加している。

「なぜポストン?」「なぜだかわからないけど、最初からポストン」と部員たち自身にもナブの名称が特徴。並行して社会人チームにも入っているバスケット好きもいれば、友達を増やしたいと入部した人も。ポール大会やキャンプなど“楽しむ”ことを目的とした行事も多い。



知る人ぞ知る、宮沢賢治研究の草分け

宮沢賢治研究会

Data

日本全国の大学に宮沢賢治に関する研究会は数多く存在するが、教員でなく学生が主催しているのは本学だけ。
発足も古く、草分け的存在として全国の研究会から一目置かれている。
活動は週一回。



普段は持ち寄ったテーマに添って様々な角度から議論を交わす。また宮沢賢治の生地・花巻に研究旅行に行く計画などもあり、少人数ながら活動は活発だ。

学生の暮らし Student's living

高知県は気候が温暖で、住もう人々も気さくで
 大らかな気性の土地柄といわれます。
 どのキャンパスに通う学生も、それぞれの地域で見守ってくれる近隣の人々や
 四季折々の自然・風物に囲まれ、
 のびのびとした学生生活を送ることができるでしょう。
 学生生活にかかる費用は学部や学科、学内外での活動など
 個々の状況に応じて様々ですが、
 奨学金制度をはじめとする諸制度も導入されていますので
 気軽に学務部学生支援課までお問い合わせください。



入学料・授業料

Entrance fee & Tuition

入学料・授業料	
入学料	282,000円
授業料 [年額]	535,800円 (前期・後期分各 267,900円)

※入学料及び授業料について改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料が適用されます。

■入学料・授業料に関するお問い合わせ先
 財務部財務課資金・出納グループ
 TEL 088-844-8125

奨学金制度

奨学金制度としては、日本学生支援機構(旧日本育英会)の奨学金が主なものですが、そのほかに地方公共団体や民間育英団体などの奨学金があります。

奨学金の貸与を受けることができる者は、学業・人物ともに優秀で、健康であって経済的理由により、学資の支弁が困難と認められる者です。

日本学生支援機構奨学金には、無利子の第一種奨学金及び有利子の第二種奨学金があり、両方を併用することも可能です。貸与月額(平成19年度入学生)は、第一種の場合、自宅通学者は45,000円、自宅外通学者

Scholarship

は51,000円です。第二種の場合は、30,000円・50,000円・80,000円・100,000円の中から自由に貸与月額を選択することができます。

なお、本学独自の奨学金としては、医学部の「岡豊奨学会奨学金」及び農学部の「池知奨学金」があります。

■奨学金制度に関するお問い合わせ先
 学務部学生支援課
 TEL 088-844-8565

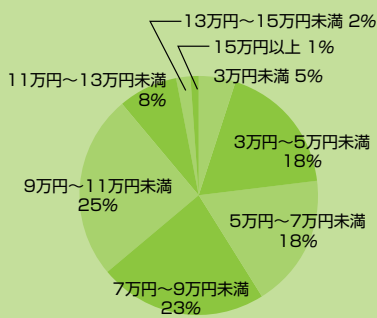
生活費

学生生活を送るのに必要な費用は、個々様々ですが、10万円前後の者が25%を占めています。全体的な平均金額は8万円程度であると思われ、家庭からの仕送りは10万円前後の者が27%を占める一方で、3万円未満の者も22%います。

また、約3割が何らかの奨学金により、4万円前後を受給しています。

アルバイトについては、約72%が月額3万円未満の収入となっています。

学生の月平均の生活費 ※医学部学生は除く



生活費の内訳例

1 学生寮に入寮している理学部男子学生の場合	
収入	
仕送り	40,000
バイト代	20,000
計	60,000
支出	
寮費(寄宿費・食費・光熱費等)	20,000
教材費(学費を除く)	10,000
部活動費(ワンダーフォーゲル部)	10,000
交通・交際費	10,000
計	50,000
繰り越し (就職活動※や部活の長期合宿などのために貯金)	10,000
※学生によっては就職活動に多くの費用がかかるケースもあります。(出身地や都市部への企業訪問に必要な交通費など)	

2 アパートで一人暮らしの農学部女子学生の場合	
収入	
仕送り	50,000
奨学金	50,000
バイト代	50,000
計	150,000
支出	
住居費	50,000
食費・光熱費	25,000
教材費(学費を除く)	5,000
交通・交際費(携帯電話料金含む)	20,000
雑費(洋服・化粧品等)	25,000
計	125,000
繰り越し (進学などのために貯金)	25,000

アルバイト

学務部学生支援課(岡豊キャンパスは岡豊学務課、物部キャンパスは物部学務課)でアルバイト求人情報の紹介を行っており、これらの情報は各キャンパス担当課及び学生用グループウェアで閲覧できます。また、一般のご家庭からの家庭教師募集の情報は、事前に大学への登録を行っている学生に対して提供しています。

一般アルバイトについては、長期休暇中を除き1週間以上の昼間の業務や深夜に及ぶもの、車両の運転など危険を伴うものや風俗営業など、学生としてふさわしくないものは紹介していません。平成18年度中に取り扱った主なものは、一般アルバイトが延べ810件、家庭教師募集が延べ70件です(朝倉キャンパスのみ)。なお、医学部では教育的配慮のもとに家庭教師に限って紹介を行っています。

なお、新入生については原則として、キャンパスライフに慣れた後期からの紹介としています。

住居

下宿、アパートやマンションの紹介は、朝倉キャンパス及び岡豊キャンパスは高知大学生生活協同組合で、物部キャンパスは高知大学生生活協同組合と物部学務課の双方で、それぞれ行っています。料金は建物の新旧や場所などの条件によって異なります。

各キャンパス周辺の賃貸価格は、平成20年4月現在で右表の通りです。なお、最近では食事つきの下宿はあまり希望者がありませんが、その場合の料金は約50,000円となっています。

各キャンパス周辺賃貸価格表

貸間	15,000～25,000円
6畳・8畳 1K・ワンルーム	25,000～50,000円



学生何でも相談窓口

この窓口は、修学上のことやキャンパスライフに関してなど、またそれだけに限らず文字通り何でも、質問・不安・悩みを受けつけ、相談内容に応じて相談機関や教職員を紹介し、適切な指導が受けられることを目的としています。質問や悩み事などをどこに相談したらよいかわからない時は、気軽にこの相談窓口を利用してください。

また、窓口以外でもE-Mail及びび「何でも相談箱」による受付も行っています。

■学生何でも相談窓口

朝倉キャンパス TEL 088-844-8149
 岡豊キャンパス TEL 088-880-2529
 物部キャンパス TEL 088-864-5116
 E-Mail (全学共通) gsoudan@kochi-u.ac.jp

入学科・授業料減免制度

新入生で、入学前1年以内に学費負担者が死亡したり、風水害などの災害を受けたなどの理由により入学科の納付が困難である学生は、申請により入学科の全額または半額が免除される場合があります。

また、経済的理由によって授業料の納付が困難で、かつ、学業優秀な学生は、申請により授業料の全額または半額の納付が免除される場合があります。

■入学科・授業料減免制度に関するお問い合わせ先
 学務部学生支援課
 TEL 088-844-8149

学生教育研究災害傷害保険制度

この保険制度は、大学に学ぶ学生が教育研究活動中に被った急激かつ偶然な外来の事故または通学中の事故により身体に被った被害を救済する災害補償制度です。学生は、安心して学業に専念できるよう、全員この保険に加入してください。

就職活動支援

Support of job hunting

大学で得た様々な知識や経験を活かし、自分の個性を十分に発揮しながら職業人として社会の中で人々に貢献していく。これが就職することの意義です。

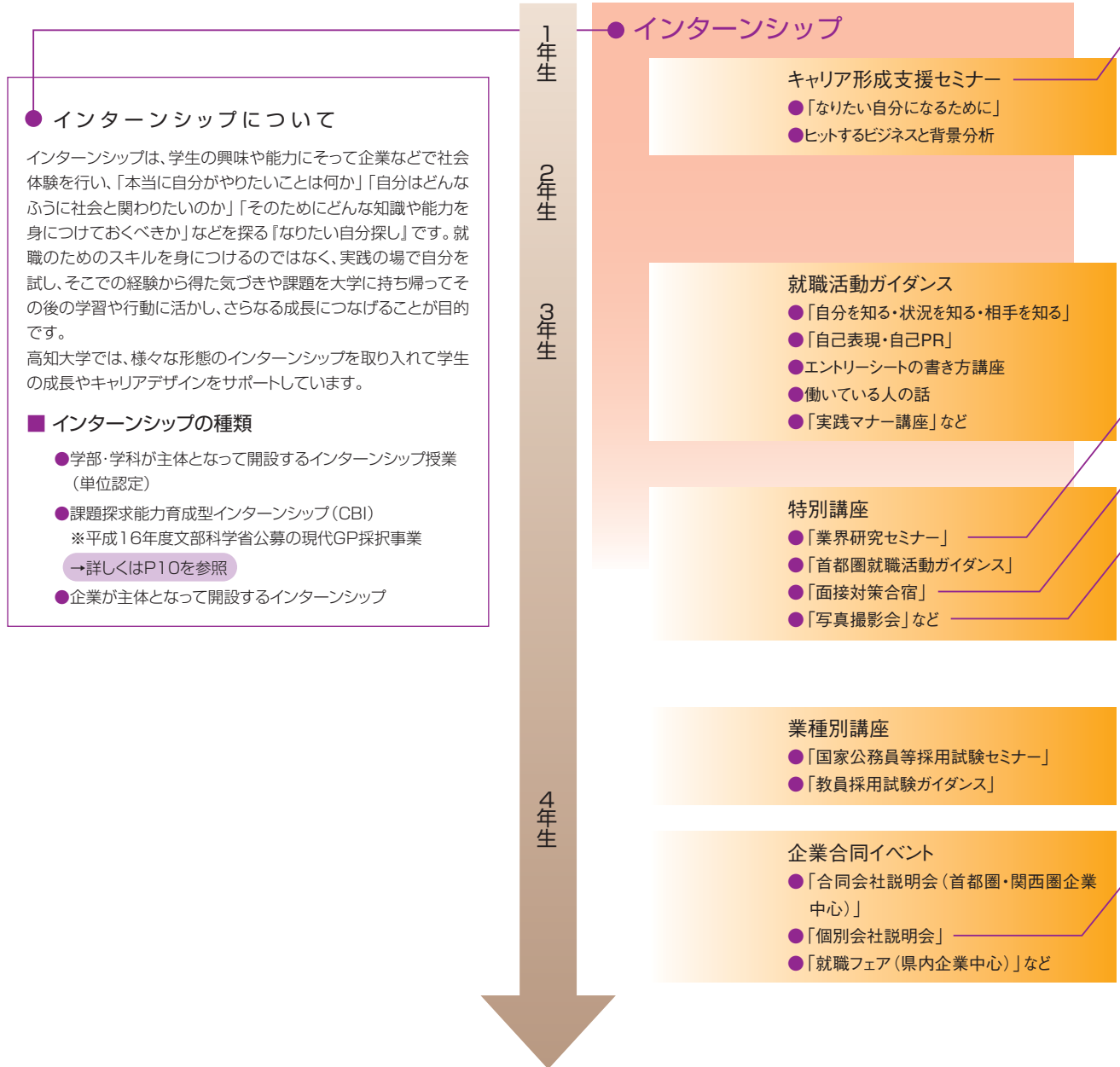
高知大学では、総合教育センターキャリア形成支援部門と学務部学生支援課就職室が連携してそのサポートにあたっています。

キャリアサポートの取り組み

Career Support

学生一人ひとりが高いモチベーションで社会人・職業人として社会に貢献できるよう、4年間を通して段階的にサポートを行っています。自己分析や職業理解、業界研究、実践対策など、年次に応じた内容の講座やセミナーを開催。県外出身者が多い現状も踏まえ、首都圏からの講師招聘や全国規模の企業合同説明会の実施など体制の充実をはかっています。

キャリアサポートの主な流れ



● インターンシップについて

インターンシップは、学生の興味や能力にそって企業などで社会体験を行い、「本当に自分がやりたいことは何か」「自分はどんなふうに関わりたいのか」「そのためにどんな知識や能力を身につけておくべきか」などを探る『なりたい自分探し』です。就職のためのスキルを身につけるのではなく、実践の場で自分を試し、そこでの経験から得た気づきや課題を大学に持ち帰ってその後の学習や行動に活かし、さらなる成長につなげることが目的です。

高知大学では、様々な形態のインターンシップを取り入れて学生の成長やキャリアデザインをサポートしています。

■ インターンシップの種類

- 学部・学科が主体となって開設するインターンシップ授業（単位認定）
- 課題探求能力育成型インターンシップ (CBI)
※平成16年度文部科学省公募の現代GP採択事業
→詳しくはP10を参照
- 企業が主体となって開設するインターンシップ

キャリア形成支援セミナー



首都圏サポートイベントの様子。首都圏で活躍するOBたちから働くことについて話を聞き、相談にのってもらおう。首都圏・関西圏でのイベントには大学からバスを出すなどの支援も行っている。

業界研究セミナー



平成19年度は、各業界から人気企業7社の参加による業界研究セミナーを開催。3年生だけでなく2年生の姿もかなり目立った。

面接対策合宿



グループディスカッションや面接を通して個別の指導が行われる。こういった講座はマニュアルを学ぶためのものではなく、よき社会人、よき先輩と出会い、自分の成長に対して貪欲になるためのひとつの機会。

写真撮影会



首都圏で活躍するブロカメランによる履歴書用の写真撮影会は、毎年人気の高いイベントである。

サブルームでの個別の会社説明会



企業が少人数の学生に対して行う説明会などの際は、就職室の隣に新設されたサブルームが活用される。学生と企業の距離もぐっと縮まると好評だ。



入学したら就職室をのぞいてみよう!

就職室は、大学生協の北隣、学生会館の北西に位置しています。学生一人ひとりの個性を活かしたキャリアデザインをサポートしているので、1年生だから早すぎるということはありません。入学したら一度訪ねてみてください。

就職のこと気になるけれど、どうすればいいの?

まずは気軽に声を掛けてください。いつでもスタッフが丁寧に対応します。また、相談員として企業担当、教職担当、自己分析担当という外部の専門家もいるので、個々の状況に応じて必要な専門的アドバイスを提供できます。

求人状況が知りたい

就職室では企業からの求人票を閲覧できます。情報はパソコンに入力してあるので、自分の興味のある企業が簡単に検索できます。



ガイダンスなどの開催情報が知りたい

就職室ではメールアドレスを記入し登録した方には、セミナーや会社説明会など必要な情報を送信するサービスを行っています。

頑張る先輩から頑張る後輩へ 成功体験をつなげ!

自己のポテンシャルを高め、それを活かせる業界、企業に就職し社会に貢献したい——そんな高い志を持って学生たちは就職活動に取り組んでいます。そんな中、意中の企業に内定した先輩学生が、同じ思いで頑張る後輩たちを応援したいと始まったのが「就活会」。自分たちの得た成功体験や人脈を後輩のために役立てようと、自発的に様々な活動に取り組んでいます。就活会の活動は大学が主催するキャリアサポートと連携して行われ、後輩たちの大きな刺激となっています。



就活会の先輩に聞く!



荒川 崇
人文学部 社会経済学科
高知県出身 (株)積水ハウス 内定



岩田 典子
人文学部 社会経済学科
高知県出身 (株)Jac Japan 内定



金谷 光起
教育学部 生涯教育課程スポーツ科学コース
大阪府出身
(株)リクルートHRマーケティング関西 内定



坂梨 恵美
人文学部 国際コミュニケーション学科
愛媛県出身
(株)日本航空インターナショナル 内定

Q1:みなさんは大学入学時、就職をどれくらい意識していましたか?

坂梨 私は中学生の頃からキャビンアテンダントになりたいと思っていました。ですから入学時もその後の4年間で、自分の将来像をはっきりと意識していましたね。

金谷 僕はずっとサッカーをやっていて、体育の教員になる夢を持って教育学部に入學してきました。しかし入学後、キャリア形成支援を受けたり就職活動を経験する中で、一般企業で社会人として勉強してから教員になってもいいんじゃないかと、気持ちは変わっていきました。

岩田 私は入学時、就職について具体的には考えていませんでしたが、今の時代、自分自身に本当に力がなないと希望する企業には入れないんじゃないかという思いは抱いていました。

Q2:就職活動支援のプログラムは、就職室主催のもの以外にもありますか?

坂梨 いろいろなかたちではありますが、所属する学科や研究室によって状況は異なります。

荒川 僕は人文学部ですが、うちの研究室では先生が主催して、就職が内定した先輩に体験談を聞く機会を設けてくれました。

金谷 教育学部ではそういう機会はやや少ないですね。企業へ就職する人自体が少ないので。そういった時には、就活会のやっている活動がいい参考になると思います。

Q3:具体的にはどんなサポート活動があるのですか?

岩田 学外から就活アドバイザーや専門家を呼んで自己分析のセミナーを開催したり、内定者座談会というかたちで自分たちが経験した就職活動の経験を語ったりしています。

荒川 実践型のサポートとしては、面接に備えて練習を行う勉強会なども実施しています。

Q4:これから入学する後輩に何かアドバイスはありますか?

金谷 就職のために何かをするのではなく、自分の好きなことを見つけて夢中で取り組むこと。それが自分を成長させてくれます。僕自身も、サッカーが好き、子どもが好きでやっていた部活動での小学生へのサッカー指導が、就職活動で高く評価されました。

岩田 私の場合は、それがインターンシップでしたね。大学4年間という時間は自分でデザインできます。その使い方次第で、将来の道も違ってきます。

荒川 あきらめないこと。あきらめない限り、可能性は無限大です。でもあきらめてしまったらそこで終わってしまいます。

坂梨 何かひとつでも、自分の好きなことにチャレンジすることから始まるのではないのでしょうか。自分から積極的に行動すれば、自ずとチャンスも引き寄せられる、そんな気がしますね。



こういった内容のセミナーや勉強会が後輩たちのために役立つだろうか——真剣に検討しよう。



企画だけでなく実施・運営も自分たちの手で行う。こういった実行力も、大学4年間で培われたもの。

自己分析から見えてきた自分の新たな可能性

吉福 聡太
農学部農学科
流域環境工学コース4年
株式会社バンダイ内定



私にとって人生の分岐点となったのは、3年生の夏のインターンシップでした。土木技術者を目指して東京の荒川下流河川事務所（国交省）に行ったのですが、そこでの日々「何か違う」という違和感を覚えたのです。それまでは、人や環境のよりよい関係のために技術者としてどう関わっていくかという視点で職業を考えていましたが、実際に技術者の仕事を体験してみると、自分はもっと直接的に人と接していく仕事に向いているのではないかと感じたのです。

大学に戻り徹底的に自己分析をし直すと、自分の長所やキャラクターを活かせるのは研究職ではなく営業職ではないかと思えてきました。私は学業の傍ら大学4年間ラグビー部に所属し、集団プレーの中でいかに自分の個性を出して勝負するかということを学びましたが、そこでの経験もこの決断の後押しをしてくれたように思います。

就職活動の中ではいくつもの業界や企業を回りました。中でもバンダイは、おもちゃだけでなくアパレル、生活雑貨など幅広い事業分野を持っていてとても

魅力を感じました。事業フィールドが多ければ自分が活躍できる場も多いのではと思いましたが、「何事にもチャレンジして楽しめる人間」という人材像も、自分の個性と合っていると感じました。

実は後から気づいたのですが、全く違う分野にも関わらず、研究室の先生から同じようなことをよく言われていました。「何事にも好奇心を持って」という言葉がそれです。結果として進む分野は変わりましたが、研究室では本当にたくさんの方の教わりました。それらを今後の自分にどう活かしていくか、しっかり意識して進んでいきたいと思っています。

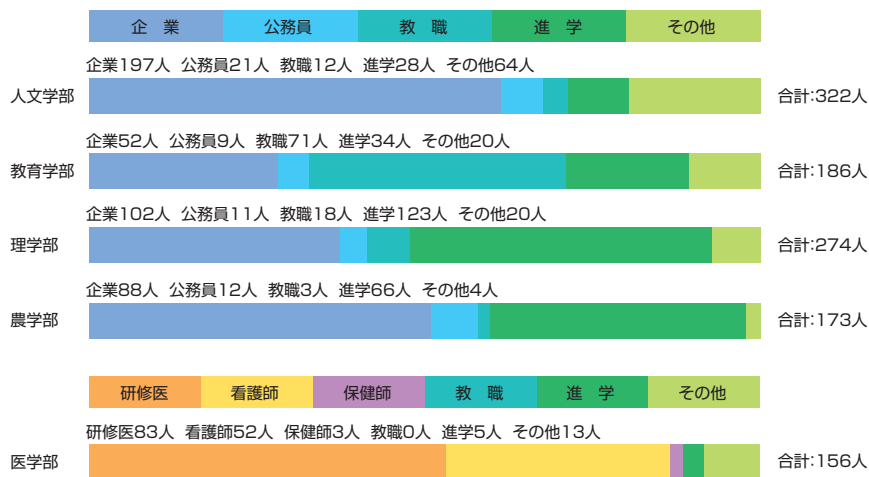
大学に入った時と出て行く時——全く想像もしていなかった道を歩むことになりましたが、学んだことをストレートに活かす人もいれば、いろいろな経験の中で違う世界を見いだす人もいます。そういうところも大学のよさだと思います。4年間を楽しむ、充実させることを大切に、皆さんも可能性無限の大学生活を送ってください。



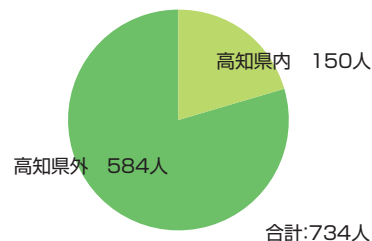
就活・エピソード紹介

高知大学は地方の大学です。でも少し視点を変えてやると、デメリットに思えることでメリットになります。私も面接の時、「はるばる高知大学から来ました!」と大きな声で入室したら、それだけでもしっかり相手の心をつかみ、会話に入ることができました。何事も自分の意識の持ち方ひとつ。そういう精神を学ぶことのできた高知大学に、とても感謝していますね。

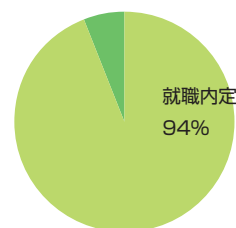
■ グラフ1. 学部別就職状況 (2007年3月卒業生)



■ グラフ2. 就職先の県内外比率 (2007年3月卒業生)



■ グラフ3. 就職希望者数に対する就職内定者数 (2007年3月卒業生)



先輩からのメッセージ

あなたは大学卒業後の自分を想像したことがありますか？

職業や働き方へのイメージを持つことは、大学生生活をより有意義なものにする大切な指針となります。

高知大学を卒業し現在社会で活躍している先輩方から、ご自身の経験を振り返って話していただきました。

学生生活のすべてが 未来の自分へとつながる

中本 雄士

パラマウントベッド株式会社
高松支店 ホームケア課

教育学部生涯教育課程スポーツ科学コース
を2005年度卒業

兵庫県出身

私は、卒業後、福祉に関わる仕事がしたいとパラマウントベッド株式会社に入社しました。現在の仕事は営業職で高知県と徳島県を担当しており、病院などの施設と福祉用具貸与事業所（電動ベッドなどの福祉用具をレンタル・販売を行う会社）が主な訪問先になります。仕事でのやりがいは、お客様の生活を支えるという社会貢献度の高さです。「電動ベッドを使うようになって、起き上がれるようになった」「立ち上がれるようになった」と初めて生の声を聞いた時のことは今でも鮮明に覚えています。取引先企業の経営者の方からは、「君のおかげで助かった」とか「いつもよく頑張ってくれているから、中本君に注文するよ」と感謝の言葉をいただいた時が一番うれいですが、途中の苦労も感謝の言葉で吹き飛んでいってしまいます。

学生時代は水泳部に所属し、3歳から続けていた水泳の記録向上に、日々励んでいました。3年時には主将を務めたこともあり、先輩・後輩だけでなく、OB・OG、学外の方々と関わるが多かったので、違った年代の方と会話をすることが苦手ではなくなりました。その幅広い年代の人とよく話した経験が、とても役に立っていると感じています。これから入学される皆さんも、部活動、サークル、アルバイト、ボランティアを通じて、同年代の友達だけでなく、いろいろな世代の方々と関わることで、より一層充

実した学生生活が過ごせるのではないのでしょうか？

就職活動を振り返ってみると、私の場合は東京・大阪本社の企業を受けることが多かったせいか、入社を希望する学生は地方よりも都市部の大学生が圧倒的に多かったです。優秀な学生に囲まれくじけそうな時もありましたが、水泳で頑張った経験が自信となり、希望する会社に入社することができました。

最後に、入学前からこんな話をするのは早いかもしれませんが、大学生活を一生懸命、何かに費やしてください。どんなことであっても、その先は何かにつながっていると私は信じています。



■ 主な就職先企業一覧（医学部を除く）※青字は高知県内企業

食品関連業界	製造業界	流通、販売、外食産業	金融、証券業	航空・運輸業界
明治製菓	バンダイ	王子製紙	野村證券	全日本空輸 (ANA)
丸大食品	東芝	ウッドワン	大和証券	日本航空インターナショナル (JAL)
小谷穀粉	再春館製薬所	エーザイ	日興コーディアル証券	エアーニッポン
カバヤ食品	YKK ap	日亜化学工業	三菱UFJ証券	ANAエアサービス東京
名古屋製酪	ダイワ精工	中部銅料	国民生活金融公庫	JR(東日本、西日本、九州、四国)
ニチレイ	京セラ	日本高度紙工業	中小企業金融公庫	日本通運
ホクト	凸版印刷		損害保険ジャパン	土佐電気鉄道
森永乳業	三浦工業	旭食品	日本銀行	
	サンゲツ		伊予銀行	
	小野薬品工業		四国銀行	
	日本IBM		クレディセゾン	
	シマノ			

いろいろな経験、出会い、発見が 自分の道を拓く

吉村 奈津

株式会社 損害保険ジャパン
高知支店 支店長席

人文学部社会経済学科を
2004年度卒業

高知県出身

私が就職活動を本格的に開始したのは3年生の秋だったと思います。最初は全く違う業界を目指していて、ドラッグストアやハウスメーカー、カーディーラーなど日常生活に身近な商品を扱う仕事に就きたいと思っていました。その方が仕事に興味を持ちやすいし、自分も向上しやすいと考えたからです。

でも、ある時ゼミの先生から話を聞き保険業界の研究をしてみると、これまで気づかなかった“発見”がありました。それは、目には見えないけれど損害保険も生活に身近な商品だということ。それまでの私は目に見えるものばかりを追っていましたが、誰にでも起こりうるケガや事故を補償し困った時に助けてくれるこの「形のない商品」も、実は暮らしに欠かせない大切なものだと気づいたのです。それからは保険・金融業界に絞って自分を活かせる会社を探していきました。

損保ジャパンに入社を決めたのは、女性がみんないきいきと働いていたからです。一生仕事を続けていきたいと思っていた私にとって、ライフステージに応じて自分らしい働き方ができる環境というのは、とても大きな魅力でした。今の仕事内容は、人事や営業成績の管理など支店内の総括業務と、代理店会や行事の企画運営業務が主なところ。最初は営業店でお客様と対面して契約の管理などを担当するのかと思っていたので内心驚きましたが、今はその面白さを知り、やりがいのある毎日を送っ

ています。こういった土台となる仕事があってこそ組織は動いていくのだと、あらためて実感しているところです。

最後になりましたが、これから入学する皆さんにメッセージを送りたいと思います。私自身のことを振り返って感じるのは、学業はもちろんサークル活動やアルバイト、海外旅行などいろいろな経験全てが、社会に出て役に立つということです。そこから生まれた人脈も大切な財産となります。ぜひ積極的にいろいろな場に出て行って、友人を増やし、大切にして充実した大学生活を送ってください。そして自分にあった道を見つけてほしいと思います。



建築・住宅不動産関連業界

ミサワホーム中国
積水ハウス
住友林業
大和ハウス工業

情報・通信関連業界

高知新聞社
読売新聞
中国新聞社
高知放送
岡山放送
NHK
ヤフー
楽天
NTT西日本
KDDI
沖ソフトウェア

サービス業、その他

四国電力
海洋博覧会記念公園管理財団
(沖縄美ら海水館)
大阪ウォーターフロント開発(海遊館)
リクルートHRマーケティング
近畿日本ツーリスト
JTB中国四国
JA職員(高知、岡山ほか)
郵便局
山の上ホテル
日本赤十字社

教育関連

国立学校教員
私立学校教員
高知大学
近畿大学
東京大学
川崎学園

公務員

地方公務員
(大阪府庁、埼玉県庁ほか)
地方公務員
(大阪府役所、焼津市役所ほか)
警察官
(高知県、大阪府、滋賀県ほか)
各市町村消防局
国税専門官
厚生労働省
国土交通省
農林水産省
自衛隊

受験生の皆さんへ



高知大学 学長 相良 祐輔

受験生の皆さんは、いま、生徒から学生になろうと
勉学に励んでおられることでしょう。

大学生になろうと強く希望して、努力を重ねられて
いる皆さんに、ぜひ理解しておいていただきたい
ことがあります。

大学に進む、学生になる、ということの基本は、あ
なた方自身の意志によって、教えてもらう生徒の
時期に訣別し、受験し、何を学ぶかをあなた方自身
が求め、決定する生活を始めるということなのです。
あなた方が真剣に求め続ける限り、高知大学は誠
実にあなた方の問いかけに答え続けます。

高知大学は、地域の大学として、21世紀の日本の
大学改革という要請を絶好のChanceと捉え、大
学変革Changeに勇気を持ってChallengeし、21
世紀にふさわしい新しい時代の智を創造Create
しようとしています。

この四つのCを目標として、グレード・アップした大
学に進化しつつあります。

受験生の皆さん!

この進化し続ける高知大学を目指してください!
この新しく生まれ変わった高知大学への入学の
Chanceを確実に捉え、生徒から学生への
Changeを果たして、21世紀の社会に十分
Challengeできる能力を、みんなで一緒に開発
Createしようではありませんか。

高知大学は、学生とともに進化する大学なのです。
あなた方の人生において、今、このときに求めてお
かねば、二度と手にすることのできないものは何か、
それは、高知大学のキャンパスのどこかに必ずあり
ます。私たち教職員は、そのようなあなた方と、共
に進もうと考え、待っている、それが高知大学であ
ります。

高知大学のキャッチフレーズ

Chance …………… 好機

Challenge …………… 挑戦

Change …………… 変革

Create …………… 創造

データ

Data

■過去3年間の志願状況 前期+後期 (平成18年度～平成20年度)

志願者数(人)

区分	18年度	19年度	20年度
人文学部	1,171	1,149	1,174
教育学部	725	804	661
理学部	978	1,218	1,111
医学部	1,093	1,223	715
農学部	748	548	660
合計	4,715	4,942	4,321

志願倍率(倍)

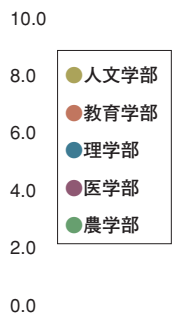
※志願倍率=志願者数/入学定員

区分	18年度	19年度	20年度
人文学部	4.0	3.9	4
教育学部	4.3	4.7	3.9
理学部	3.6	4.5	4.1
医学部	7.3	8.2	4.8
農学部	4.4	3.2	3.9
合計	4.5	4.7	4.1

志願者数(人)



志願倍率(倍)



<詳細:前期日程>

志願者数(人)

区分	18年度	19年度	20年度
人文学部	613	569	568
教育学部	320	341	303
理学部	602	483	507
医学部	323	285	391
農学部	365	223	258
合計	2,223	1,901	2,027

志願倍率(倍)

※志願倍率=志願者数/入学定員

区分	18年度	19年度	20年度
人文学部	3.6	3.3	3.3
教育学部	3.6	3.8	3.4
理学部	4.3	3.4	3.2
医学部	5.4	4.8	4.9
農学部	3.4	2.1	2.5
合計	3.9	3.3	3.4

志願者数(人)



志願倍率(倍)



<詳細:後期日程>

志願者数(人)

区分	18年度	19年度	20年度
人文学部	336	312	267
教育学部	249	290	221
理学部	212	599	509
医学部	537	596	67
農学部	305	223	274
合計	1,639	2,020	1,338

志願倍率(倍)

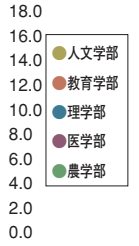
※志願倍率=志願者数/入学定員

区分	18年度	19年度	20年度
人文学部	13.4	12.5	13.4
教育学部	8.6	10.4	7.9
理学部	3.5	10.0	17
医学部	13.4	14.9	6.7
農学部	10.9	11.2	13.7
合計	9.0	11.7	12.4

志願者数(人)



志願倍率(倍)



平成19年度入学者選抜実施状況

学部	学科・課程等	入学定員	一般入試										AO入試			推薦入試																												
			前期日程					後期日程					募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	推薦入試Ⅰ			推薦入試Ⅱ																									
			募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	実質倍率(倍)	募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	実質倍率(倍)				募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)																							
人文学部	人間文化学科	94	58	172	163	72	2.3	5	80	80	31	2.6						30	103	35																								
	国際社会 コミュニケーション学科	83	36	86	82	51	1.6	10	112	49	10	4.9						A選抜	20	66	24																							
																		B選抜	15	25	16																							
																		小計	35	91	40																							
社会経済学科	118	77	311	291	99	2.9	10	120	120	10	12.0																																	
小計	295	171	569	536	222	2.4	25	312	249	51	4.9							95	268	110																								
教育学部	学校教育教員養成課程	100	55	223	199	71	2.8	15	134	134	18	7.4										30	79	30																				
	生涯教育課程	30	15	51	49	19	2.6	6	68	35	6	5.8																																
																									芸術文化コース	20	10	39	38	12	3.2	3	25	11	3	3.7								
																									スポーツ科学コース	20	10	28	26	19	1.4	4	63	63	4	15.8								
小計	170	90	341	312	121	2.6	28	290	243	31	7.8							22	94	27	30	79	30																					
理学部	数理情報科学科	82	44	123	113	60	1.9	19	199	199	40	5.0							16	48	21																							
	物質科学科	92	物理	18	43	42	26	1.6	物理	6	161	161	26	6.2						18	33	22																						
			化学	23	65	59	35	1.7	化学	10	63	63	28	2.3																														
			生物	10	54	52	18	2.9	生物	4	25	25	7	3.6																														
小計	51	162	153	79	1.9	小計	20	249	249	61	4.1																																	
自然環境科学科	96	49	198	198	61	3.2	21	151	151	80	1.9								23	54	25																							
小計	270	144	483	464	200	2.3	60	599	599	181	3.3								57	135	68																							
医学部	医学科	90	30	218	200	31	6.5	30	494	255	30	8.5	30	275	30																													
	看護学科	60	30	67	65	35	1.9	10	102	48	12	4.0								20	67	20																						
	小計	150	60	285	265	66	4.0	40	596	303	42	7.2	30	275	30					20	67	20																						
農学部	農学科	暖地農学コース	170	104	223	201	122	1.6	20	223	85	20	4.3											一般	4	4	4																	
		専門																						2	4	3																		
		小計																						6	8	7																		
	海洋生物生産学コース	一般	4	13	8																																							
		専門	2	1	1																																							
		小計	6	14	9																																							
	食料科学コース	一般	6	19	7																																							
		専門	6	27	7																																							
		小計	12	46	14																																							
生命化学コース	一般	3	9	5																																								
	専門	2	2	1																																								
	小計	5	11	6																																								
自然環境学コース	一般	4	0	0																																								
	専門	2	1	1																																								
	小計	6	1	1																																								
流域環境工学コース	一般	3	8	5																																								
	専門	1	1	1																																								
	小計	4	9	6																																								
森林科学コース	一般	3	5	4																																								
	専門	2	2	1																																								
	小計	5	7	5																																								
国際支援学コース	一般	3	5	4																																								
	専門	2	2	1																																								
	小計	5	7	5																																								
小計	170	104	223	201	122	1.6	20	223	85	20	4.3							2	6	3	44	96	48																					
合計	1,055	569	1,901	1,778	731	2.4	173	2,020	1,479	325	4.6	30	275	30				196	570	228	74	175	78																					

データ ■ 75 Data

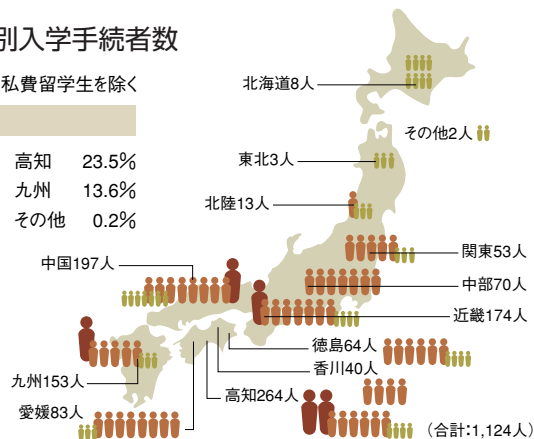
- ※ □ は募集なし
- ※ 特別選抜: 社会人 (志願者=1、合格者=0)
- ※ 私費外国人留学生の選抜は、志願者=41名、合格者=17名でした。
- ※ 実質倍率=受験者数/合格者数
- ※ 理学部は旧学科で募集しました。

平成19年度の地域別入学手続者数

地域・入学手続者数(志願者数) * 私費留学生を除く

地域別入学手続者割合

北海道 0.7%	近畿 15.5%	高知 23.5%
東北 0.3%	中国 17.5%	九州 13.6%
関東 4.7%	徳島 5.7%	その他 0.2%
北陸 1.2%	香川 3.6%	
中部 6.2%	愛媛 7.4%	



■平成20年度入学者選抜実施状況

学部	学科・課程等	入学定員	一般選抜										A O 入試			推薦入試									
			前期日程					後期日程					募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	推薦入試Ⅰ			推薦入試Ⅱ						
			募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	実質倍率(倍)	募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	実質倍率(倍)				募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)				
人文学部	人間文化学科	94	58	234	223	73	3.1	5	119	119	5	23.8						30	109	30					
	国際社会コミュニケーション学科	83	36	101	91	45	2.0	10	102	42	18	2.3					A選抜	20	62	24					
																	B選抜	15	41	16					
	社会経済学科	118	77	233	218	88	2.5	5	46	46	5	9.2	5	43	6			一般	15	49	17				
専門																		15	34	19					
小計	295	171	568	532	206	2.6	20	267	207	28	7.4	5	43	6			95	295	106						
教育学部	学校教育教員養成課程	100	55	162	137	70	2.0	15	91	91	18	5.1									30	59	33		
	生涯教育課程	芸術文化コース	30	15	56	56	16	3.5	6	74	39	6	6.5					9	25	10					
		スポーツ科学コース	20	10	39	38	10	3.8	3	42	25	3	8.3					7	42	9					
		生活環境コース	20	10	46	42	17	2.5	4	14	14	4	3.5					6	11	9					
小計	170	90	303	273	113	2.4	28	221	169	31	5.5						22	78	28	30	59	33			
理学部	理学科・応用理学科	270	数学受験	50	138	131	60	2.2	30	509	508	30	16.9					数学分野	25	46	30				
			理科受験	110	369	352	159	2.2										理科分野	50	49	47				
	小計	270	160	507	483	219	2.2	30	509	508	30	16.9						75	95	77					
医学部	医学科	90	50	322	306	63	4.9						30	171	26						10	11	2		
	看護学科	60	30	69	68	34	2.0	10	67	32	10	3.2					20	75	21						
	小計	150	80	391	374	97	3.9	10	67	32	10	3.2	30	171	26			20	75	21	10	11	2		
農学部	暖地農学コース	170	104	258	223	109	2.0	20	274	92	32	2.9					一般	4	23	6					
																	専門	2	4	2					
	海洋生物生産学コース	170	104	258	223	109	2.0	20	274	92	32	2.9						一般	4	18	7				
																		専門	2	0	0				
	食料科学コース	170	104	258	223	109	2.0	20	274	92	32	2.9						一般	6	15	8				
																		専門	6	10	6				
	生命化学コース	170	104	258	223	109	2.0	20	274	92	32	2.9							一般	3	15	6			
																			専門	2	1	0			
	自然環境学コース	170	104	258	223	109	2.0	20	274	92	32	2.9							一般	4	13	6			
																			専門	2	2	2			
流域環境工学コース	170	104	258	223	109	2.0	20	274	92	32	2.9							一般	6	15	8				
																		専門	6	15	8				
森林科学コース	170	104	258	223	109	2.0	20	274	92	32	2.9							一般	3	7	3				
																		専門	1	1	1				
国際支援学コース	170	104	258	223	109	2.0	20	274	92	32	2.9							一般	4	8	4				
																		専門	2	1	1				
小計	170	104	258	223	109	2.0	20	274	92	32	2.9						2	10	3	44	118	52			
合計	1,055	605	2,027	1,885	744	2.5	108	1,338	1,008	131	7.7	35	214	32			214	553	235	84	188	87			

※□は募集なし

※特別選抜:中国引揚者等子女(志願者=1、合格者=1)

※私費外国人留学生の選抜は、志願者=53名、合格者=23名でした。

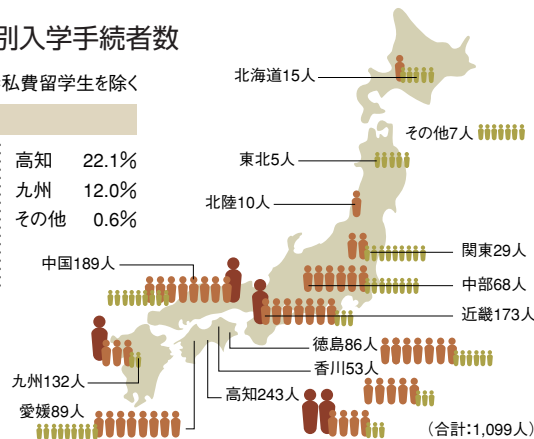
※実質倍率=受験者数/合格者数

■平成20年度の地域別入学手続者数

地域・入学手続者数(志願者数)*私費留学生を除く

地域別入学手続者割合

北海道 1.4%	近畿 15.7%	高知 22.1%
東北 0.5%	中国 17.2%	九州 12.0%
関東 2.6%	徳島 7.8%	その他 0.6%
北陸 0.9%	香川 4.8%	
中部 6.2%	愛媛 8.1%	



Let's open the door!

～入試課からのお知らせ～

Open Campus

オープンキャンパス

高校生の皆さんに大学を様々な角度から体験してもらえるオープンキャンパス。高知大学では、教員はもちろん学生生活の先輩である大学生たち自身も参画して、充実した内容の説明会や体験型イベントを行っています。あなたもぜひ、高知大学を感じに来てください。



夏季オープンキャンパス(第1回)

平成20年

■ 8月3日(日)

— 岡豊キャンパス:医学部

■ 8月8日(金)

— 朝倉キャンパス:人文学部、教育学部、理学部

— 物部キャンパス:農学部

秋季オープンキャンパス(第2回)

平成20年

■ 10月4日(土)

— 朝倉キャンパス:人文学部
教育学部
理学部

— 物部キャンパス:農学部



Information

[対象] 高校生、高等学校教諭、保護者

[申込方法] 高等学校を通じてお申し込みください。

[お問い合わせ先] 入試課

☎ 088-844-8766

FAX 088-844-8147


※その他の詳細などについては大学HPでもご覧いただけます。

高知大学入試情報サイト

<http://www.kochi-u.ac.jp/nyusi/index.html>



1 本学のホームページから資料請求する場合
<http://www.kochi-u.ac.jp/JA/>へアクセス → 入試情報 → 学生募集要項の公表及び請求方法

2  テレメール(インターネット・電話)にて資料請求する場合
 インターネット(携帯電話・パソコン)または電話をご利用ください。

インターネット(携帯電話・パソコン)の場合

<http://telemail.jp>

携帯電話
 (iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ)、
 パソコンとも共通アドレスです。



QRコード

※携帯電話でQRコードを読み取りアクセスした場合は、資料請求番号の入力は不要です。

電話の場合

IP電話：050-2015-0555

※一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約11円です。

下記の資料番号を入力またはプッシュし、音声ガイダンスに従ってください。

資料名	資料請求番号	予定送料	発送開始
入学者選抜要項	586970	180円	7月中旬
一般選抜募集要項	586900	290円	11月上旬
推薦入学I募集要項	586910	210円	7月中旬
推薦入学II募集要項(教育学部・農学部)	586920	180円	11月上旬
人文学部社会経済学科AO入試募集要項・人文学部案内	547020	210円	5月中旬
医学部AO入試募集要項・医学部案内	547060	210円	6月中旬

※発送開始日までのご請求は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に郵送します。

※送料は、お届けした資料に同封されている支払方法に従いお支払いください。

3 郵便局にて資料請求する場合
 ※10月より案内開始、取り扱っているのは一般選抜募集要項のみです。

全国の郵便局(普通局、特定局)に設定されている国公私立大学・短期大学及び通信教育課程、大学校募集要項(願書)請求申込書(郵便局願書請求カタログ)に必要事項を記入の上、送料と払込手数料120円を添えて、最寄りの郵便局の窓口で申し込んでください。受付から1週間程度で送付されます。

●1~3についてのお問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター

 050-2015-5050

受付時間 9:30~18:00

4 本学に郵送で直接資料請求する場合
 ※直接配布を受ける場合の入試課窓口受付時間は、平日8:30~17:00です。

封筒の表に「○○選抜学生募集要項請求(○○学部)」と朱書き、返信用の封筒(角形2号封筒に請求者の郵便番号・住所・氏名を明記し、290円の郵便切手を貼ったもの)を同封の上、右の送付先にご請求ください。

●送付先 〒780-8520

高知市曙町二丁目5番1号

高知大学学務部入試課


 088-844-8153

AO入試(医学部)・推薦入学II(医学部)の学生募集要項は、封筒の表に「AO入試学生募集要項請求(医学部)」もしくは「推薦入学II学生募集要項請求(医学部)」と朱書き、返信用の封筒(角形2号封筒に請求者の郵便番号・住所・氏名を明記し、290円の郵便切手を貼ったもの)を同封の上、右の送付先にご請求ください。

●送付先 〒783-8505

南国市岡豊町小蓮

高知大学医学部入試担当

 088-880-2295

現役高知大生も皆さんを応援しています!

合格発表



緊張と喜びの合格発表当日には、合格した受験生たちを讃え、歓迎しようと、アメリカンフットボール部の猛者たちが掲示板前に大集合! 合格者を次々に胴上げて回り、みんなで一緒に喜びを分かち合います。



合格者を胴上げし、歓迎する部員たち。



地図・アクセス

Map



各施設の所在地及び交通アクセス

- 1 朝倉キャンパス**(人文学部・教育学部・理学部)/高知市曙町2-5-1
事務局、学生会館、各学部棟(人文/教育/理)、附属特別支援学校、附属教育実践総合センター、附属高知地震観測所、附属水熱化学実験所、国際・地域連携センター、メディアの森[総合情報センター(図書館)]、保健管理センター

朝倉キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- 高知龍馬空港から 車で約45分
空港バスで約50分、「朝倉(高知大学前)」下車
- 高知駅から 車で約20分
バスで約25分
路面電車で約30分、「朝倉(高知大学前)」下車
JR土讃線約15分、「朝倉駅」下車、徒歩3分
- 高知インターチェンジから 車で約30分
- 伊野インターチェンジから 車で約5分

- 2 岡豊キャンパス**(医学部)/南国市岡豊町小連
医学部、メディアの森[総合情報センター(図書館)]医学部分館、附属病院、動物実験施設、実験実習機器施設、RI実験施設、附属医学情報センター、国際交流会館、保健管理センター(医学部分室)

岡豊キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- 高知龍馬空港から 車で約20分
- 高知駅から 車で約20分
バスで約30分
JR土讃線約20分、「後免駅」下車、車で約15分
- 南国インターチェンジから 車で約10分
- 高知インターチェンジから 車で約20分

- 3 物部キャンパス**(農学部)/南国市物部乙200
農学部、メディアの森[総合情報センター(図書館)]農学部分館、附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター、大学院黒潮圏海洋科学研究科・日章寮・国際交流会館、留学生寄宿舍、遺伝子実験施設、海洋コア総合研究センター

物部キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- 高知龍馬空港から 空港バスで3分、徒歩約15分
- 高知駅から 車で約30分
空港行きバスで約35分、「高知大学農学部前」下車
JR土讃線、ごめん・なはり線約25分、「後免町駅」下車、車またはバスで約15分
- 南国インターチェンジから 車で約20分

- 4 男子学生寮(南浜寮)**/高知市朝倉丙252
- 5 女子学生寮(かつら寮)**/高知市曙町1-16-1
- 6 女子学生寮(ときわ寮)**/高知市朝倉東町46-33
- 7 教育学部附属小学校・中学校・幼稚園**
高知市小津町10-13・高知市小津町10-91・高知市小津町10-26
- 8 農学部附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター**
教育実習実験研究施設/
香美市土佐山田町上穴内字栗石20-2
- 9 宇佐野外活動施設**/土佐市宇佐町東町浜3159-5
- 10 海洋生物研究教育施設**/土佐市宇佐町井尻194
- 11 艇庫**

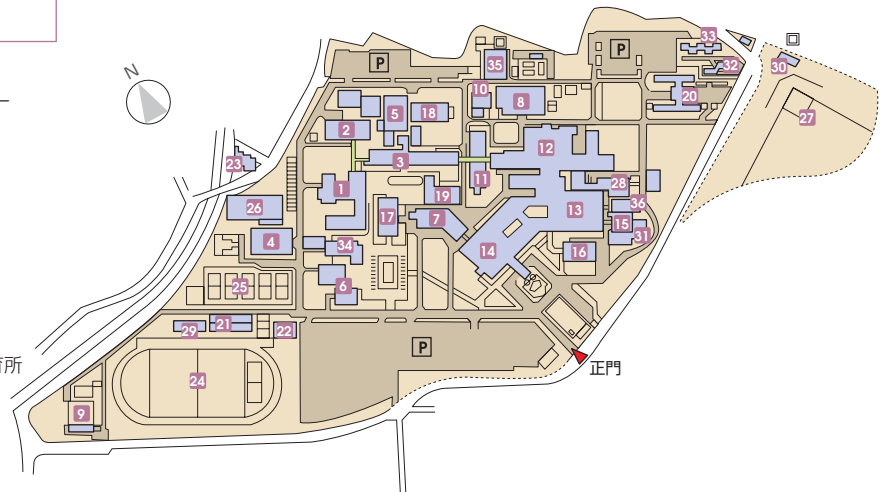
朝倉キャンパス (人文学部/教育学部/理学部)

- | | |
|--|--|
| 1. 事務局棟 (学務部入試課) | 19. メディアの森
[総合情報センター (図書館)] |
| 2. 非常勤講師宿泊所 | 20. 学生会館 (福利厚生施設) |
| 3. 保健管理センター | 21. 北体育館 |
| 4. 総合研究棟 | 22. 理学部附属高知地震観測所 |
| 5. 教育学部2号館 | 23. 理学部附属水熱化学実験所 |
| 6. 教育学部3号館 | 24. 国際・地域連携センター |
| 7. 教育学部4号館 | 25. 南体育館 |
| 8. 教育学部51番教室 | 26. 教育学部附属特別支援学校校舎 |
| 9. 教育学部音楽棟 | 27. 教育学部附属特別支援学校
日常生活訓練施設 (くじらの家) |
| 10. 教育学部附属教育実践総合センター | 28. プール (附属特別支援学校) |
| 11. プール | 29. 学生支援課留学室
総合教育センター (修学・留学生支援部門)
施設企画課 |
| 12. 理学部情報科学棟 | |
| 13. 理学部1号館 | |
| 14. 理学部2号館 | |
| 15. 共通教育1号館 | |
| 16. 共通教育2号館 | |
| 17. 共通教育3号館・学生サービスセンター (学生支援課・就職室) | |
| 18. 人文学部管理棟・学生サービスセンター (学務課・共通教育)・総合教育センター | |



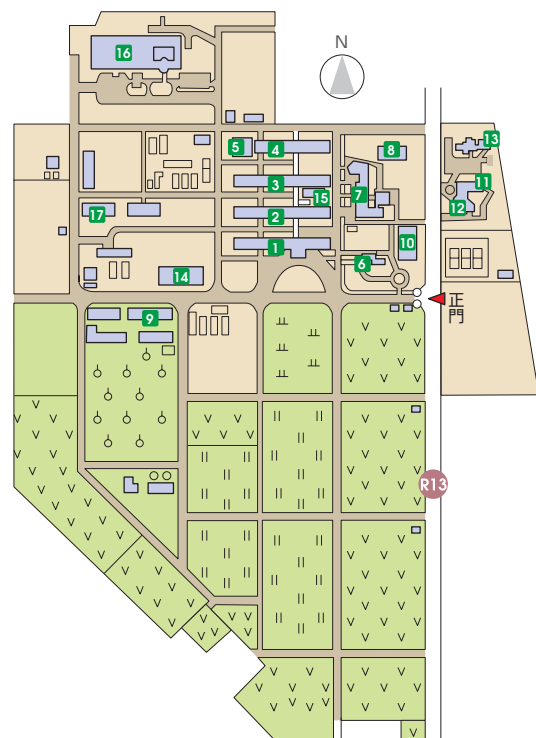
岡豊キャンパス (医学部)

- | | |
|---|---------------------|
| 1. 講義棟 | 18. 大学院研究棟 |
| 2. 実習棟 | 19. 附属医学情報センター |
| 3. 基礎・臨床研究棟 | 20. 職員宿舎 |
| 4. 体育館 | 21. 課外活動共用施設 |
| 5. RI・動物実験施設 | 22. 武道場 |
| 6. 医学部会館 (福利厚生施設) | 23. 非常勤講師宿泊施設 |
| 7. 管理棟 (学生・研究支援課)
保健管理センター (医学部分室) | 24. 陸上競技場 |
| 8. 中央機械室 | 25. テニスコート |
| 9. 排水処理施設 | 26. プール |
| 10. 車庫 | 27. 野球場 |
| 11. 臨床講義棟 | 28. RI治療施設・院内保育所 |
| 12. 病棟 | 29. 弓道場 |
| 13. 中央診療棟 | 30. 野球場附属施設 |
| 14. 外来診療棟 | 31. MRI-CT装置棟 |
| 15. 高エネルギー治療施設 | 32. 国際交流会館 (単身・共用棟) |
| 16. 食堂棟 | 33. 国際交流会館 (世帯棟) |
| 17. メディアの森
[総合情報センター (図書館)]
医学部分館 | 34. 看護学科棟 |
| | 35. 発電機棟 |
| | 36. PETセンター |



物部キャンパス (農学部)

1. 農学部1号棟
2. 農学部2号棟
3. 農学部3号棟
4. 農学部4号棟
5. 実験研究棟
6. 厚生会館
7. メディアの森 [総合情報センター (図書館)] 農学部分館
及び講義室棟
8. 日章会館 (福利厚生施設)
9. 附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター
10. 体育館
11. 日章寮
12. 留学生寄宿舎
13. 国際交流会館
14. 遺伝子実験施設
15. 共同利用機器分析室棟
16. 海洋コア総合研究センター
17. 黒潮圏海洋科学研究科棟



高知大学案内 2009

[Faculty of Humanities and Economics](#)

[Faculty of Education](#)

[Faculty of Science](#)

[Medical School](#)

[Faculty of Agriculture](#)

インターネット 高知大学ホームページアドレス

<http://www.kochi-u.ac.jp/JA/>

インターネットを利用して高知大学ホームページにアクセスしてください。

入試情報や各学部・学科が独自に作成したホームページを見ることができます。



携帯電話サイト <http://daigakuic.jp/kochi-u/>

イベント・トピックス情報、入試情報などを携帯電話から見ることができます。

入学者選抜に関するお問い合わせ先(ご意見・ご質問などお寄せください)

学務部入試課 TEL 088-844-8153

〒780-8520 高知市曙町2-5-1

E-mail nys-web@kochi-u.ac.jp

入試に関する様々なデータや最新情報を提供しています。

<http://www.kochi-u.ac.jp/nyushi/index.html>

キャンパスライフに関するお問い合わせ先

学務部学生支援課 TEL 088-844-8149

〒780-8520 高知市曙町2-5-1

E-mail gs03@kochi-u.ac.jp

高知大学案内